

令和4年度

皇學館大学研究開発推進センター年報

第10号

令和4年度

皇學館大学研究開発推進センター年報

第10号



## センター長挨拶

令和四年度の『研究開発推進センター年報』をお届けします。本号で第十号となり、前号より電子媒体での配信を主としております。

令和五年四月より、研究開発推進センター長兼佐川記念神道博物館長を大島信生教授より引き継ぎました松本と申します。大島前センター長は、六年間に亘り本センターの発展に尽くしていただきました。その積み重ねられました成果をさらに充実させるべく努めて参りたいと存じます。

さて、研究開発推進センターは、神道研究所・史料編纂所・佐川記念神道博物館の三附置機関を一元的に運営するとともに、新たな研究プロジェクトを推進するため、平成二十五年度に設置された組織です。神道研究所では公開学術講演会・公開学術シンポジウム・夏休み子ども講座、史料編纂所では公開講座・古文書講座、佐川記念神道博物館では、企画展と常設展示の他、教養講座・夏休み親子教室などを実施しています。さらには「恩賜金と福祉事業に関する基礎的研究」をはじめとする様々なプロジェクト研究も活発に行われております。

また、研究推進事業として、日本学術振興会の科学研究費助成事業（科研費）に関わる業務も担当しており、研究計画調書の書き方説明会を実施するなど、大学の研究活動を積極的に支援し、研究費の不正使用防止、及び研究活動における不正行為防止にも取り組んでいます。

令和四年度は、皇學館大学創立百四十周年・再興六十周年という節目にあたり、神道博物館では記念展示「皇學館大学創立140周年・再興60周年記念 伊勢と皇學館の140年」を開催し、併せて教養講座「資料からみる皇學館史140年のあゆみ」も対面とオンデマンド配信併用の形式で開催しました。令和五年度は、新発見の伊勢御師資料に関する企画展を開催しております。

新型コロナウイルスの影響が続く中、感染対策を行いながら少しずつ従来通りの行事が実施できるようになりました。今後もさらに有意義な事業を展開して参りますので、本センターの事業に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和五年十二月

皇學館大学

研究開発推進センター長  
佐川記念神道博物館長

松 本 丘



# 目次

センター長挨拶	1
凡例	4
<b>I 概要</b>	5
1 沿革	6
2 機関年表	9
3 組織・施設	14
<b>II 令和4年度事業報告</b>	19
1 研究推進事業	20
2 神道研究所	23
3 史料編纂所	26
4 佐川記念神道博物館	27
<b>III 令和5年度事業計画</b>	55
1 研究推進事業	56
2 神道研究所	56
3 史料編纂所	59
4 佐川記念神道博物館	60
<b>IV 刊行物</b>	63
1 令和4年度刊行物	64
2 令和5年度刊行物	65
<b>V 教育普及</b>	65
1 公開講座報告及び案内	65
2 佐川記念神道博物館の利用及び団体見学	69
3 統計資料	70
<b>VI 社会連携</b>	73
<b>VII 資料利用・広報活動・マスコミ取材</b>	73
1 資料利用	73
2 広報活動・マスコミ取材	74
<b>VIII 調査記録及び研修会他への参加</b>	76
1 調査記録	76
2 研修会他参加	77
<b>IX 収集資料・図書・雑誌・社報ほか</b>	77
1 新収蔵資料	77
2 受贈図書・図録等	79
<b>X 活動記録</b>	93
利用案内	104

## 凡例

1. 本年報は、令和4年度に皇學館大学研究開発推進センターが実施した事業の概要を報告するものである。
2. 本年報に掲載の学外関係者敬称については「氏」、学内関係者は敬称略で統一した。但し、寄贈者名については、個人名は「様」、団体名は敬称略で統一した。
3. 尚、本年報は原則、数量・順番・日付は算用数字とするが、資料名等固有名詞を含む場合は個別の表記とする。また、慣例によるものはその様式に従う。

I  
概  
要

## I 概要

### 1 沿革

#### はじめに

皇學館大学研究開発推進センターは、平成25年4月、神道研究所・史料編纂所・佐川記念神道博物館の三機関を一元的に運営するとともに、新たな研究プロジェクトを推進することを目的として設置された。さらに平成26年4月には、それまで法人直轄の元で行われていた館史編纂業務も、当センターの業務となった。そこでここでは、これら四機関の沿革を述べた上で、当センターの概要とその使命について、述べていくこととした。

#### 神道研究所

神道研究所は昭和48年、皇學館大学文学部附属の研究機関として設立され、5年後の昭和53年、大学全体の附置研究機関となった。

皇學館大学は、神道を建学の精神とする大学であり、また伊勢の地は、日本国及び日本国民統合の象徴である天皇の祖神としての天照大神を祀る伊勢神宮の鎮座地である。この地には、各時代の神宮祠官によって継承されてきた長い学問の伝統がある。皇學館大学は、そうした学問の伝統を継承して創立された。よって本学では、神道研究を重要な使命の一つと位置づけ、以下の役割を果たすために、当研究所を設置したのである。

1. 神道に関する高度の学術研究を行い、斯界の発展に貢献する。
2. 神道研究の情報センターとして、図書資料の充実をはかり、研究活動の進展に寄与する。
3. 神道研究者の育成に努める。

このうちの1として掲げた当研究所の研究は、所員全員が参加する「総合研究」と、研究テーマごとに特定の所員グループが取り組む「部門別研究」とにより構成される。さらにそのうちの「総合研究」として、当研究所では永らく「大嘗祭の総合的研究」と「神宮の総合的研究」という二つの研究課題を掲げてきた。

大嘗祭とは、即位された天皇が親祭される一代一度の国家祭祀である。当研究所では学内外の協力を得て、所内に大嘗祭研究会を設け、研究所設立3年目にあたる昭和50年に第1回の大嘗祭研究会を開催して以来、平成23年までの37年間に、259回にも上る研究会を開催してきた。当初の研究会は、所員による研究発表を中心とするものであったらしいが、次第に大嘗祭に関する史料の講読へと進み、昭和59年より、『儀式』・踐祚大嘗祭儀の訓読・注釈作業を始めるに至った。そして平成24年、実に足かけ29年の歳月をかけ、大学創立百三十周年・再興五十周年記念学術研究の一環として、同書の訓読・注釈作業を集大成した『訓讀註釋儀式 踐祚大嘗祭儀』（思文閣出版）を刊行することができた。

一方「神宮の総合的研究」では、神宮祠官等によって形成・蓄積された神宮学の伝統を継承しつつ、式年遷宮・祭祀を中心として、各分野からの神宮研究を推進し、同じく平成24年には、大学創立百三十周年・再興五十周年記念学術研究の一環として、『伊勢神宮研究文献目録』と『大神宮故事類纂総目録』、そして研究論文集『皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年記念 神宮と日本文化』（いずれも皇學館大学編集・発行）を世に問うことが出来た。現在、「延暦儀式帳」の訓読・注釈作業を進めている。

その他、当研究所では下記の5部門ごとに特定の個別及び共同研究テーマによる研究を進めている。

- 第一部門 神道思想
- 第二部門 祭祀
- 第三部門 神道史

第四部門 宗教・民俗  
第五部門 文学・芸術

### 史料編纂所

史料編纂所は昭和50年、皇學館大学文学部国史学科附設の研究機関として発足し、3年後の昭和53年、神道研究所とともに大学全体の附置研究機関となった。

皇學館大学は、わが国の歴史と伝統に根ざした学問を明らかにすることを学問的使命としてきた。そこで本学では、特にわが国の歴史と文化を正しく究明するため、これに必要な史料の蒐集・研究及び編纂を行い、学界の発展興隆に寄与することを目的として、本編纂所を設置したのである。その主たる目的は左記のとおり。

1. 史料の蒐集・編纂
2. 研究成果の発表及び刊行
3. 研究会・公開講座・講演会・史料展示会の開催
4. 内外の研究機関との交流、及び研究生の受け入れ

このうちの1として掲げた史料の蒐集・編纂として当編纂所では、「神宮史料」「明治史料」「考古資料」など、様々な史料の編纂に取り組んできたわけだが、とりわけ創設以来、一貫してその中心的事業とされてきたのは「六国史編年史料」の編纂・刊行である。

東京大学史料編纂所が編纂・刊行している『大日本史料』は、正史である六国史のあとをうけた編年史料集として、学界に貢献するところ大であったが、それ以前、すなわち六国史に記された時代について、他の記録文書や年代記の類を網羅的に蒐集した編年史料集は、その必要性が指摘されながらも、いまだかつて編纂されたことがなかった。そこで当編纂所では昭和62年、創設10周年を前に、『続日本紀』係年期間の全史料を編年体で収集した『続日本紀史料』の第一巻を刊行し、爾来鋭

意その編纂・刊行を継続してきた。そして平成24年、本学が創立百三十周年・再興五十周年を迎えるに当たり、同書の完結が周年記念学術研究の一環として位置づけられ、平成26年、ついに同書全二十巻の完結を実現した。現在、その次の六国史編年史料に向けた準備を進めている。

なお「六国史編年史料」を含め、当編纂所では下記の4部門が活動している。

- 第一部門 六国史編年史料
- 第二部門 神宮史料
- 第三部門 明治史料
- 第四部門 考古資料

### 佐川記念神道博物館

佐川記念神道博物館は、昭和52年以降鋭意収集が進められてきた神道祭祀関係資料や全国の有名神社の特殊神饌の模型などの保存・公開施設の必要性、及び昭和61年に取り交わされた「千束屋資料の寄託並びに寄贈に関する覚書」に基づき寄託された同資料の保管のため、大学附置の博物館施設建設の構想が生まれたことにより、佐川グループ佐川清氏の援助、ならびに神宮司庁からの建設用地の長期借用を得て、昭和63年に竣工、平成元年に設置され、同4年に開館した。開館に際して公表された当館の基本構想は、左記のとおりである。

1. 皇學館大学建学の精神に則り、日本文化の核として、それを生み、かつ支えてきた神道を基盤として歴史・伝統・文化を正しく理解し、その発展と継承に資することを目的とする。
2. 日本文化の源泉たるべき神宮を中心とした伊勢地域の歴史と文化に関する郷土資料についても紹介し、神都伊勢とその周辺部の伝統文化と共に皇學館とその学問の普及につとめる。
3. 前記目的を達成するため、神道資料、郷土資料及びわが国の歴史と文化に関

する資料、皇學館関係資料を体系的に収集保管・調査研究・公開展示し、あわせて資料についての情報を提供する。

4. 大学附属の博物館（研究機関）としての特殊性より、学生の教育や教職員の研究に役立つ活動を行う。

5. 同時に神社神道の一般への啓蒙普及の場として広く開放された日本の歴史や伝統・文化を学ぶ生涯学習の場としての博物館を目指す。

以上5つの基本構想を具現化するため、当館では資料の蒐集・保存をはじめ、常設展・特別展・企画展・教養講座・夏休み親子教室などといった諸事業を展開してきた。中でも、これまでに開催した3回の特別展は特筆すべきものと言える。その

第1回目は平成20年から21年にわたり開催された特別展『伊勢の歌舞伎と千束屋―神都に伝わる伊勢人のこゝろ―』であり、第2回目は平成24年度に開催された皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年記念特別展『神社名宝展―参り・祈り・奉る―』、第3回目は令和元年度に開催された特別展、天皇陛下御即位記念『即位礼と大嘗祭―前期展「即位の御儀―皇位継承のすがた―」・後期展「大嘗祭―今に伝わる古（いにしえ）の祭儀―」である。第1回目は昭和63年、千束屋当主山田幸輝氏より寄託された伊勢千束屋資料が、調査・分類・保存等の手順を経て平成19年、全て本学に寄贈されたことを記念して開催された特別展である。また第2回目は、皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年を記念して開催された特別展であり、神宮および太宰府天満宮から多度大社に至る11の神社より貴重な宝物類を「ご出品いただいで開催した。この特別展には、三笠宮彬子女王殿下をはじめ、都合三、二二六名にも上る来館者にお出で頂き、「神社名宝展」として「後代に名の残る展示会」との評価を得ることができた。そして第3回目は、天皇陛下御即位を記念して開催された特別展である。平成31年4月30日に今上陛下（上皇陛下）が御譲位をされ、翌5月1日に皇太子殿下（天皇陛下）が御踐祚（即位）されることとなった。いくつもの重要な皇位継承儀礼には、国民だけでなく、世界各国からも大きな

関心が寄せられ、改めて皇室と皇位継承の儀礼について、多くの方々にご理解いただきたく開催された。

また令和4年には、皇學館大学創立140周年・再興60周年を記念した展覧会「伊勢と皇學館の140年」を開催。皇學館の創設と神宮皇學館への発展、さらに大学への昇格に至った戦前期の歩みと、敗戦後の廃学から再興に至る経緯、そして現在も続く大学教育や研究の拡充・施設整備などを振り返った展覧会である。本展のため、長期にわたって館史編纂が収集・保存してきた貴重資料を数多く展示した。

#### 館史編纂

館史編纂室は、平成24年に皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年を迎えるにあたり、創立以来の皇學館の歴史を編纂刊行する目的で皇學館史編纂委員会が平成15年4月に発足し、その必要業務を行うために設置された。

本学ではこれまでに、『神宮皇學館五十年史』（昭和7年）・『神宮皇學館創立六十年周年記念誌』（昭和17年）・『創立九十年・再興十年 皇學館大學史』（昭和47年）・『皇學館大學百年小史』（昭和57年）・『皇學館高校三十周年記念誌』（平成5年）・『皇學館中学校二十年記念誌』（平成10年）・『皇學館百二十年記念誌』（平成14年）といった史誌が編まれてきたが、これらをふまえつつ、さらに書き継ぎ、より詳細かつ広範な大学史・学園史が期待された。組織としても、百周年に際して史料編纂所に大学史編纂室、また百二十周年の際には法人本部に記念誌編纂室が設置されたが、いずれも専任室員は置かれず、平成16年4月から館史編纂室に専任1名が配置されたことは極めて画期的なことであった。

平成15年5月の館史編纂開始以来、関係史料の蒐集整理を進め、平成17年度からはその中間報告の意味で毎秋年1回資料展を開催（平成23年まで）。また、皇學館史料の復刻なども行った。我が国における大学史・学校史の編纂刊行の実態、内容と水準を知るため、他大学の年史・記念誌の蒐集にもつとめた。

平成24年4月、創立百三十年周年・再興五十周年記念式典にあわせ、『皇學館大學百三十年史』の第一冊目となる「総説篇」を刊行。続いて同年度末には「資料篇一」、翌25年度末には「資料篇二」「資料篇三」を刊行した。

ただし、当初は「総説篇」「各説篇」「資料篇」「年表篇」「写真篇」の五部構成を計画したが、周年事業の期間内（平成25年度まで）に「各説篇」「年表篇」「写真篇」は刊行に至らず、「各説篇」は刊行を断念。館史編纂室は平成25年度末をもって廃止となり、26年4月より館史関係資料は研究開発推進センターの所管とした。館史編纂委員会は存続して引き続き「年表篇・写真篇」刊行の準備を進め、平成26年12月に刊行し全5冊完結。これをもって創立百三十年周年・再興五十周年記念事業としての館史編纂事業は終了した。

平成26年度以降は資料収集と調査を継続し、目録の電子化を進めた。

また、『皇學館大學百四十周年記念誌 飛躍と発展の十年』を、令和4年3月に刊行した。

## 研究開発推進センターの設置

以上述べてきたとおり、これら四機関は、いずれも大学創立百三十年・再興五十周年記念事業において、一区切りを迎えることができた。そこで本学では、次の周年事業に向け、厳しい経営環境のもと、取り組むべき研究分野に研究資源を集めさせるべく、全学的な観点から、附置研究機関等の新たなあり方を検討してきた。その結果、まず神道研究所・史料編纂所そして佐川記念神道博物館の三機関が担ってきた研究機能を集約する必要性が要請され、冒頭に述べたとおり、平成25年、当センターが設置されたわけである。

皇學館大學研究開発推進センター規程第6条に、「神道研究所は、神道に関する高度の研究を行い、後進研究者を育成するとともに、その研究成果をもって斯界の発展興隆に寄与する」と謳われ、同第7条に、「史料編纂所は、わが国の歴史と文

化を究明するため、これに必要な史料の蒐集、研究及び編纂を行い、もって斯界の発展興隆に寄与する」とあり、同第8条に「佐川記念神道博物館は、神道に関する資料を主体とし、併せて伊勢を中心とする郷土資料の調査研究、収集、保管、展示、公開等を行う」と謳われているとおり、センターに統合されたとは言え、これら三機関の目指すところは従来と何ら変わらない。ただ、18歳人口の減少等に起因する大学経営環境の危機は、本学にとっても決して無縁とは言えず、科研費をはじめとする外部資金の導入は、まさに喫緊の課題と言える。また本学も、文学部のみの単科大学であった時代と異なり、新たに教育学部・現代日本社会学部が設置され、学部内にもコミュニケーション学科が増設されて学問領域が広がり、「神道」や「史料」などといったカテゴリーのみでは、それらの研究を組織的に支援することが難しい。

そこで当センターでは、如上三機関の研究機能を集約するとともに、従来の大学研究委員会機能をも継承つつ、科研費をはじめとす競争的外部資金の獲得を組織的に支援することで、様々な学問領域に亘る本学教員の研究開発推進を実現することとした。そして更に平成26年4月、館史関係業務も研究開発推進センターの業務として集約された。以上が当センター設置の経緯であり、当センターの使命である。

## 2 機関年表

昭和48年4月 皇學館大學文学部附属研究機関として皇學館大學神道研究所を設立（本館〈一号館〉二階）。西山徳教授、初代神道研究所所長に就任。

昭和50年4月 久保田収教授、二代神道研究所所長に就任。神道研究所共同研究として「大嘗祭」を取り上げる。神道研究所、短大校舎（現二号館）一階に移転。皇學館大學文学部国史学科附設史料編纂室を発足。

7月 『皇學館大學神道研究所所報』創刊（平成26年第八六号終刊）。

昭和51年1月 久保田収教授逝去のため、西山徳教授、三代神道研究所所長に就任。

- 昭和52年4月 岡田重精教授、四代神道研究所所長に就任。
- 11月 第一回神道研究所公開學術講演会開催（以後毎年開催）。  
岡田米夫氏所蔵資料が寄贈される。
- 昭和53年4月 神道研究所論文集『大嘗祭の研究』刊行（本学出版部）。  
神道研究所、本学附置研究機関に昇格。神道研究所に第一部門神道思想、第二部門祭祀・制度、第三部門政教、第四部門宗教・民俗、第五部門文芸の5部門を立て、専任所員を置く。神道研究所、祭式道場内に移転。  
皇學館大學附置研究所として皇學館大學史料編纂所を設立。7部門構成。
- 6月 『皇學館大學史料編纂所所報 史料』創刊。
- 昭和54年3月 『岡田米夫氏寄贈図書資料目録』刊行。  
4月 谷省吾教授、五代神道研究所所長に就任。  
西川順土教授、二代史料編纂所所長に就任。
- 昭和55年6月 『資料叢書』第一輯（「神宮御師資料」内宮篇）刊行。
- 昭和56年3月 『神道書目叢刊』創刊。  
4月 神道研究所、研究生受入れ開始。
- 昭和57年4月 史料編纂所、三号館（研究室棟）四階に所長室・研究室・事務室・書庫の4室が認められた。  
史料編纂所、香川敬三伯爵関係文書（未公開文書、約一万三千点）を借用（平成30年に返却）。
- 昭和58年4月 『資料叢書』第二輯（「神宮御師資料」外宮篇一）刊行。  
史料編纂所3部門構成に再整備。  
神道研究所、三号館四階に移転。
- 昭和59年2月 『資料叢書』第三輯（「神宮御師資料」外宮篇二）刊行。
- 9月 史料編纂所に皇學館大學大學史編纂室が併設。
- 昭和60年3月 『皇學館大學神道研究所紀要』を創刊（平成26年第三〇輯終刊）。
- 12月 『資料叢書』第四輯（「神宮御師資料」外宮篇三）刊行。
- 4月 西宮一民教授、六代神道研究所所長に就任。  
史料編纂所に鈴木敏雄氏遺稿資料が一括寄贈される。
- 昭和61年3月 『資料叢書』第五輯（「神宮御師資料」外宮篇四）刊行。  
『東大寺要録編年索引』刊行。
- 4月 西山徳教授、三代史料編纂所所長に就任。  
史料編纂所に第四部門「考古資料」増設され、現在の4部門制が確立。
- 7月 神道博物館「千束屋資料」の寄託並びに寄贈に関する覚書により千束屋資料が寄託される。
- 昭和62年3月 史料編纂所から皇學館大學大學史編纂室が外れる。  
『続日本紀史料』第一巻 刊行。
- 4月 真弓常忠教授、七代神道研究所所長に就任。  
藤本利治教授、四代史料編纂所所長に就任。
- 5月 神宮司庁より皇學館大學神道博物館建設地借用を許可される。
- 7月 皇學館大學神道博物館建設地地鎮祭を斎行。
- 昭和63年3月 『神道資料叢刊』創刊。  
『資料叢書』第六輯（「神宮御師資料」六）刊行。  
大学附属資料館発足準備委員会を結成。
- 6月 皇學館大學神道博物館建設竣工祭を斎行。
- 7月 神道研究所、神道博物館内に移転。
- 10月 柳家所蔵図書寄贈。『皇學館大學神道研究所所報』第三四号に「柳家寄贈図書分類目録」を掲載。
- 11月

平成元年2月 史料編纂所に研究室・資料整理室・書庫が増室。

3月 『創設十周年記念皇學館大學史料編纂所論集』刊行。

4月 粕谷興紀教授、八代神道研究所所長に就任。

皇學館大學神道博物館設立。

谷省吾学長、皇學館大學神道博物館初代館長に就任。

6月 神道研究所論文集『続大嘗祭の研究』刊行（本学出版部）。

12月 『皇學館大學神道博物館報』を創刊（平成26年第二四号終刊）。

平成2年3月 『公卿補任年紀編年索引』刊行。

『千束屋資料調査報』刊行（平成8年終刊）。

4月 皇學館大學神道博物館改修工事を実施する。

平成3年3月 『鈴木敏雄氏遺稿旧蔵資料目録 正編』刊行。

4月 岡田重精教授、九代神道研究所所長に就任。

稲垣晋也教授、五代史料編纂所所長に就任。

平成4年3月 『史料』一〇〇号復刻版を刊行。

10月 皇學館大學創立百十周年・再興三十周年記念事業皇學館大學神道博物館開館式典を開催。

11月 皇學館大學神道博物館一般公開が始まる。

原田敏明氏旧蔵図書・資料が寄贈される。

平成5年4月 伴五十嗣郎教授、十代神道研究所所長に就任。

渡辺寛教授、六代史料編纂所所長に就任。

史料編纂所公開講演会が始まる（以後不定期に開催）。

5月 神道博物館教養講座を開催（以後毎年、年4回開催）。

7月 史料編纂所公開講座が始まる（以後毎年開催）。

平成6年3月 『続日本紀史料』第二卷 刊行。

『鈴木敏雄氏遺稿旧蔵資料目録 続編

―ガラス乾板目録・正統索引― 刊行。

4月 奥野純一教授、十一代神道研究所所長に就任。

第一回史料編纂所、史料展を開催。

平成7年3月 第一回神道研究所公開学術シンポジウムを開催（以後毎年開催）。

『神宮皇學館及び神宮皇學館大學発行雑誌類所収の学術論文目録』刊行。

4月 櫻井治男教授、十二代神道研究所所長に就任。

宗林正人教授、二代神道博物館館長に就任。

6月 神道博物館にて、第一回春季特別陳列「本居宣長とその門流」開催。

7月 神道博物館夏休み親子教室を開催（以後毎年、年2回開催）。

平成8年3月 『続日本紀史料』第三卷 刊行。

4月 恵良宏教授、七代史料編纂所所長に就任。

10月 神道博物館にて、第二回秋季特別陳列「中世古文書の世界」開催。

平成9年4月 清水潔教授、十三代神道研究所所長に就任。

伴五十嗣郎教授、三代神道博物館館長に就任。

7月 夏休み親子教室が神宮徴古館農業館と共催となる。

9月 『原田敏明先生旧蔵每文社文庫目録』刊行。

10月 神道博物館にて、第三回秋季特別陳列「澤瀉久孝文庫の紹介

―萬葉研究の軌跡―」開催。

平成10年2月 『資料叢書』第七輯（「神宮御師資料」福嶋御塩焼大夫文書）刊行。

7月 『史料』一〇一―一五〇号復刻版 刊行。

『史料』増大号 刊行。

12月 神道研究所、中国浙江大学日本文化研究所と学術交流協議書を締結（平成15年3月迄）。

平成11年4月 島原泰雄教授、八代史料編纂所所長に就任。

史料編纂所、中国政法大学法律戸籍整理研究所との共同研究『日中律令制の比較研究』開始。北京にて開催された同大学同研究所「内学者交流座談会」にて研究発表を行う。  
鈴木敏雄氏旧蔵資料中、「桑名郡多度町柚井遺跡出土 木簡」が三重県指定有形文化財（考古資料）に指定される。

平成12年6月 神道博物館にて、第四回春季特別陳列「神道の典籍と古文書」開催。  
10月 史料編纂所に、中国政法大学法律戸籍整理研究所のメンバー5名を迎え、日中法制史をテーマに第一回学術シンポジウムを開催（平成16年度まで両研究機関にて交互に開催）。  
史料編纂所「古文書を読もう！」が始まる。

史料編纂所公開講演会「考古学の一年」が始まる（平成16年まで開催）。  
神道博物館にて、第五回秋季特別陳列「澤瀉久孝文庫展―萬葉集研究の軌跡―」開催。

平成13年3月 『続日本紀史料』第四巻 刊行。

4月 井後政晏教授、十四代神道研究所所長に就任。

深津睦夫教授、四代神道博物館館長に就任。

平成14年1月 史料編纂所、敷田年治翁百年祭式典・記念講演「敷田年治―その人と学問―」開催。  
『増補桃垣葉』刊行。

3月 史料編纂所、御師廃絶百三十年記念シンポジウム「伊勢の町と御師―伊勢参宮を支えた力―」（本学・伊勢市・伊勢市教育委員会共催）開催。  
シンポジウム資料集『伊勢の町と御師―伊勢参宮を支えた力―』刊行。

神道博物館にて、第六回特別陳列「御師と伊勢講―伊勢参宮の諸

相―」開催。

4月 京都女子大学教授稲本紀昭氏を史料編纂所研究員として受入れ。  
10月 神道博物館にて、第七回特別陳列「皇學館大学の名品―開学百二十年記念特別陳列―」開催。

平成15年4月 清水潔教授、九代史料編纂所所長に就任。  
皇學館大學神道博物館より皇學館大學 佐川記念神道博物館に改名。  
法人本部に皇學館史料編纂委員会を設置。

5月 渡辺寛教授、館史編纂委員長に就任。  
11月 佐川記念神道博物館にて、第八回特別陳列「千束屋の歌舞伎衣裳とその意匠Ⅰ―女方衣裳に織り込まれた美意識―」開催。  
伊勢学舎図書館内に館史編纂室を開設（組織としては4月発足）。

吉崎久図書課長、館史編纂室室長に就任。

平成16年3月 『原田敏明每文社文庫蔵書目録』刊行。

『続日本紀史料』第五巻 刊行。

4月 渡辺寛教授（館史編纂委員長）、館史編纂室室長に就任。また、館史編纂室に専任室員を置く。

6月 『原田敏明每文社文庫写真目録』刊行。

『皇學館大學神道研究所所報』第六七号に「原田敏明每文社文庫研究調査資料目録」を掲載。

11月 佐川記念神道博物館にて、第九回特別陳列「千束屋の歌舞伎衣裳とその意匠Ⅱ―立役衣裳に織り込まれた伊達と粹―」開催。

12月 『続日本紀史料』第六巻 刊行。

平成17年3月 『皇學館大學所蔵大學史目録』刊行。（平成19年3月、増訂版刊行。）

4月 安江和宣教授、十五代神道研究所所長に就任。

上野秀治教授、十代史料編纂所所長に就任。

島原泰雄教授、五代神道博物館館長に就任。

10月 『続日本紀史料』第七巻 刊行。

佐川記念神道博物館にて、博物館学芸員課程4回生卒業展示始まる。

佐川記念神道博物館にて、史料編纂所特別展示会「香川敬三関係資料の世界―明治皇族と元勳の筆蹟―」開催。

館史編纂室、第一回資料展を開催。(以後、平成23年まで年1回開催。開催に合わせて資料集を刊行。)

平成18年3月 『続日本紀史料』第八巻 刊行。

平成19年3月 『原田敏明毎文社文庫写真資料目録』刊行。

『続日本紀史料』第九(上)巻 刊行。

佐川記念神道博物館に千束屋資料が寄贈される。

12月 佐川記念神道博物館にて、史料編纂所資料展示「福富家文書展」開催。図録『福富家文書』刊行。

皇學館大学史學會共催公開講座を開催。

『続日本紀史料』第九(下)巻 刊行。

平成20年8月 『続日本紀史料』第十(上)巻 刊行。

12月 『続日本紀史料』第十(下)巻 刊行。

佐川記念神道博物館にて、特別展「伊勢の歌舞伎と千束屋」開催。

特別展図録『伊勢の歌舞伎と千束屋』刊行。

平成21年4月 白山芳太郎教授、十六代神道研究所所長に就任。

岡田登教授、十一代史料編纂所所長に就任。

岡野友彦教授、六代神道博物館館長に就任。

5月 『続日本紀史料』第十一巻 刊行。

9月 『神路』第一号(復刻版)刊行。

11月 佐川記念神道博物館にて、平成21年度全国大学博物館学講座協議会

西日本部会が開催される。

平成22年1月 『続日本紀史料』第十二巻 刊行。

3月 佐川記念神道博物館に小原家文庫資料が寄贈される。

『小原家文庫資料目録』刊行。

『皇學館大学所蔵学校史誌目録』刊行。(平成26年2月、増訂版刊行。)

5月 『続日本紀史料』第十三巻 刊行。

日本博物館協会近畿支部支部長館として総会を開催する。

平成23年3月 『続日本紀史料』第十四巻 刊行。

9月 日本博物館協会近畿支部幹事館として役員会及び研修会を開催する。

10月 『増補 朝彦親王景仰録』刊行。

本学にて全国大学史資料協議会二〇一一年度総会ならびに全国研究会が開催される。

平成24年3月 『続日本紀史料』第十五巻 刊行。

4月 佐川記念神道博物館にて皇學館大学創立百三十年・再興五十周年記念特別展「神社名宝展―参り・祈り・奉る―」開催。

皇學館大学創立百三十年・再興五十周年記念特別展図録『神社名宝展―参り・祈り・奉る―』刊行。

『皇學館大學百三十年史』総説篇 刊行。

皇學館大學創立百三十年・再興五十周年記念展示「神宮皇學館・神宮皇學館大學・皇學館大學の軌跡―明治十五年―平成二十四年―」開催。

本学創立百三十年・再興五十周年の記念学術研究『訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀』刊行(思文閣出版)。

6月 『続日本紀史料』第十六巻 刊行。

7月 『続日本紀史料』第十七巻 刊行。

平成25年1月 『続日本紀史料』第十七巻 刊行。

3月 『皇學館大學百三十年史』資料篇一 刊行。

4月 皇學館大學研究開発推進センター設置。

岡野友彦教授、初代研究開発推進センター長に就任。

7月 『続日本紀史料』第十八巻 刊行。

10月 『続日本紀史料』第十九巻 刊行。

12月 『久邇親王行実』刊行。

平成26年3月 『続日本紀史料』第二十巻 刊行（全巻完結）。

『皇學館大學百三十年史』資料篇二・三 刊行。

館史編纂室廃止。

12月 『皇學館大學百三十年史』年表篇・写真篇 刊行（全5冊完結）。

館史編纂委員会廃止。館史編纂業務は研究開発推進センターが継承。

平成29年3月 『資料叢書』第八輯（『神宮御師資料』八幡朝見神社所蔵福嶋御塩焼

大夫文書）刊行。

4月 大島信生教授、二代研究開発推進センター長・七代神道博物館館長

に就任。

平成30年3月 『資料叢書』第二輯（『神宮御師資料』外宮篇一）改版刊行。

令和元年5月 佐川記念神道博物館にて、天皇陛下御即位記念特別展「即位礼と大

嘗祭」開催。

天皇陛下御即位記念特別展図録「即位礼と大嘗祭」刊行。

令和2年5月 『資料叢書』第九輯（『神宮御師資料』福島信悟家所蔵文書）刊行。

令和4年3月 『皇學館大學百四十年記念誌 飛躍と発展の十年』刊行。

令和4年4月 『皇學館大學創立140周年・再興60周年記念 伊勢と皇學館の140年』

刊行。

令和4年5月 皇學館大學創立140周年・再興60周年記念展示「伊勢と皇學館の

百四十年」開催。

### 3 組織・施設

#### 研究開発推進センターの目的と運用

研究開発推進センターは、従来皇學館大學内に設置されていた、三附置機関である神道研究所・史料編纂所・佐川記念神道博物館を一元的に運営するとともに、新たな研究プロジェクトを推進するために設置された。本センターは附置研究機関等における全学的な研究計画を立案、推進し、研究展開及び成果の発信を行う。

また、社会から本学に期待されている新たな研究教育機能を果たし、同時に本学の建学の精神を闡明・具現化し、将来にわたって強固なものにする責務を負うことを目的としている。

その活動推進に当たっては、教学運営会議及び研究開発推進センター部門調整会議の議決に基づき、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及・学内研究活動推進事業などの各事業を推進している。館蔵資料の展示公開については、佐川記念神道博物館にて開催する。なお、資料の寄贈・購入・寄託等に際しては各担当者及び共同研究者他により検討する。

#### 組織

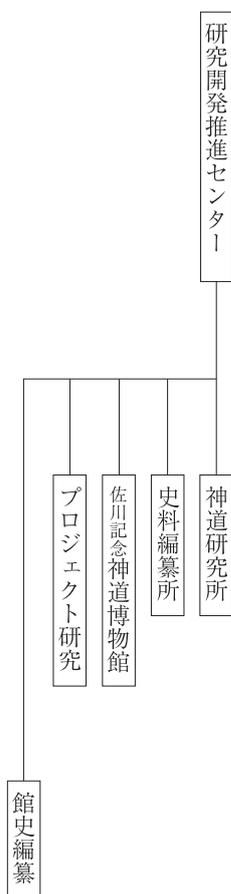
本センターには神道研究所・史料編纂所・佐川記念神道博物館・プロジェクト研究部門の4部門を設置し、其々研究教育上の推進を分担している。全体を統括するセンター長のもとには、各部門の運営を担う専任教員、共同研究員、客員研究員他（特別招聘教授、ポスドク研究員、研究補助員、リサーチ・アシスタント）、事務担当で組織し、各部門が個別に立案した研究事業、教育普及他を実施している。その他、佐川記念神道博物館の展示については担当学芸員により実施している。また、当センターの事務については大学総務部の研究開発推進センター担当が所管している。

## 研究開発推進センター施設

専用施設としては、佐川記念神道博物館全館及び本学3号館4階史料編纂所に設置されている。内容は佐川記念神道博物館1階九七〇・〇五㎡（研究開発推進センター長室 四三・〇㎡、事務室 五九・〇㎡、閲覧室 四三・〇㎡、書庫 六八・〇㎡、共同研究室 四三・〇㎡、個人研究室1 一九・〇㎡、個人研究室2 一九・〇㎡、個人研究室3 一九・〇㎡、個人研究室4 一九・〇㎡、会議室 五三・〇㎡、講義室 八五・〇㎡、荷解室 一三三・〇㎡、電気室 二二・〇㎡、貴賓室 七二・〇㎡、湯沸室 八・〇㎡、エントランスホール他 三六五・〇五㎡、

その他 一〇・〇㎡）、2階八四八・七二㎡（ロビー展示室 一七〇・〇㎡、第一展示室 一七〇・〇㎡、第二展示室 八五・〇㎡、ギャラリー及び廊下 一四五・〇㎡、第一収蔵庫 八五・〇㎡、第二収蔵庫 六二・〇㎡、第三収蔵庫（本収蔵庫） 一二八・〇㎡、その他 三・七二㎡）、3号館4階史料編纂所（史料編纂所事務室 四〇・〇㎡、史料編纂所書庫1 四〇・〇㎡、史料編纂所書庫2 四〇・〇㎡、史料編纂所整理室 二〇・〇㎡、個人研究室1 二〇・〇㎡、個人研究室2 二〇・〇㎡）などがある。

## 組織図



人員構成（令和4年度）

センター教職員名簿

センター長兼  
佐川記念神道博物館長

副センター長

神道研究所担当教員

史料編纂所担当教員

佐川記念  
神道博物館学芸員

事務担当 事務長

事務

大島 信生（教授）

佐野 真人（准教授）

佐野 真人（准教授）

塩川 哲朗（助教）

荊木 美行（教授）

浦野 綾子（助教）

小林 郁（助教）

浅井 誠司

大谷 千帆

山口 明美

柿森 麻衣

山口 武徳（神宮宮掌）

堀川 秀徳（神宮宮掌）

吉川 竜実（神宮欄宜）

芝本 行亮（神宮宮掌）

山田 恭大（主事補）

音羽 悟（神宮主事）

神田 直久（出雲神社欄宜・元神宮宮掌）

新田 均（教授）

富永 健（教授）

高野 裕基（助教）

中山 郁（教授）

橋本 雅之（教授）

板井 正斉（教授）

大島 信生（教授）

深津 睦夫（教授）

齋藤 平（教授）

田中 康二（教授）

荊木 美行（教授）※専任

堀越 光信

毛利 正守（本学元教授）

岡野 友彦（教授）

多田 實道（教授）

谷戸 佑紀（助教）

窪寺 恭秀（神宮主事）

研究員名簿

《神道研究所》

第一部門 松本 丘（教授）

松下 道信（教授）

新田 恵三（助手）

第二部門 加茂 正典（教授）

佐野 真人（准教授）※専任

塩川 哲朗（助教）※専任

窪寺 恭秀（神宮主事）

西本 俊一朗（神宮宮掌）

《史料編纂所》

第一部門 荊木 美行

堀越 光信

毛利 正守

第二部門 岡野 友彦

多田 實道

谷戸 佑紀

窪寺 恭秀

加崎 千恵 (本学元職員)

小林 秀 (三重県総合博物館主幹兼課長代理)

### 第三部門

田浦 雅徳 (教授)

谷口 裕信 (准教授)

中條 敦仁 (教授)

長谷川 怜 (助教)

上野 秀治 (本学名誉教授)

### 第四部門

荊木 美行 (教授) ※専任

西山 祐実 (あさけプラザ図書館司書)

### 《神道博物館》

浦野 綾子 (助教) ※専任

小林 郁 (助教) ※専任

岡田 芳幸 (本学元教授)

浦野 綾子 (助教)

塩川 哲朗 (助教)

小林 郁 (助教)

浅井 誠司 (事務長)

大谷 千帆 (事務)

山口 明美 (事務)

### 部門調整員名簿

大島 信生 (センター長・教授)

佐野 真人 (副センター長・准教授)

荊木 美行 (教授)

加茂 正典 (教授)

河野 訓 (教授)

多田 實道 (教授)

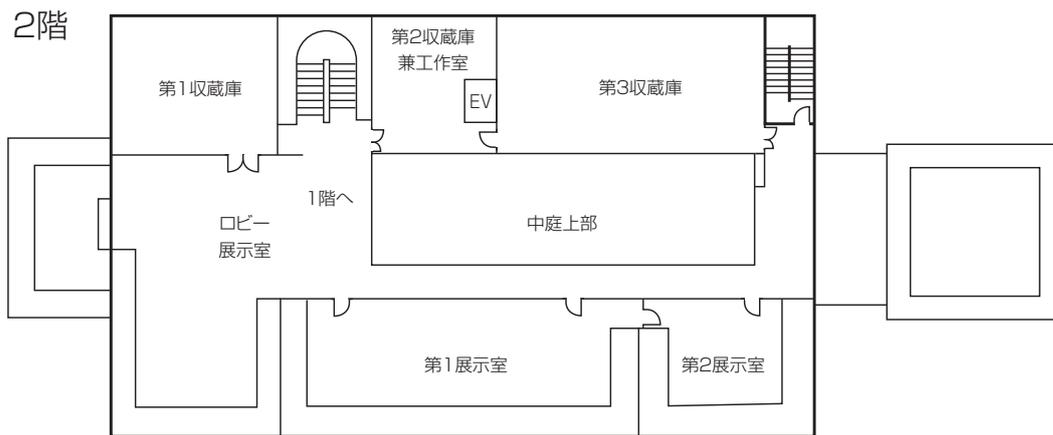
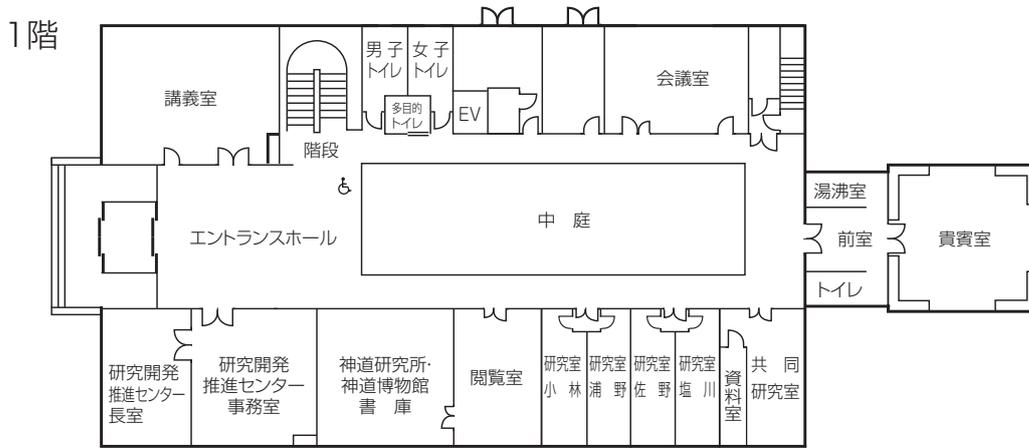
中山 郁 (教授)

新田 均 (教授)

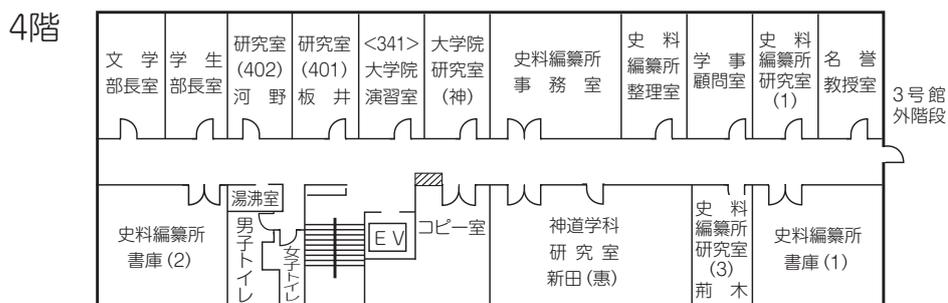
松本 丘 (教授)

谷口 裕信 (准教授)

佐川記念神道博物館（研究開発推進センター・神道研究所・神道博物館・館史担当）



3号館（史料編纂所）



## II 令和4年度事業報告

## Ⅱ 令和4年度事業報告

### 1 研究推進事業

#### (1) 活動報告

研究開発推進センターでは、研究倫理教育の実施や研究不正防止に係る体制の整備、不正防止計画の策定を行うほか、外部研究資金獲得に向けた研究支援活動を行っている。

#### A 研究倫理教育・コンプライアンス教育

当年度着任教員及び大学院入学生には、年度始めに本学作成の研究倫理教育資料の配付や日本学術振興会「研究倫理eラーニング」の受講案内を行ない、研究不正行為の内容やその防止について理解を促し、学部入学生には、研究倫理教育資料を配付し、本学における研究活動上の注意事項について説明した。また、公的研究費の使用に係るコンプライアンス教育等の実施計画や不正防止計画を策定し、教授会において教員及び公的研究費の運営・管理に係る事務職員に周知した。

- ① 大学院入学生を対象とした修学指導において研究活動の不正防止について説明し、研究倫理教育eラーニングの受講を案内。(4月5日)
- ② 当年度着任教職員を対象とした初任者研修において研究支援と研究不正の防止について説明し、研究倫理教育eラーニングの受講を案内。(4月8日)
- ③ 令和4年度研究不正防止計画及び公的研究費の使用に係るコンプライアンス教育・研究倫理教育の実施計画について、教授会で説明。(7月13日)
- ④ 研究不正に係る取組み(管理責任体制、研究倫理教育、ペナルティの内容、公益通報等)について、教授会で説明。(7月13日)

#### B 研究支援

外部研究資金獲得の一環として、科学研究費助成事業(以下、「科研費」という。)の申請件数及び採択件数の増加を目指し研究支援活動を行った。学内の科研費採択経験教員による「研究計画調書」書き方説明会のほか、外部講師による申請書レビューを実施し、採択率向上に向けた取り組みを行った。

また、受託研究・共同研究を推進するため、研究シーズを作成し本学ホームページで公開する等、外部団体への情報発信を行った。

- ① 「外部研究資金使用ハンドブック」科学研究費助成事業」に基づき、公的研究費使用説明会を実施。(4月27日 欠席者には別途開催)
- ② 令和5年度科研費申請の学内締切について説明。(5月11日)
- ③ 科研費「研究計画調書」書き方説明会(説明担当者：鶴沼憲晴教授・川村一代准教授・研究開発推進センター事務担当者)を実施。(7月13日)
- ⑤ 令和5年度科研費(8月以降に公募開始の研究種目)の応募手続き、公募における主な変更点、研究計画書作成上の注意事項等について説明。(9月2日)

#### (2) 研究課題

令和4年度科研費は新規採択数が6件(申請件数21件中)となり、交付された研究課題件数は12件(新規+継続)、配分総額は一、一三二万円であった。なお、令和5年度科研費の申請件数は15件である。

受託研究は玉城町より1件、宿田曾地域活性化協議会より1件受け、学内研究費は特別研究費が3件、特別研究設備費が1件、出版助成金が2件採択された。

	種 目	研究課題	研究代表者
新	令和4年度科研費 基盤研究（C）	古典籍の蒐集と書写を通してみた澤瀉久孝 「万葉学」形成過程の基礎的研究	文学部 教授 橋本 雅之
	令和4年度科研費 基盤研究（C）	昭和十年代における「国学的なるもの」の 興隆と衰亡	文学部 教授 田中 康二
	令和4年度科研費 基盤研究（C）	初級英語学習者の「対話能力」の評価 - 「面接型」テストと「対話型」テストの比 較-	文学部 准教授 川村 一代
	令和4年度科研費 基盤研究（C）	後見支援員を活用した公的后見システムの 構築—意思決定権の保障に向けて—	現代日本社会学部 教授 鶴沼 憲晴
	令和4年度科研費 若手研究	宴歌を対象とした平安期における社交詠の 研究	文学部 助教 吉井 祥
	令和4年度科研費 研究活動スタート支援	昭和期における徳富蘆花文学の受容と再創 造に関する研究	文学部 助教 平石 岳
継	平成31年度科研費 基盤研究（C）	神宮御師資料の新たな発見に伴う信仰の地 “伊勢”の総合的調査研究	研究開発推進センター 助教 小林 郁
	令和2年度科研費 基盤研究（C）	中国近世期における道教内丹道の書誌学的 研究	文学部 教授 松下 道信
	令和3年度科研費 基盤研究（C）	視線入力を活用した重度身体障害児者の遠 隔eSports参加による自己肯定感の向上	教育学部 教授 大杉 成喜
	令和3年度科研費 基盤研究（C）	思春期の子どもへの親に対する自己開示に関 する研究	教育学部 教授 渡邊 賢二
	令和3年度科研費 基盤研究（C）	臨床判断能力を培うシュミレーション教育 の遠隔授業プログラムの構築	教育学部 准教授 小川 真由子
	令和3年度科研費 基盤研究（C）	古代伊勢神宮に関する未公刊史料を活用し た基礎的研究	研究開発推進センター 准教授 佐野 真人

B 受託研究・共同研究

	種 目	研究課題	研究代表者
継	受託研究	<契約先：宿田曾地域活性化協議会> 地域活性化対策（住民向け活動計画策定） 支援業務	教育開発センター 准教授 池山 敦
続	受託研究	<契約先：玉城町> 玉城町明るい未来づくりに関する調査研究 業務	教育開発センター 准教授 池山 敦

C 学内研究費（特別研究費・出版助成金）

	種 目	研究課題	研究代表者
新	特別研究費	生物のDNAに組み込まれたウイルス由来 の遺伝子発現を実感できる実験教材の開発	教育学部 教授 中松 豊
	特別研究費	多変数量子パウルヴェ系の構築とタウ関数 の量子化	教育学部 助教 上野 祐一
	特別研究費	高等学校生物基礎における免疫実験の教材 化	教育学部 助教 澤 友美
規	特別研究設備費	戦後における読書会の研究 —読書サークル・貸本屋・読書普及運動—	文学部 准教授 岡野 裕行

種 目	図書名 （ ）内は発行所	採択者
出版助成金 （単著）	『日本憲法の基本理念』 （嵯峨野書院）	現代日本社会学部 教授 富永 健
出版助成金 （単著）	『日本書紀の成立と史料性』 （燃焼社）	研究開発推進センター 教授 荊木 美行

### (3) プロジェクト研究部門

大学全体として取組むプロジェクトとして、国内4件、海外2件、計6件の研究を進めている。

・中国社会科学院日本研究所との交流協定に基づく共同研究（東アジアの宗教と伝統文化研究）については、本学で日中人文フォーラム「日中の伝統文化と相互交流」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和5年度に延期することとなった。

・英国ケント大学との共同研究（日英文化比較共同研究）については、神楽、祝詞、法楽和歌、伊勢新名所絵歌合、ウイリアム・シェイクスピアの劇などに関する内容を学際的に考えるためのワークショップを令和4年10月23～25日に行った。

### (4) リサーチ・アシスタント

申請なし。

## 2 神道研究所

### (1) 研究報告・研究会報告

#### A 総合研究

#### ① 神宮祭祀の研究（延暦儀式帳の研究）

・延暦儀式帳研究会を第57回4月27日、第58回5月25日、第59回6月29日、第60回7月27日、第61回9月28日、第62回10月26日、第63回11月30日、第64回12月21日、第65回1月18日、第66回3月22日に開催し、本文確定・訓読文・注解の草稿原稿作成を進めた。

・整理した第62回神宮式年遷宮の記録写真をもとに、「皇太神宮儀式帳」との比

較検討を行った（注解の草稿原稿に反映した）。

・研究会において検討終了分の注解原稿の補訂作業を行った。

・「延暦儀式帳」及び関連注釈書について調査・蒐集を行った。

・「延暦儀式帳」関連注釈書の翻刻・刊行を行った。

#### 〔論文〕

・佐野真人・塩川哲朗『伊勢神宮未公刊資料集（文献篇）』（皇學館大学佐野真人研究室、令和5年2月）

・佐野真人「延暦儀式帳講案」覚書―戦前期の儀式帳研究の一断片』（皇學館大学研究開推進センター紀要）第9号、令和5年3月）

#### 〔口頭発表〕

・佐野真人「延暦儀式帳」研究の現状と課題」（第68回神道史学会大会、令和4年6月）

・塩川哲朗「伊勢と出雲の祭祀構造」（鳥根県古代文化センター「出雲と伊勢」第5回検討会、令和4年10月）

#### ② 神宮祭祀の研究（伊勢神宮の総合的研究）

・整理した神宮式年遷宮の諸祭・行事の写真をもとに儀式帳との相違点を比較した。

・神宮・遷宮関係画像資料を収集した。

・共同研究員による関連研究を推進した。

#### 〔論文〕

・芝本行亮「伊勢神宮古神宝の扱い」（皇學館大学研究開推進センター紀要）第9号、令和5年3月）

・堀川秀徳「蘭田守良の正遷宮研究―文永三年内宮正遷宮を衷心に―」（皇學館大学研究開推進センター紀要）第9号、令和5年3月）

#### ③ 皇室祭祀の研究

・皇室祭祀関係資料・文献を蒐集した。讓位に関する情報収集を行った。

・岡山大学附属図書館池田文庫（旧池田侯爵家旧蔵）所蔵の大嘗祭関係史料の調査を実施した。

〔論文・その他〕

・塩川哲朗「大嘗祭の基本構造とその形成・成立」〔『日本書紀研究』34、令和4年5月〕

・塩川哲朗「木村大樹著『古代天皇祭祀の研究』」〔『神道宗教』269、令和5年1月〕

## B 研究会活動

①「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会

・令和4年度は本文の輪読会を4月27日、5月25日、6月29日、7月27日、9月28日、10月26日、11月30日、12月21日、1月18日、3月22日に開催した（総合研究欄参照）。

## C 部門別研究

### 【第一部門 神道思想】

①神道・国学思想及びその周辺思想の調査研究

・吉田神道、垂加神道・国学の思想、及びそれらの周辺を構成する儒教・道教・仏教などの外来思想について、専門領域ごとに分担しながら、総合的に調査研究を行った。

〔著書〕

・松本丘『幕末勤王志士と神葬』（共著、ミネルヴァ書房、令和4年10月）

〔論文〕

・松下道信「中世神道の道教受容―吉田神道所伝『太上説北斗元霊経』版本再論―」〔『日本漢籍受容史―日本文化の基層―』（高田宗平編、八木書店、令和4年11月）

〔資料紹介〕

・新田恵三「吉田神道資料―清原宣賢筆草稿本『行事秘』―」〔『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第9号、令和5年3月〕

〔口頭発表〕

・松下道信「徐道齡『北斗経注』と旧本『北斗経』との関係について」（道教文化研究会、令和4年4月）

・松下道信「吉田神道所伝『太上説北斗元霊本命延生妙経』の版本について」（第68回神道史学会大会、令和4年6月）

・新田恵三「神道史学会における吉田神道研究の回顧と展望」（第68回神道史学会大会、令和4年6月）

②神道家・国学者の事跡研究

・京都・近江地方の神道家について調査を進めた。  
・明治期の神道家三輪田高房について調査研究を行った。

〔論文〕

・新田恵三「三輪田高房が鎮魂行事の目的として論じた「治心」」〔『神社本庁総合研究所紀要』27、令和4年6月〕

・新田恵三「三輪田高房の鎮魂論と「日文」」〔『皇學館大学紀要』第61輯、令和5年3月〕

〔口頭発表〕

・新田恵三「神社神道で行われる神道行法の構成要素―鎮魂行事次第の分析を中心として―」（令和4年度皇學館大学研究開発推進センター神道研究所公開学術シンポジウム、令和4年12月）

③『神道資料叢刊』『神道書目叢刊』刊行準備のための調査研究

・次回の神道資料叢刊刊行へ向けて準備を進めた。  
〔口頭発表〕

・新田惠三「吉田兼原による『神壇大義』の述作―事相解釈の変容をめぐつて―」（日本宗教学会第81回学術大会、令和4年9月）

## 【第二部門 祭祀】

### ① 『延暦儀式帳』の研究

・総合研究と連携して延暦儀式帳研究会を第57回4月27日、第58回5月25日、第59回6月29日、第60回7月27日、第61回9月28日、第62回10月26日、第63回11月30日、第64回12月21日、第65回1月18日、第66回3月22日に開催し、本文確定・訓読文・注解の草稿原稿作成を進めた。  
・整理した第62回神宮式年遷宮の記録写真をもとに、「皇太神宮儀式帳」との比較検討を行った（注解の草稿原稿に反映した）。

・研究会において検討終了分の注解原稿の補訂作業を行った。

・「延暦儀式帳」及び関連注釈書について調査・蒐集を行った。

・「延暦儀式帳」関連注釈書の翻刻・刊行を行った。

### 〔著書〕

・佐野真人・塩川哲朗『伊勢神宮未公開資料集（文献篇）』（皇學館大学佐野真人研究室、令和5年2月）

### 〔論文〕

・芝本行亮「伊勢神宮古神宝の扱い」（『皇學館大学研究開推進センター紀要』第9号、令和5年3月）

・堀川秀徳「藪田守良の正遷宮研究―文永三年内宮正遷宮を衷心に―」（『皇學館大学研究開推進センター紀要』第9号、令和5年3月）

・佐野真人「延暦儀式帳講案」覚書―戦前期の儀式帳研究の一断片」（『皇學館大学研究開推進センター紀要』第9号、令和5年3月）

### 〔口頭発表〕

・佐野真人「『延暦儀式帳』研究の現状と課題」（第68回神道史学会大会、令和4年6月）

和4年6月）

・塩川哲朗「伊勢と出雲の祭祀構造」（島根県古代文化センター「出雲と伊勢」第5回検討会、令和4年10月）

### ② 大瀧家所蔵鈴木重胤資料の調査・研究、鈴鹿家資料の調査・研究

・「羽前大瀧家伝来鈴木重胤先生関係資料」の内、和本28冊のデジタル撮影を行った。

・鈴鹿家一次資料目録を基に、分類作業を進捗させた。また、鈴鹿家資料の写真データを研究開推進センターに移管した。

### ③ 神道資料叢刊17『樸陰記 中』の編集・刊行

・神道資料叢刊17『樸陰記 中』を刊行した。

・令和6年度に刊行する神道資料叢刊17『樸陰記 下』の原稿作成をすすめた（令和6年度の上半期に入稿予定）

### 〔著書〕

・加茂正典監修、吉川竜実・音羽悟・窪寺恭秀・山田恭大・神田直久編 神道資料叢刊17『樸陰記 中』（神道研究所、令和5年3月）

## 【第三部門 神道史】

### ① 近代政教関係の研究

・近代の神道や皇室の課題についての研究を継続した。

### 〔論文〕

・新田均「国家神道」研究史の論文化と独自の時代区分の提示（一）」（『皇學館論叢』55-3、令和4年10月）

・新田均「国家神道」研究史の論文化と独自の時代区分の提示（二）」（『皇學館論叢』55-4、令和5年1月）

### ② 近代政教関係の研究

・戦前の公法学者の政教関係に係わる著作（著書・論文・講演等）について、調

査および資料収集を継続した。

③近代政教関係の研究

・近代宗教制度史に関する先行研究を整理した。

【第四部門 宗教・民俗】

①神道における「行法」の研究

・評価指標としては(1)参加者50名以上(含、オンライン参加者)、(2)シンポジウム終了後に学内外有志による研究グループ(仮称「行法研究会」)の結成、としていた。(1)については全参加者50名を越え、(2)についてもシンポジウム開始前に学内教員により「行法研究会」を結成し、令和4年度に3回の研究会を実施した。よって、達成度は100%とする。

〔口頭発表〕

・中山郁「修行論再考―研究方法と視座をめぐって」(神道宗教学会第76回学術大会)

②神道教育に関わる映像教材作成

・評価指標としては(1)学生、教員による事前研究会の開催(『儀式』祈年祭儀講読)を3回以上、(2)映像教材の撮影終了、(3)令和5年度からの授業への供用準備完了、であった。研究会は5回行ったうえ、『延喜式』の班幣儀礼に関する再現映像を完成させ、令和5年度の授業で提供する準備が整ったことから100%達成とする。

〔その他〕

・佐野真人、新田恵三、本田菜々子、國本華代、中川準、永尾凜、中山郁他  
『儀式』祈年祭班幣(30分作品)

【第五部門 文学・藝術】

①皇室文学の研究

・皇室に関わる文学についての研究を実施した。特に『勅撰和歌十三代集研究

文献目録』(昭和58年)刊行以後の研究資料整備の充実を目的として、同書の増補改訂作業を進めた。また各自の専門分野に応じて研究を行った。

〔口頭発表〕

・深津睦夫「藤原俊成の歌神観」(中世文学会秋季大会公開講演会、令和4年10月)

・大島信生「万葉集の戯書」(美夫君志会例会、令和5年1月)

②五葉蔭文庫の研究

・五葉蔭文庫の典籍目録・文書目録作成に向けて調査・研究を進めた。

〔論文〕

・浦野綾子「長野義言の文化的ネットワーク―伊勢の堀内広城との交流を中心に―」(『古典と歴史』第11号、令和4年11月)

・浦野綾子「長野義言が見た即位礼―義言『長月日並乃記』からみる即位礼拝観と文化人との交流について―」(『皇學館大学紀要』第61輯、令和5年3月)

3 史料編纂所

(1) 研究報告・研究会報告

【第一部門 六国史編年部門】

主任・荊木美行

①日本後紀編年史料の作成

桓武天皇朝の延暦11年(七九二)から大同元年(八〇六)までの期間について、日本後紀の記事を機軸としつつ、関係史料を網羅する編年史料集の作成を継続。編年史料集編纂の基礎史料となる『新撰姓氏録』の校訂を進め、『日本後紀史料(稿)番外編』として、卷十一〜二十までの分を『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第9号に掲載した。

## ② 日本書紀史料作成の準備

日本書紀を中心とした七世紀以前の編年史料集作成の可能性を探る一環として、『日本書紀』諸本や『日本書紀』研究史の調査・研究を実施した。成果として、荊木美行「『日本書紀』註釈の歴史」（『神社本廳総合研究所紀要』27）・同「『日本書紀』とはなにか―『続日本紀』の撰上記事の再検討」（『古代史の海』107）を発表した。

## 【第二部門 神宮史料】

主任…多田實道

### ① 福島大夫関係文書の翻刻

来年度刊行予定の『神宮御師資料』11の原稿作成のため、神宮文庫に所蔵される福島大夫関係文書の確認・翻刻作業を進めた。

## 【第三部門 明治史料】

主任…谷口裕信

### ① 香川敬三関係文書に関する共同研究

コロナ禍が収束に向かっていくことを受け、学習院大学史料館との共同研究を再開し本格化させるため、同史料館に出張して文書移管後の収蔵状況を確認し、本格的な研究活用に向けた方策を協議した。また史料翻刻については継続して進めた。

### ② 原川魁輔関係文書の研究

画像データをもとに目録作成、翻刻を進めつつあるが、研究開発推進センター紀要での成果公表には至っていない。

### ③ 旧御師岩井田家資料の研究

明治43年大水害において、内宮方旧御師岩井田家と旧檀家とがやりとりした書簡などをもとに、両者の関係性を分析した論文と、外宮方旧御師橋村家の参宮人帳をもとに、幕末維新期の参宮人の動向を分析した論文を公表した。

成果としては、谷口裕信「明治維新期の伊勢参宮―橋村主計家の参宮人帳を事例として―」（『地方史研究』72、4）、同「利根川・渡良瀬川合流地域

（北埼玉郡）の被災情報―旧伊勢御師宛書簡を手がかりに―」（土田宏成・吉田律人・西村健編著『関東大水害―忘れられた1910年の大水害』、日本経済評論社）を発表した。

## 【第四部門 考古資料】

鈴木敏雄氏遺稿旧蔵資料の整理編纂

主任…荊木美行

鈴木資料のうち、伊勢参宮にかかわる史料の翻刻を継続した。

鈴木資料の悉皆点検を実施し、破損や劣化がないかの確認を進め、保存状態のよくない①整理番号〔乙〕B・16、1226伊坂出土銅鐸拓本1軸、②整理番号〔乙〕B・27、2142安濃郡神戸村字木ノ根出土銅鐸拓本1軸、③整理番号〔乙〕B・27、2145野田銅鐸拓本1軸、④整理番号〔未〕A・156志岐守宛古文書1軸の修復を行った。

## 4 佐川記念神道博物館

### （1）活動報告

#### A 総務事業

- ① 収蔵資料を中心に写真業者によるデジタル撮影及びフォトCDへの焼付。
- ② 博物館収蔵資料の被覆燻蒸を実施。
- ③ 虫害モニターを実施。
- ④ 博物館外周ならびに水周りにおける害虫駆除を実施。
- ⑤ 展示室・収蔵庫の温湿度管理を実施。
- ⑥ 購入・寄贈の図書や雑誌等の整理を実施。

⑦ Web上のおうちミュージアム「おうちで神道博物館」を更新。コンテンツを充実させた。

## B 展示

(企画展)

① 佐川記念神道博物館企画展を実施。

・ 展覧会名 「伊勢と皇學館の140年」  
・ 会 期 令和4年5月2日～8月31日

(常設展示)

② 企画展開催にともない、第2展示室の入れ替えを行うとともに、千束屋資料の展示替を実施。

## C 学芸事業

① 本学収蔵資料の調査及び整理を実施。

② 小田文雄氏寄贈鑑鏡類の調査・整理を実施。(三重県総合博物館との共同研究)

③ 「伊勢御師橋村家関係資料」・橋村家墓石の調査・研究を実施。

④ 収蔵資料のデジタル撮影及び皇學館大学デジタルアーカイブ上での公開を実施。

⑤ その他、新収蔵資料を中心に、調査・整理を実施。

## (2) 館史編纂

・ 館史資料の目録作成

・ 寄贈資料の受入れと整理

・ 学内における館史資料の搜索、他部署からの移管と整理

・ 皇學館大学創立140年・再興60年記念展示「伊勢と皇學館の140年」に向けた資料の調査、図録と展示解説を作成

・ 皇學館大学百四十周年記念誌『飛躍と発展の十年』の作成

・ 朝彦親王百三十年祭に合わせ、図書館においてミニ展示「皇學館と朝彦親

王」を開催

・ レファレンス対応を逐次実施。

・ 本学借用岩井田家資料のうち皇學館関係資料の撮影を写真業者により行った。

## (3) 博物館学芸員課程学生の博物館実習

### A 本年度の博物館実習の内容と構成

本学における令和4年度の博物館実習内容及び構成は次の通りである。

#### a 佐川記念神道博物館における実習

##### ○基礎実習（3年次生 毎週）

当館講義室ほか 浦野綾子助教指導

基礎実習は博物館における基礎的な技術の習得を主眼とするもので、資料の劣化因子とその対策、各種資料の取り扱い方法とその実習（和装本・卷子本・掛幅他）、資料調書の作成、展示資料の撤収・陳列その他を実施した。

##### ○展示案内実習（3年次・4年次生 各学年1日ずつ合計2日間）

当館展示室 浦野綾子助教・小林郁助教指導

学生が当館常設展示室の陳列品を来館者に対し解説案内する。オープンキャンパスにて実施された。当実習では事前に試験を実施し合格することが条件となっている。

##### ○梱包実習（3年次生〈初級〉6月19日実施）・4年次生〈上級〉7月17日実施）

当館講義室 日本通運株式会社津支店美術品係員3名指導

日本通運株式会社美術品係員による梱包材料の解説並びに梱包技術の指導と実習を行った。3年次生は初級（基礎編）として、美術品梱包の心得、綿布団の作り方から陶磁器類の梱包方法とその実際、保存箱等の紐の取り扱いや掛け方、紐掛け方法等を実習した。4年次生は上級（応用編）で、大型埴

輪等の梱包方法、掛幅・卷子の取り扱い方法等を実習した。

○採拓実習（3年次生 6月26日実施）

当館講義室 野村辰美氏指導

湿拓、乾拓の意義や方法を講義の後、当館資料を実際に用い採拓した。学生各自に資料1点ずつを配し湿・乾両方の採拓を行い、その後資料を交換し状況の異なる資料2～3点の拓本を採取した。

○実測実習（3年次生 11月13日実施）

当館講義室 三重県埋蔵文化財センター竹田憲治氏指導

三重県埋蔵文化財センター資料を使用し考古資料の実測の意義や方法、実際の実測等を実習した。

○刀剣実習（4年次生 11月6日実施）

当館講義室 三重県総合博物館学芸員 小林秀氏

尼崎市立歴史博物館学芸員 服部早希氏指導

神道博物館所蔵の刀剣を使用し、刀剣の取り扱いや手入れ方法を実習した。

○学外館務実習の事前指導・事後指導（3年次・4年次生）

学外館務実習の事前指導として実習に臨む心がけや諸注意事項等の指導を行い、実習後の学内における通常の実習時間に実習生各自が館務実習館や実習内容等について報告した。演習形式で討論することにより、博物館の現状と課題、実習館や実習における学生の反省点、意識、その他さまざまな課題について研究・討議することができた。

b 佐川記念神道博物館以外における実習

○実務実習（3年次生 9月15日実施）

三重県総合博物館 三重県総合博物館学芸員指導

三重県総合博物館にて学芸補助業務を行った。

○神宮徴古館実習（3年次生 5月21日～5月22日実施）

神宮徴古館農業館学芸員並びに職員指導

神社博物館の代表館としての神宮徴古館農業館で神社博物館の実際の業務を3日間にわたり実習した。

○熱田神宮宝物館見学実習（3年次・4年次生 10月8日実施）

熱田神宮宝物館学芸員・同文化研究員並びに職員指導

熱田神宮宝物館を訪れ神社宝物館の業務についての講義や資料取り扱い方法（刀剣類他）等を実習した。

○学外館務実習（4年次生 原則夏季休業期間）

4年次生が自ら受け入れ交渉を行った主として出身地に設置された博物館施設における館務実習で、各館おおむね1週間程度の期間受け入れていただき実施している。学生にとっては大学附属博物館における実習とは異なり、新たな緊張感のもと実習に臨むことができ、極めて大きな教育効果があげられている。

令和4年度の受け入れ館は次のとおりである。（実習生総計15名）

- |                     |     |    |
|---------------------|-----|----|
| 1 熱田神宮宝物館（愛知県名古屋市）  | 実習生 | 5名 |
| 2 岐阜市歴史博物館（岐阜県大宮市）  | 実習生 | 3名 |
| 3 中山道広道美術館（岐阜県恵那市）  | 実習生 | 1名 |
| 4 四日市市立博物館（三重県四日市市） | 実習生 | 1名 |
| 5 斎宮歴史博物館（三重県明和町）   | 実習生 | 2名 |
| 6 三重県総合博物館（三重県津市）   | 実習生 | 2名 |
| 7 倉吉博物館（鳥取県倉吉市）     | 実習生 | 1名 |

(4) 記念展示

○展覧会名

皇學館大学創立140周年・再興60周年記念

「伊勢と皇學館の140年」

○会期

令和4年5月2日～8月31日

○展覧会場

当館第2展示室ほか

○展覧会の概要

【開催趣旨】

皇學館大学の起原は、140年前の明治15年（1882年）、林崎文庫内に創設された皇學館に遡ります。その後、内務省管轄の神宮皇學館に発展し、さらに文部省管轄の神宮皇學館大學へと昇格しました。敗戦後、神道指令により廃学となりますが、館友をはじめとする関係者の努力により昭和37年（1962年）、私立大学として再興し現在に至ります。

「わが国の歴史に根差した道義と学問とを学び、実際の社会の中で実践して、文明の発展に貢献する」という本学の理念は140年間にわたり脈々と受け継がれ、毎年有為の人材を社会へ送り出しています。

展示前半では、近代の宗教行政の展開と皇學館の創設、内務省所管の官立専門学校としての発展、倉田山への学舎移転、文部省が管轄する大学への昇格など戦前期における歩みを様々なテーマで紹介しました。後半では、廃学後から再興に至った経緯、再興後の大学における教育・研究環境の拡充と施設整備や学生生活の様子などを扱い、長きにわたって収集・保存されてきた数々の資料を展観しました。

【刊行物】

図録「皇學館大学創立140周年・再興60周年記念 伊勢と皇學館の140年」

発行：学校法人 皇學館

記念誌「皇學館大学百四十周年記念誌 飛躍と発展の十年」

発行：学校法人 皇學館

【展示品一覧】

※展示品一覧表は次頁に掲載

章	資料名	出典	年代	所蔵先・提供者等 *敬称略
1章	内宮周辺図	「伊勢参宮案内」(若杉雪)	明治42年	個人蔵
	神宮教本院神殿及大教殿 改築見込之図	-	明治期	館史編纂
	神宮司庁	絵葉書	大正期	個人蔵
2章	校舎遠景と歴代館長	神宮皇學館創立三十年記念絵葉書	明治45年	館史編纂
	有栖川宮熾仁親王による「皇學館」扁額	神宮皇學館創立三十年記念絵葉書	明治45年	館史編纂
	神宮皇學館全図	-	明治29年	皇學館大学附属図書館
	小串重威卒業証書	-	明治33年	個人蔵
	金蘭簿	-	明治25～30年	個人蔵
	賀陽宮邦憲王令旨	-	明治33年	皇學館大学総務部
	大正4年卒業記念写真	-		館史編纂
	神苑図誌	-	明治43年	皇學館大学図書館
	伊勢参宮名所図絵	-		
	『皇后陛下行啓記念写真帖』(神宮皇學館)	-	大正11年	館史編纂
	『神路』(神道学会)	-	昭和期	館史編纂
	『史學會會報』第1号(神宮皇學館史學會)	-	大正11年	館史編纂
	『皇學』／『神道研究』	-	昭和期	館史編纂
	神宮皇學館徽章・ボタンなど	-	昭和期	館史編纂
佐藤馨から佐藤梅野宛絵葉書	絵葉書	明治42年	館史編纂	
3章	倉田山空中写真(空から見た神宮皇學館)	「精華寮記念祭絵葉書」	昭和3年	館史編纂
	中野与吉郎から平田貫一宛書簡	-	昭和14年	館史編纂
	「惟神道場二関スル綴」	-	昭和15年～19年	館史編纂
	大学昇格 創立六十周年記念品	-	昭和15年	館史編纂
	神宮皇學館大學制帽	-	昭和期	館史編纂
	『大日本青年』(毎日新聞社)	-	昭和15年	皇學館大学附属図書館
	出征時の日章旗	-	昭和18年	館史編纂
	廃学後の残務整理事務員	-	昭和21年カ	館史編纂
4章	伊勢専門学館関係文書	-	昭和21年～22年	館史編纂
	地鎮祭記念文鎮	-	昭和36年	館史編纂
	皇学館大学開学式	-	昭和37年	館史編纂
5章	開校式招待状	「宮司関係綴」	昭和37年	檀原神宮
	昭和37年大学案内	-	昭和37年	館史編纂
	初期の学生募集ポスター	-	昭和30～40年代	皇學館大学附属図書館
	大学案内	-	昭和30年代～60年代	皇學館大学学生支援部 蔵
	第2回大学祭ポスター	-	昭和38年	皇學館大学附属図書館
	皇学館短期大学募集ポスター	-	昭和40年代	館史編纂
	記念映画「皇學館大學」フィルム(複製)	毎日映画社、昭和47年製作	昭和47年製作	
	炎上する講堂	-	昭和41年	館史編纂 蔵
	講堂の鴟尾と隅棟鬼飾り	-		
	講堂の瓦・タイル	-	令和3年～4年発掘	館史編纂 蔵
	大学附属資料館竣工予定図	-	昭和63年	館史編纂
	創立百周年記念祭総合プログラム	-	昭和57年	個人蔵
	創立百周年記念ポスター	-	昭和57年	館史編纂
	「学生便覧」	-	昭和41年	館史編纂
	校舎等竣工予定図	-	昭和末～平成	館史編纂 蔵
	昭和58年度学生募集ポスター	-	昭和60年	皇學館大学学生支援部
	伊勢学舎鳥瞰図	社会福祉学部案内	平成13年	館史編纂
精華寮自治記念祭(絵葉書)	-	明治45年	館史編纂 蔵	
清明寮	「皇學館絵葉書」	昭和期	館史編纂 蔵	
精華寮北寮の竣工予定図	-	昭和60年	館史編纂 蔵	
ソノシート(校歌・精華寮寮歌)	-	昭和期	館史編纂 蔵	
昭和57年度学生寮案内	-	昭和57年	館史編纂 蔵	
6章	社会福祉学部案内(認可申請中)	-	平成9年カ	館史編纂
	名張学舎の第2回大学祭ポスター	-	平成11年	皇學館大学附属図書館 蔵
	神宮皇學館大學から皇學館大学へ	社会福祉学部案内	平成9年	館史編纂
	名張学舎模型	-	令和4年撮影	館史編纂撮影
	神明宮の瑞垣の部材	-	平成期	個人蔵
	フクちゃん・ブンちゃんグッズ	-	平成期	個人蔵
	新校舎建設計画図(当初案)	-	平成23年	三輪晃久写真研究所提供
9号館建設時の土質標本	-	平成22年	-	
旧1号館と新教育研究棟	-	平成23年	三輪晃久写真研究所提供	



皇學館大学  
創立140周年・再興60周年記念展示

# 伊勢と 皇學館の140年



平日 9時30分～16時30分  
土曜 9時30分～12時30分

※入館料は入館時間によって異なります  
※休館日は別途案内

休館日：日曜・8月11日(休・祭)～16日(休)

入館料：無料

主催：皇學館大学

皇學館大学 佐川記念 神道博物館

令和4年  
5/2(月) ▶ 8/31(水)

※皇學館大学は、皇學館大学の歴史・文化・芸術・教育・研究・社会貢献をテーマとして、  
各種展示・講座・イベントを開催しています。皇學館大学の歴史・文化・芸術・教育・研究・社会貢献をテーマとして、  
各種展示・講座・イベントを開催しています。

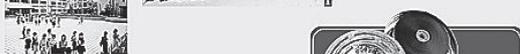
チラシ (表)

## 伊勢と皇學館の140年

皇學館大学の起源は、今から140年前の明治15年(1882)、林崎文政内に創設された皇學館にさかのぼります。その後、内務省管轄の神道皇學館に発展、さらに文部省管轄の神道皇學館へと昇格します。  
阪神間にGPOの「神道皇學館」により志学となりますが、館友をはじめとする関係者の努力により昭和37年(1962)、私立大学として再興し現在に至ります。

「わが国の歴史に格闘した道義と学問とを学び、実際の社会の中で実践して、文明の発展に貢献する」という本学の理念は140年間にわたり脈々と受け継がれ、毎年若者の人材を社会へ送り出しています。皇學館のあゆみを伝える新資料を展示し、歴史を辿ることで本学の歴史の軌跡を広く紹介します。

昭和37年(1962) (昭和37年)



皇學館大学 創立140周年・再興60周年記念展示

皇學館大学 佐川記念 神道博物館

令和4年 5/2(月) ▶ 8/31(水)



チラシ (裏)



【記念品 しおり (表)】



【記念品 しおり (裏)】



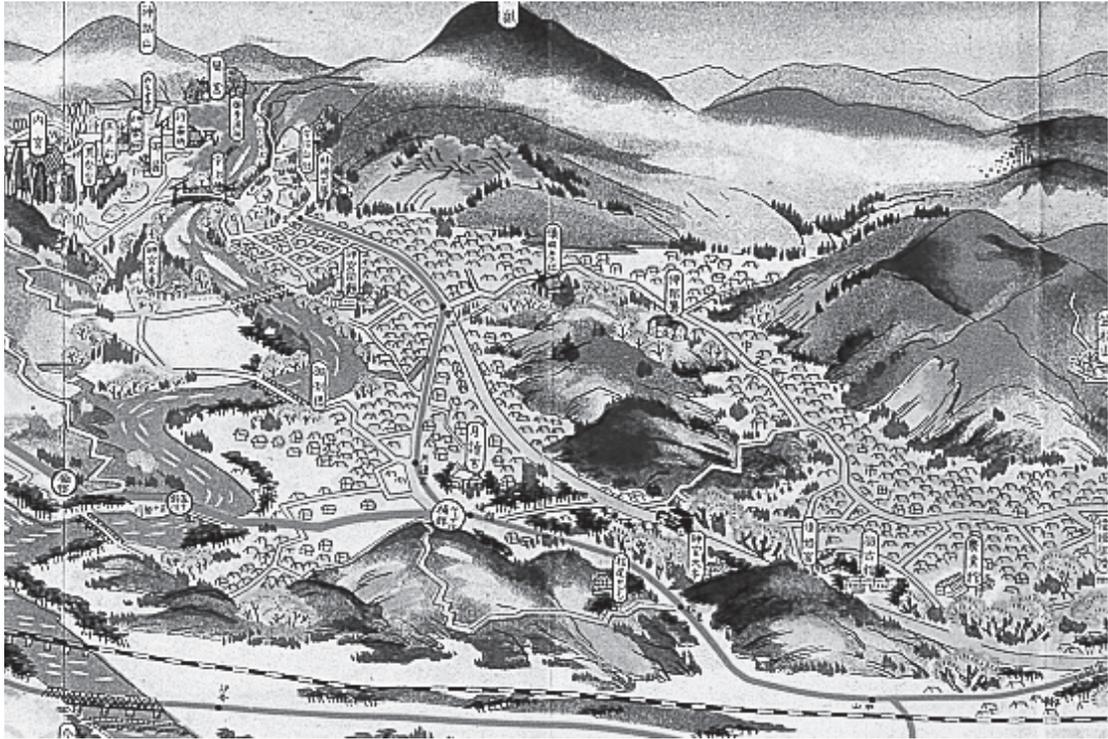
【記念品 絵葉書 1】

皇學館大学本館〈1号館〉昭和56年度大学案内より



【記念品 絵葉書 2】

神宮皇學館講堂（昭和3年）



【記念品 絵葉書3】

「伊勢参宮名所図絵」伊勢土産物商組合（大正13年）



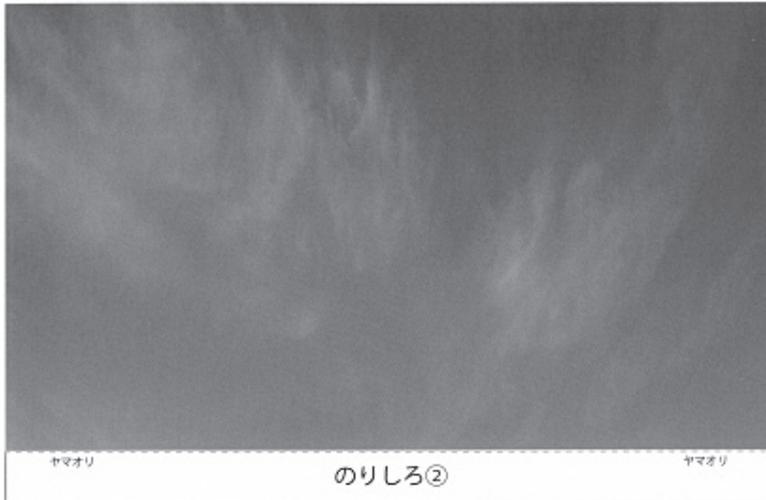
【記念品 絵葉書4】

「飛行機より見たる神宮皇學館」(昭和4年)

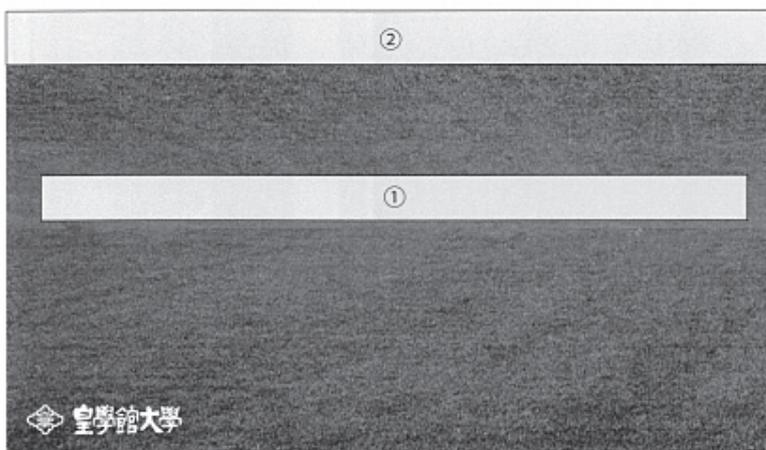
皇學館大学  
 創立140周年・再興60周年記念展示  
**伊勢と皇學館の140年**  
 オリジナル  
 ペーパークラフト



9号館と芝生広場



←校舎の角を丁寧に切り取るとリアルになります。



切り取って自由に配置してね！



平成10年から平成20年代  
 まで使用されていた皇學館  
 オリジナルキャラクター  
 パンちゃん (上)  
 フクちゃん (下)

**【記念品】**  
 オリジナルペーパークラフト

## 令和4年度 記念展入館者数

開催期間：令和4年5月2日～令和4年8月31日  
(令和4年4月30日 記念式典含む)

月	日	曜日	天気	一般	学生	合計	累計	備考
4	30	土	晴	40	15	55	55	創立記念日 創立140周年・再興60周年記念式典
5	2	月	晴	2	33	35	90	記念展開催初日 皇學館大学創立140周年・再興60周年記念展示 「伊勢と皇學館の140年」(5/2～8/31)
	3	火	雨	12	15	27	117	憲法記念日(授業実施) 博物館開館
	4	水	晴	8	19	27	144	みどりの日(授業実施) 博物館開館 ・博物館見学(長谷川先生と学生10名)
	5	木	晴	2	13	15	159	こどもの日(授業実施) 博物館開館
	6	金	晴	2	29	31	190	・博物館見学(長谷川先生と学生7名)
	7	土	曇	1	1	2	192	
	8	日				0	192	休館日
	9	月	曇のち雨	0	22	22	214	
	10	火	曇り時々晴	4	15	19	233	
	11	水	曇	3	25	28	261	・初年次ゼミ(長谷川先生と学生10名)
	12	木	雨	2	26	28	289	・初年次ゼミ(川村先生、玉田先生と学生16名)
	13	金	雨	0	8	8	297	
	14	土	雨のち晴	18	1	19	316	・博物館見学(萼の会15名)
	15	日				0	316	休館日
	16	月	曇	4	15	19	335	
	17	火	曇	8	13	21	356	
	18	水	晴	0	14	14	370	・博物館見学(大島先生と学生9名)
	19	木	晴	18	30	48	418	・初年次ゼミ(豊住先生、メイヨー先生と学生15名) ・博物館見学(館友2期生16名)
	20	金	曇	4	14	18	436	
21	土	雨	1	2	3	439		
22	日				0	439	休館日	
23	月	晴	1	9	10	449	・博物館見学(荘内神社 石原権禰宜)	
24	火	晴	3	1	4	453		
25	水	晴	1	22	23	476	・初年次ゼミ(多田先生、堀内先生と学生20名)	
26	木	雨	2	12	14	490	・博物館見学(近代史研究部会の学生8名) ・博物館見学(名誉教授 上野秀治先生)	
27	金	雨のち晴	1	3	4	494		

月	日	曜日	天 気	一 般	学 生	合 計	累 計	備 考
5	28	土	晴	4	3	7	501	神道博物館 教養講座①
	29	日				0	501	休館日
	30	月	晴	27	13	40	541	・博物館見学（天理教幅下大教会より25名）
	31	火	雨のち晴	3	3	6	547	
6	1	水	晴	2	61	63	610	・初年次ゼミ（松浦光修先生、岡野友彦先生と学生19名） ・初年次ゼミ（鶴沼憲晴先生、大井智香子先生、 瓜田理子先生と学生24名） ・初年次ゼミ（高橋摩衣子先生の学生7名）
	2	木	晴	89	3	92	702	・博物館見学（志摩市立磯部中学校より89名）
	3	金	晴	1	3	4	706	
	4	土	晴	4	4	8	714	
	5	日				0	714	休館日
	6	月	雨	2	6	8	722	
	7	火	晴	4	5	9	731	
	8	水	晴	3	52	55	786	・初年次ゼミ（遠藤慶太先生、谷口裕信先生と学生21名） ・初年次ゼミ（関根薫先生、村上政俊先生と学生17名） ・初年次ゼミ（中野一茂先生と学生9名）
	9	木	曇	3	6	9	795	
	10	金	曇	1	2	3	798	
	11	土	曇一時雨	24	0	24	822	史料編纂所 古文書講座：古代①
	12	日	晴	94	3	97	919	オープンキャンパス ・キャンパスツアー45名
	13	月	晴	1	7	8	927	
	14	火	雨	3	5	8	935	
	15	水	雨	0	4	4	939	
	16	木	曇	2	5	7	946	
	17	金	曇	1	2	3	949	
	18	土	雨	1	2	3	952	
	19	日				0	952	
	20	月	晴	3	4	7	959	
	21	火	雨	3	7	10	969	
22	水	曇	7	18	25	994	・初年次ゼミ（谷戸佑紀先生と学生11名） ・博物館見学（株式会社伊勢福3名）	
23	木	晴	1	1	2	996		
24	金	晴	2	2	4	1000		
25	土	晴時々雷雨	1	38	39	1039	神道博物館 教養講座②	
26	日				0	1039		
27	月	晴	10	12	22	1061		

月	日	曜日	天 気	一 般	学 生	合 計	累 計	備 考
6	28	火	晴	6	2	8	1069	
	29	水	晴	6	12	18	1087	
	30	木	晴	3	6	9	1096	
7	1	金	晴	3	3	6	1102	
	2	土	晴	3	4	7	1109	
	3	日				0	1109	休館日
	4	月	雨	4	1	5	1114	
	5	火	雨	1	3	4	1118	
	6	水	晴	9	14	23	1141	
	7	木	曇	4	24	28	1169	・初年次ゼミ (芳賀康朗先生、栗野理恵子先生と学生16名) ・博物館見学(神研学術講演会講師:桐原健真氏)
	8	金	晴	1	219	220	1389	・博物館見学(教育学科1年生の学生217名)
	9	土	曇時々雨	3	0	3	1392	
	10	日	晴時々曇	79	0	79	1471	オープンキャンパス ・キャンパスツアー45名
	11	月	曇時々晴	2	3	5	1476	
	12	火	曇のち雨	2	7	9	1485	
	13	水	晴	1	0	1	1486	
	14	木	曇のち雨	2	7	9	1495	
	15	金	雨	8	15	23	1518	
	16	土	雨	15	0	15	1533	史料編纂所 古文書講座:古代②
	17	日				0	1533	休館日
	18	月	晴のち雨	4	2	6	1539	海の日(授業実施)
	19	火	雨	0	8	8	1547	
	20	水	晴	5	2	7	1554	
	21	木	晴のち曇	3	1	4	1558	
	22	金	晴	3	0	3	1561	
	23	土	晴	4	3	7	1568	
	24	日				0	1568	休館日
	25	月	晴	0	2	2	1570	
	26	火	曇時々雨	1	1	2	1572	
	27	水	晴	2	0	2	1574	
	28	木	雨のち晴	6	0	6	1580	
	29	金	雨のち晴	1	1	2	1582	
	30	土	雨のち晴	4	0	4	1586	
	31	日	晴	69	12	81	1667	神道博物館 夏休み親子教室①

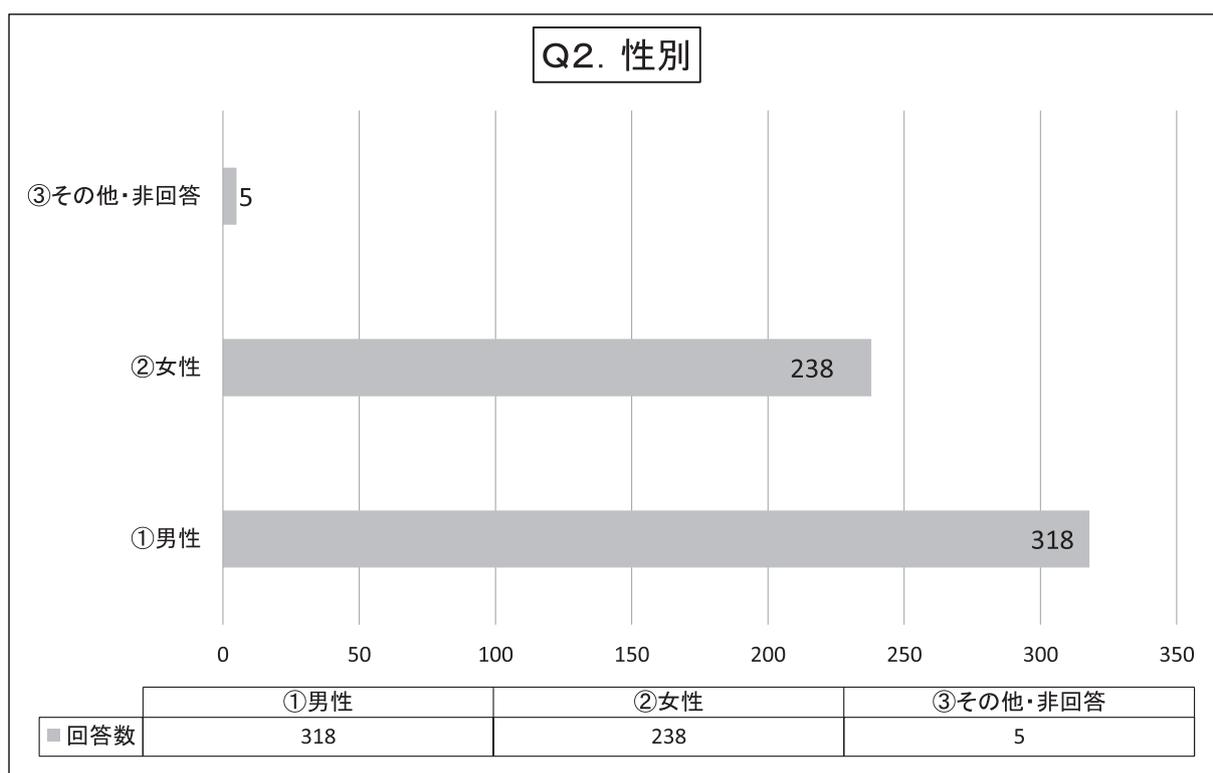
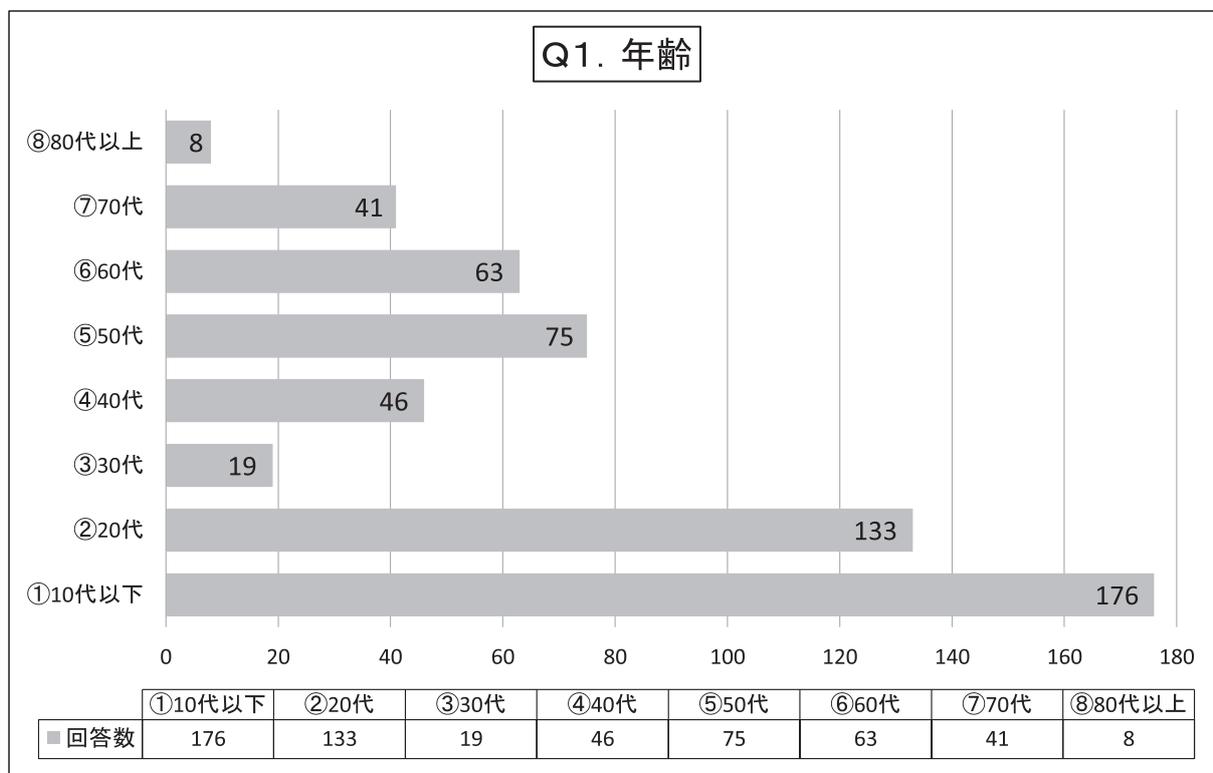
月	日	曜日	天 気	一 般	学 生	合 計	累 計	備 考
8	1	月	晴	4	1	5	1672	
	2	火	晴	4	6	10	1682	・博物館見学（高田高校キャンパスツアー53名）
	3	水	晴	2	1	3	1685	・初年次ゼミ（教育：渡邊毅先生と学生10名）
	4	木	晴のち曇	0	0	0	1685	
	5	金	曇時々雨	12	5	17	1702	神道研究所 夏休み子ども講座
	6	土	曇時々雨	69	1	70	1772	オープンキャンパス
	7	日	晴	53	0	53	1825	オープンキャンパス
	8	月	晴時々雷雨	66	0	66	1891	神道博物館 夏休み親子教室②
	9	火	晴	8	1	9	1900	
	10	水	晴	1	1	2	1902	
	11	木				0	1902	山の日 休館日
	12	金				0	1902	学校閉鎖（16日まで）
	13	土				0	1902	
	14	日				0	1902	
	15	月				0	1902	
	16	火				0	1902	
	17	水	曇	11	1	12	1914	
	18	木	雨のち晴	8	0	8	1922	
	19	金	晴	6	0	6	1928	
	20	土				0	1928	休館日
	21	日				0	1928	休館日
	22	月	雨	7	0	7	1935	
	23	火	曇	5	3	8	1943	
	24	水	晴	10	0	10	1953	
	25	木	曇時々雨	7	0	7	1960	
	26	金	曇	6	5	11	1971	
	27	土	晴	52	0	52	2023	・博物館見学（萼の会49名）
	28	日				0	2023	休館日
	29	月	曇	11	0	11	2034	
	30	火	雨	12	7	19	2053	
	31	水	晴	13	23	36	2089	
合 計				1054	1035	2089		

# 皇學館大学 創立140周年・再興60周年記念展示アンケート

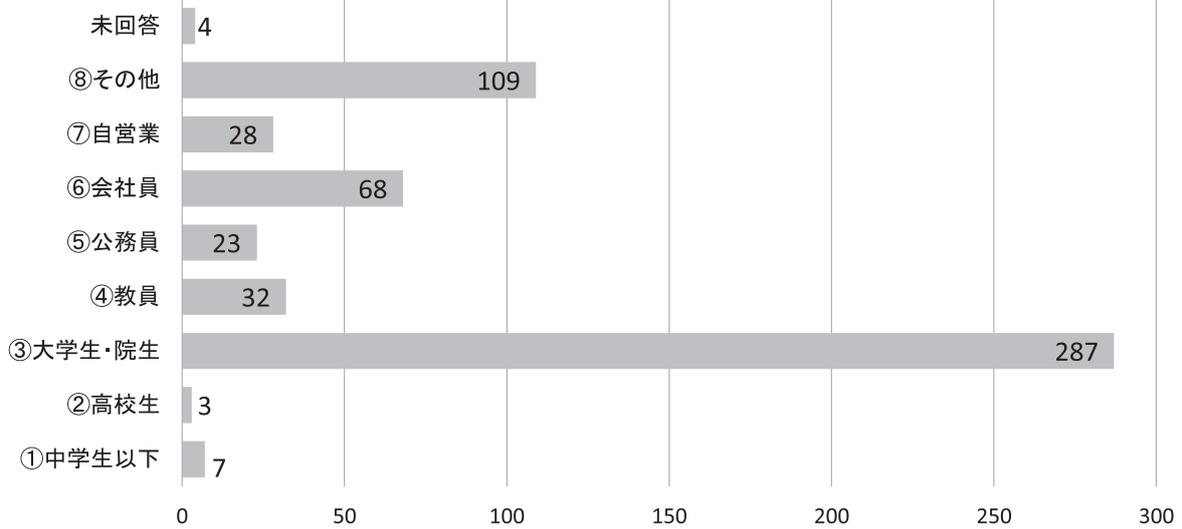
期間：4/30～8/31

来館者数 2089名

アンケート回答数 561件

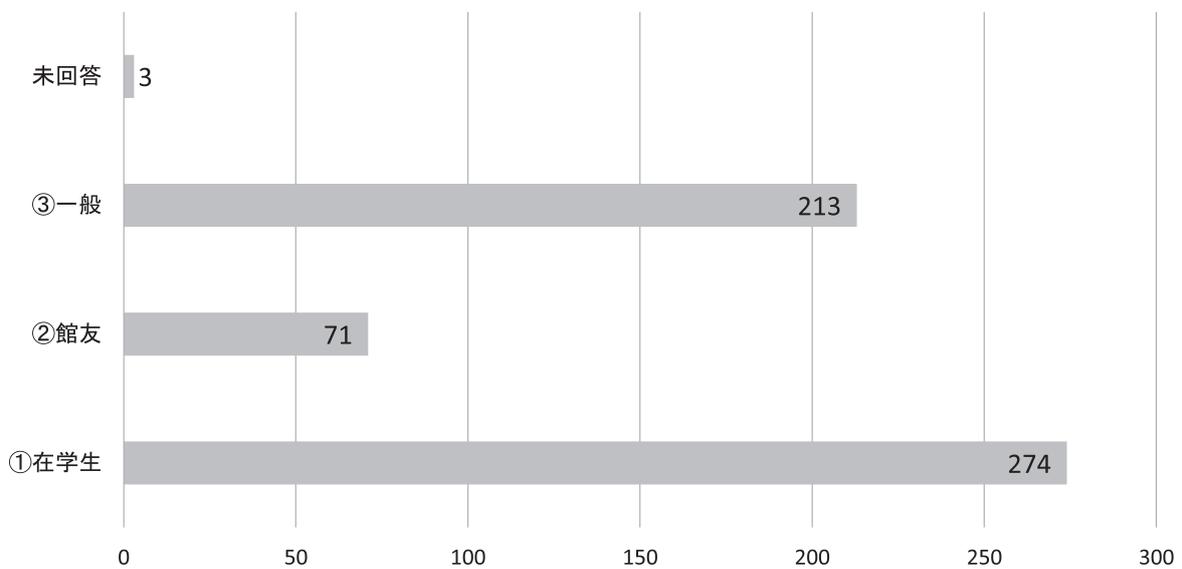


### Q3. 職業



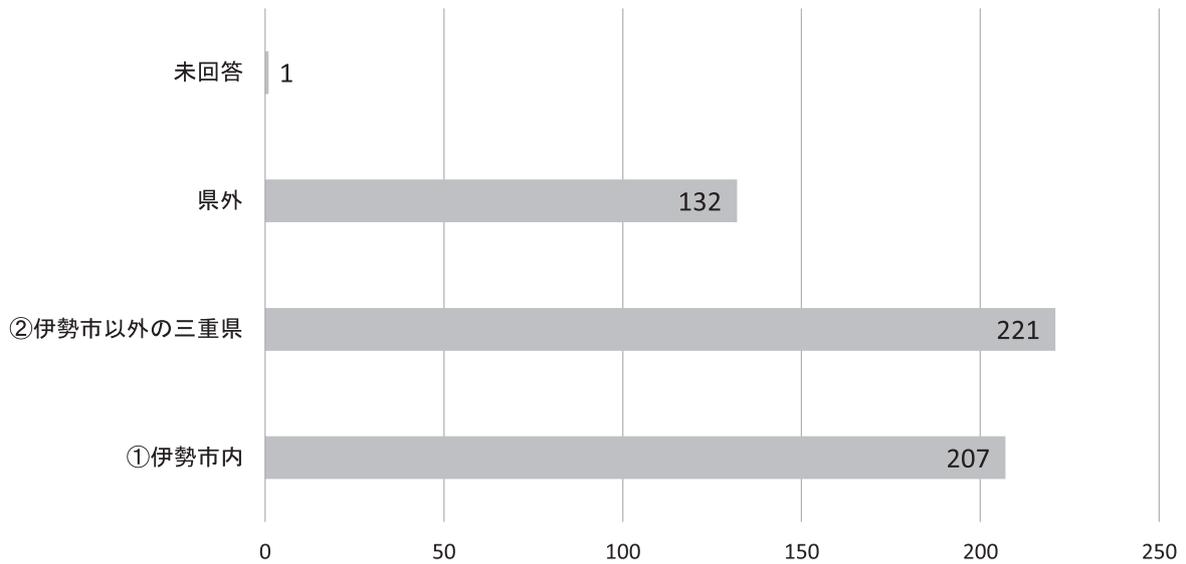
	①中学生以下	②高校生	③大学生・院生	④教員	⑤公務員	⑥会社員	⑦自営業	⑧その他	未回答
■ 回答数	7	3	287	32	23	68	28	109	4

### Q4. 皇學館との関係



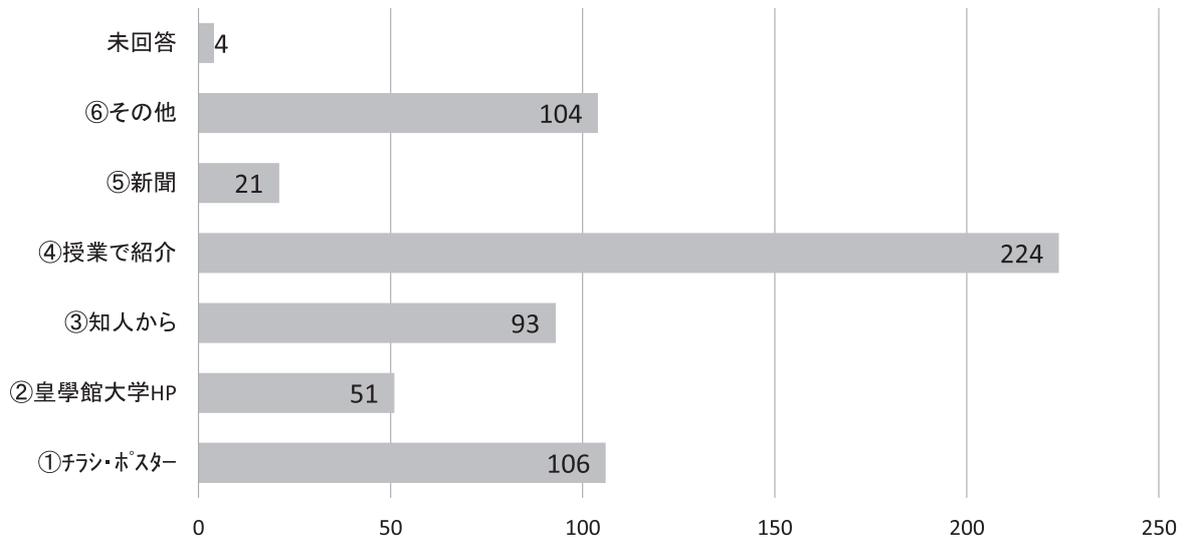
	①在學生	②館友	③一般	未回答
■ 回答数	274	71	213	3

### Q5. どちらからいらっしゃいましたか



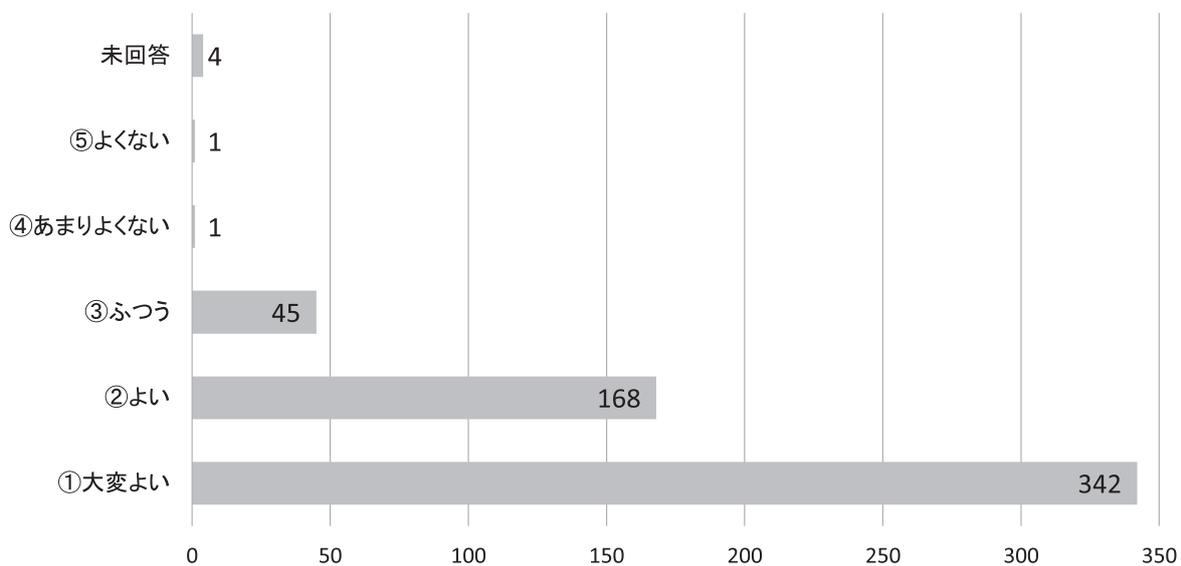
	①伊勢市内	②伊勢市以外の三重県	県外	未回答
■ 回答数	207	221	132	1

### Q6. 本展を何でお知りになりましたか



	①チラシ・ポスター	②皇學館大学HP	③知人から	④授業で紹介	⑤新聞	⑥その他	未回答
■ 回答数	106	51	93	224	21	104	4

### Q7. 今回の展示のご感想



	①大変よい	②よい	③ふつう	④あまりよくない	⑤よくない	未回答
■ 回答数	342	168	45	1	1	4

## 皇學館大学 創立140周年・再興60周年記念展示アンケート感想

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		又、改めてじっくりと拝観させていただきます。ありがとうございました。
70代	男性	教員	館友	伊勢市内		大系的にコンパクトによくまとまっている。特に図録は大変すばらしい。
30代	男性	会社員	一般	県外	京都府	歴史的な人物の生の史料がみられてよかったです。
60代	男性	教員	一般	県外	兵庫県	丁寧に大学の歴史を展示されており、たいへん興味深かったです。貴学の各々の発展を祈念しております。
60代	男性	神職	館友	県外	富山県	導線、動線を指示した方がよい
70代	男性	神職	館友	県外	-	ご苦労さま
60代	男性	教員	一般	県外	-	しっかりと史料を保存されていて素晴らしいと思います。ご発展をお祈りします。
30代	男性	教員	館友	伊勢市内		大学の歴史を知ることができ、大変勉強になりました。
60代	男性	会社員	一般	県外	東京都	展示スペースの関係もあると思いますが、準備も大変であったとも思います。もう少しスペースが欲しかった。
60代	男性	神主	館友	県外	愛知県	テレビは良かったけど、もう少し場所があれば何人か見れたと思った。
70代	男性	その他	館友	伊勢市内		コンパクトにまとめられて大変よかったです。
20代	男性	神職	館友	県外	愛知県	多くの本があり、ゆっくり見に来たいと思いました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		普段は展示されていない映像展示が興味深かった。カラー映像のため、白黒映像よりも動画内の人々に親近感がわいた。また、動画の音楽やナレーションの音が展示を1回周っている時にも聞こえてきて居心地が良かった。今後も、昔の展示があるとより楽しめると感じた。また、映像展示の椅子が胡床だったのが、神社らしさがあって座っていて面白かった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		絵はがきが状態の良いまま見ることができ、見ていて楽しかったです。ボタンが可愛かったので、今もアレンジしたら使えそうだなと思いました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		史料が現代にもあんなに鮮明に残っていることに驚いた。パネルも読みやすく、見やすい展示だった。皇學館の長い長い歴史を知ることができ、愛着、尊敬することができた。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		大学の歴史を知ることができた。制服があったことを初めて知りました
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		自分の通っている大学の歴史を知ることができて良かった。普段は見られないものも見れて良かったです。
20代	男性	大学生・院生	館友	伊勢市内		年表のタペストリーやパネルなどよく作りこまれていて良かった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		神道に関する展示物はこのような所では詳しく見られないと思うので大変楽しく見ることができました。神道で使われる道具を初めて直接見て、少し感動を覚えました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		再興後の貴重な映像や、パンフレットなどの貴重な資料を見ることができ大変よかったです。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館大学の歴史について改めて知ることができとても良い展示だったと感じました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館大学の歴史がよく知れた。ふつうでは見ることのできない神社の中やお供え物が模型で分かり勉強になった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館大学の歴史について面白い展示がいくつもあったのでとても楽しんで見ることが出来ました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		神宮皇學館時代の展示は、今は見ることのないものばかりで面白かった。
20代	男性	大学生・院生	在学生	県外	愛知県	映像資料とかで昔の皇學館がどういったふうだったのかを知れてよかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		名張校舎の幻の図案は自分が見つけてきたものです。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		・皇學館の表規が、元は皇學館ということに印象が残りました。 ・学生寮の歴史に一番興味をもちました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		館史を学ぶうえで、貴重な資料を見ることが出来てよかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館大学とそれにまつわる神道の歴史について、日頃の学習以上に理解が深まった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館大学の歴史が分かりやすく展示されていて面白かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		非常に興味深いものばかりで面白かった。皇學館の歴史について、じっくりたっぷり知れた。ビデオもあり、とても面白かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		長谷川先生、学芸員の方々、最高に面白かったです。皇學館の歴史についてよく学べました。皇學館の深く長い歴史を分かりやすく知ることができました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		身近に博物館があると思っていなかったので授業の一環とはいえ楽しむことができた。
70代	女性	自営業	一般	伊勢市以外の三重県内		初めて拝見致しました。とても良かったです。ありがとうございました。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
70代	男性	その他	一般	伊勢市以外の三重県内		玉串が神社によって向きが違う事を知った。
10代	男性	大学生・院生	在学生	県外	高知県	大学の伝統及び神社についての知識を得る事ができた。
10代	男性	大学生・院生	在学生	県外	高知県	実際に色々な資料を見ることができて面白かったです。特にビデオに惹かれました。
40代	男性	会社員	館友	伊勢市内		大学の歴史が分かりやすく展示されていたと思いました。
40代	男性	教員	館友	伊勢市以外の三重県内		本企画に関わられた人の熱意を感じました。
60代	男性	会社員	一般	県外	千葉県	長い歴史がよくわかりました。
50代	女性	会社員	一般	県外	千葉県	エントランス正面の展示品は庶民の生活を知るのにとっても良いと思った。楽しそうで、見ているこちらも楽しい気持ちになれました。ありがとうございました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		フィルム映画が大変よかった。山室山参拝が、当時も行われていたことを知れてよかったです。
50代	女性	その他	一般	伊勢市内		皇學館の事がわかって良かったです。
50代	男性	会社員	一般	伊勢市内		貴重な展示品を拝見できてよかったです。ありがとうございました。
40代	女性	その他	館友	伊勢市内		改めて母校の歴史をたどることができ、嬉しいです。この展示に尽力された全ての皆様に敬意を表したいと思います。ありがとうございました。
50代	女性	自営業	一般	伊勢市内		皇学館の様子を通して明治大正昭和の伊勢、神宮が知れた
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		絵葉書等たくさんの写真が展示されており、当時の大学の様子が分かり面白かったです。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		元精華寮生なので、寮の歴史を取り扱ってくれたのが嬉しかった。より、皇学生としての自覚を持てるような良い展示であったと思う。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		フクちゃんブンちゃんの展示がとても良かったです。フクちゃんブンちゃんの展示を増やしてほしいです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		興味のある事が知れてとても有意義でした。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		とても興味深かった。展示品の説明されているパネルが大学のマークだったり、学生服(男子)から当時の人はとても小さいのだなと時代を感じさせられた。また「お手を触れないで下さい」という注意書きでは、キャラクターが描かれており、しかも今回の企画展に登場するキャラクターだったことが面白かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		神宮と皇學館の歴史について深堀されていて勉強になった。模型などもあって分かりやすかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館の歴史だけでなく神宮の歴史について知ることができてよかったです。
60代	男性	教員	一般	県外	京都/滋賀	充実した内容、ビデオも楽しみました。ありがとうございます。
60代	女性	教員	一般	県外	滋賀県	歴史の変遷に触れることができました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館大学に名張学舎があったことを知ることができた。ジオラマも本格的だったので見ていて楽しかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		記念映画を拝見しましたが、旧1号館や生活の様子があり、今と違う点、変わっていない点など気づくことが多くありました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		ソノシートが今後展示されることが楽しみです
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館の長い歴史がよくまとめられていて良いと思った。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		体育館とグラウンドの間に存在する石積みの門の正体が、惟神道場の正門だと分かってよかった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		展示物はとてもきれいだと思います。いろいろな展示物を鑑賞した後、歴史と文化の伝承が見られます。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		展示品は美しい
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		かつての校舎の写真を見ると140年の歴史を感じられて感慨深い。
20代	男性	大学生・院生	在学生	県外	愛知県	皇學館大学の昔の姿を知る事ができて良かったです。映画内で父国会なる、学生からしたら地獄のような制度が導入されていた事に驚きました。シュールなゆるきゃらや社会福祉学部のキャンパスなどは、歴史と離れすぎた為、失敗したのだと思いました。倉陵祭が単なる文化祭ではなく、神事的な祭祀を根幹にした行事である事を再認識しました。フィルム上映の位置が若干死角にある気がしました(見つけづらい)ただ、全体を見た後の帰りに見てもう意図であるなら良いと思いました。
20代	男性	会社員	館友	伊勢市以外の三重県内		皇學館の歴史をよく知れた。当時の学生生活を知る事の出来るパンフレットの展示は、大変おもしろいものであった。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		ブンちゃんよかったです。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館大学の歴史について、改めて理解できた。昔と今の建物の位置が異なっていたり、昔は制服があったりなど、もう今では見ることのできない光景を写真などで見ることができて興味深かった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇大の歴史を全学年に知ってもらいたい。在学している大学を誇りに思いました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		創立140周年・再興60周年にあたって史料を探してみたが、展示してあるものは別のものが見つかったので展示物を見比べてみたい。
30代	男性	公務員	館友	伊勢市以外の三重県内		なつかしかった。そして面白かったです
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		日本の歴史や文化について改めて触れることができ、良かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館や伊勢についての資料が展示されており、大変勉強になった
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		昔の大学のことが知れて面白かった
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		戦前の写真が見ることができてよかった
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		お祭りに関する展示物とか、活動の場面を見て素敵だと思っています。もう一度、神道博物館に来たいです。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		展示物を見ることを通して、神社の文化をより深く理解できた。本大学の歴史は真実に感じさせ、読書より理解しやすいし、感想も豊かになった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		昔の制服や使用されていた実物の展示が多く、当時の様子をよく知ることができた。また、章ごとに分かれた展示でより分かりやすかった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		大学の歴史を詳しく学ぶことができ、面白かった。特に、記念映画が興味深く、また見に来たいと思った。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		在学している大学の歴史を授業以外で触れられたので、違う視点から見ることでまた深く学ぶことが出来たと思えました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		私は寮で生活しているのですが、昔は別の場所に寮があったり、1日のスケジュールが今と時間が違ったり、いろいろな部分で変わっていることが知れて面白かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		現在と過去を写真や実物で比較でき、見ていて面白かった。映像での紹介も、静止画だけでなく動きがあって飽きなかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		神宮の重要なものや神様に捧げる食べ物など、あまり知らなかった細かいものまで展示されていて、良い勉強になりました。また、これから4年間通うことになる皇學館の歴史を知ることができて良かったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		数十年前のパンフレットや、当時の制服を見ることができ、皇學館の長い歴史を実感することができました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		全国各地の絵馬が飾られているのが素敵で、色々な神社に行ってみたいなと思いました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		昔のことが知れてよかった。伊勢神宮の偉大さが分かった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		大学のキャンパスの近くにこんなに立派な地元のことをよく知れる博物館があることを知れてよかったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	県外	静岡県	貴重な展示物も多くあり、とてもよかった。旧講堂の展示が個人的に面白かった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		文字資料以外の絵葉書なども多く展示されており、目で楽しむこともできた。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		神社のことが詳しく書かれていて、とても面白かったです。特に、神様のご飯の配置、食べ物は初めて見たので、とても勉強になりました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		制服があるのが良いと思った。松浦先生の展示品、どれかわからなかった。キャラクターが可愛かった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		ブンちゃんやフクちゃん可愛かった。文書の文字がキレイだった。国旗に書かれている名前が格好良かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		とても美しく、歴史のある展示物ばかりで良かったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		寮の歴史が、大学の歴史と共に学べたので面白かった。現在使っている場所と、昔のその場所との比較ができ、文字のおもみを感じた。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		授業で習った概要に加えて細かな知識が展示されており、学外の方が見ても皇學館の事を知ってもらえる内容だと感じました。
50代	男性	教員	一般	伊勢市内		学生に紹介するために、まずは自分の目で見ようと参りました。長谷川先生のセンスが確認できました。ありがとうございました。本学学生（特に教育学科）は、この博物館に足を運ぼうとしません。このイベントを契機に周知させたいと思っています。本学の歴史を学ぶ、大変よい機会だと思っております。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		とても面白かったです。
50代	男性	公務員	一般	県外	愛知県	神道の博物館は珍しく、興味深くよい時間を頂きました。
20代	男性	公務員	一般	伊勢市以外の三重県内		映像展示や、1章から6章にいたる展示など来館者を飽きさせない構成になってよかった。キャプション等も、140周年の記念というのにじみ出ている面白かった。皇學館の知らない多くの事を知れてよかった。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		今の大学との差異をよく知れた。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		聞くだけでは絶対に分からないことがあるので、実際に見る機会があるのは良いことだと思った
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		自分が在学する皇學館大学の、ずっと昔について知ることができてとても良かったです。 放映されている映像がとても興味深くて見入ってしまいました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館大学に入学して2年経ち、講義等で皇學館の歴史について学ぶ機会はありませんでしたが、オンライン環境での学習が続き、その歴史を直接見聞する機会は限られていました。 今回、記念展示を拝見したことで、皇學館の歴史をより鮮明に感じることができたように思います。 また機会があれば、今回のような記念展示に足を運びたい所存です。
40代	男性	会社員	館友	県外	滋賀県	寄贈品が多く、本物であることに見応えがありました。 貴重な資料が多く、有り難いひと時でした。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		今自分が通っている大学の歴史が知れた。 どんな制服だったか、どんな生活を送っていたのかというのが良く分かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		2回目の見学でしたが、建物配置の変化など気付かなかった細かな点が多くありました。 頭を整理してまた見学したいと思います。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		展示が目線の高さに配置されていてとても見やすかったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		前から少しは知っていたことや、それ以外のことも詳しく知ることができたので大変よい経験になった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		自分が通う大学が、とても古い歴史をもっていることを再認識しました。 本学の学生であることを誇りに思える展示でした。
40代	男性	その他	館友	県外	東京都	創立からの歴史の流れがよく理解できた。
50代	男性	会社員	一般	県外	愛知県	ありがとうございました。感謝
50代	男性	教員	館友	県外	静岡県	皇學館の歴史をふり返ることができてよかった。
50代	男性	会社員	一般	県外	大阪府	貴重な資料、有難うございます。
50代	女性	自営業	一般	県外	岐阜県	解説を聞いてみたくなりました。いずれもとても美しい展示でした。
40代	男性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内		知らない事が多く学べたので良かったです。
50代	男性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内		もっと校外へもPRしておくべき！（いい施設）
50代	女性	公務員	一般	伊勢市以外の三重県内		とても素敵でした。またゆっくり来て、しっかり見たいです。
50代	女性	その他	一般	県外	—	・衣装の展示を増やして欲しい。 ・造花の良い物をせっかくだから使って欲しい。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		授業の範囲から離れたことを学ぶことができた。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		140周年記念の展示物を見て、皇學館の歴史について知ったので良かったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		展示を見て伊勢の文化や歴史について学ぶことができました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		聞いたことがあるのが何個か展示されていて、実物を見てよかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		授業で学んだ内容を復習できて、良かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		文字が小さい
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		2回目ですが再度大学の歴の長さを感じたのと、展示物一つ一つに魅力を感じるようになりました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		ロータリーのところに講堂があったことを知らなかったので、今回の展示で初めて見ることができました。 全焼してしまったのがもったいないくらいで素敵な建物だと思いました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		説明がシンプルで長すぎず、わかりやすかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		歴史ある展示物がたくさんあって良かった。
10代	その他・非回答	大学生・院生	在学生	伊勢市内		分かりやすく説明された説明文でよくその物について理解できよかったです。
30代	女性	公務員	館友	伊勢市以外の三重県内		久しぶりに来ました。 これからもいろいろな企画展をしてほしいです。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		自分が通う皇學館の歴史を知る良い機会となった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		知らなかった皇學館の歴史が想像以上に面白かった
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		歴史を知れて面白かった
20代	男性	大学生・院生	在学生	県外	愛知県	面白かったです
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		・皇學館の成り立ちを、授業で紹介されて、展示をぜひ見たいと思い来ました。 ・昔の学生たちの生活などについても紹介されていて、とても興味深かったです。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		・1号館の様子を知ることができてよかった。 ・昔の校舎の写真を見るのが楽しかった。 ・卒業証書が大きくて驚いた。 ・皇學館にキャラクターがいるとは思わなかった。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		在学生なこともあり、この学校の歩んできた歴史を疾駆的に知れ面白かった。古くからの文書から近代のパンフレット・ゆるキャラまで幅の広さが140年続く皇學館らしかったです。
60代	男性	自営業	一般	伊勢市以外の三重県内		もっと映像を使用した説明があると良い
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館大学にブンちゃん・フクちゃんというキャラクターがいたことに驚いた。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		授業で聞いた展示品を直接知ることができ、皇學館の歴史を学ぶことができ楽しかったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		学内での生活の様子を映画にされているものを、今、現代で見ることができ、とても感動しました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		知らないことがたくさんあって、とても面白かった。写真が多くあったので、当時の様子が分かりやすかった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		大学のキャラクターグッズが思っていたより結構あり、興味深く感じられた
50代	男性	公務員	館友	伊勢市以外の三重県内		六角講堂が今も残っていればと思うと残念です。
40代	女性	公務員	館友	伊勢市以外の三重県内		卒業証書が立派で、重みを感じます。
60代	男性	その他	館友	伊勢市以外の三重県内		大変よかったです。未だまだ勉強です
30代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		静かで見やすかったです。
80代以上	女性	その他	一般	県外	神奈川県	日本人である事に誇りをもちたいと思いました。皆で日本の事を考えたいと思います。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		神宮皇學館時代からの貴重な史資料が見れて良かった。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		学生便覧で当時の皇大生の生活が知れたのが印象深かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		館町時代の皇學館の全体像を知れてよかった
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		模型が沢山あって楽しかったです！
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		とても良かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		焼けた屋根の一部が生々しかったです。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		今回で三回目ですが、何度行っても新しい発見があっておもしろいです。神道にゆかりのある神宮道場の移動や、他のくずし字を見て、本文と交互に見ながら、勉強しましたがくずし字は難しいですね。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		今回、印象に残ったのは学徒出陣時の国旗の書付です。学徒出陣時の背景、それを見送る学生たちの心情を感じました。
80代以上	男性	その他	一般	伊勢市内		大変良かったです
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館の歴史について知ることができた。パネルや展示物が多く、分かりやすかった。ムービーは、昔の様子について知ることができた。
10代	その他・非回答	大学生・院生	在学生	伊勢市内		テープが見れたのが良かったです。また来ます。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		まだ博物館の自分なりのまわり方を見つけていないため、分からないながらもじっくり見ました。時代ごとに整理されており、見やすかったです。柵がない場所が少し危ないと思いました。
60代	女性	その他	一般	伊勢市以外の三重県内		S47の皇學館大紹介映画に興味深かった。廃学と復興の話に興味をひかれました。
10代	男性	中学生以下	一般	伊勢市以外の三重県内		皇學館の良さを知れた。
10代	男性	中学生以下	一般	伊勢市以外の三重県内		皇學館の良さを知れた。また来たいです。
10代	女性	中学生以下	一般	伊勢市以外の三重県内		模型などが細かくてすごく面白かった。
10代	女性	中学生以下	一般	伊勢市以外の三重県内		昔のことを知れたし、知らなかったこともたくさんあった。
10代	女性	中学生以下	一般	伊勢市以外の三重県内		昔のことが知れて楽しかった。
20代	女性	自営業	館友	伊勢市内		皇學館の歴史が良くわかる展示でした。オリジナルペーパークラフトが可愛かったです。
20代	女性	大学生・院生	在学生	県外	東京都	楽しく皇學館の歴史について再度学ぶことができました。視覚的に実際のモノを見ると深く知ることができて、とてもいいなと思いました。(展示みやすかったです！おつかれさまでした。)
50代	女性	教員	館友	伊勢市以外の三重県内		すばらしい展示をありがとうございました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		歴史がよく分かりました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		展示を見て、思ったよりも知らないことが多かったことに気づけた。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		歴史ある展示物が多くて興味深かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		当時、お供え物として送られていた食べ物等が以外と現代チックでびっくりした。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		神道や、神宮についてだけでなく皇學館大学についても知ることができてよかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		建物の変化に驚いた。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館の長い歴史をより詳しく知る事が出来ました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		昔から朝廷に重要視されていると感じた。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
50代	男性	その他	館友	県外	愛知県	創立140周年特別展。 学生時代を思い出し、大変懐かしくなりました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		特になし
70代	女性	自営業	一般	伊勢市内		父・祖父・曾祖父共、皇學館卒なのですいこまれる様な気持ちでよかったです。 有り難うございました。
50代	女性	その他	一般	伊勢市内		すばらし神道の歴史がわかりました
60代	女性	その他	一般	伊勢市内		貴重な展示をみせて頂き有難うございました
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		面白かったです。
50代	女性	会社員	一般	県外	埼玉県	勉強になりました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		パネルの説明が分かりやすく授業のレポートを作るためのメモとしてとりやすかった。
10代	その他・非回答	大学生・院生	在学生	伊勢市内		ビデオが追加されていたのが良かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		自分の大学について詳しく知る機会を持つことができ、よかったです。 展示もどれも面白くて分かりやすかったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		入口で上映されていた映画で、当時の様子を見ることができて興味深かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		新しいのがあって面白かった
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		授業で習っていた以外のことをより詳しく学ぶことができました。 映像図解も分かりやすかったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		寮生なので、昔の寮と現在の寮を比較できて面白かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館の歴史について資料を見ることで深く知る事が出来た。
70代	男性	大学生・院生	一般	伊勢市内		講堂。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		国学入門で聞いていたこの皇學館大学の歴史を実際に目で見る事ができて良かったです。 聞くことより目で見る方がより楽しめました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		今日は3回目ですが、毎回見るたびに違う感想が出てきて楽しいです。
50代	女性	その他	館友	伊勢市以外の三重県内		卒業生ですが知らないことも多く学びになりました
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		絵葉書に写っていた徴古館の外観が今と少し違ったりと、大学周辺を散策したくなるきっかけになった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		私が皇學館高校で学んでいたこともあり、とても親しみやすい展示でした。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		いろんな視点で見ると、とても面白いです。
20代	女性	その他	館友	県外	愛知県	キャプションに花菱紋がデザインされている点など、細部までこだわりを感じました。 映像展示も充実しており、特に貞明皇后行啓時のルート撮影方向を載せたパネルと一緒に展示されていた点がわかりやすくて良かったです。 大変興味深い展示でした。 また、チラシに載せたQRコードを読み取ると音源が視聴できるようにした点も面白そうで良い取り組みだなと感じました（※拝観した時はまだ準備中だった） 徴古館の絵葉書や鳥瞰図の展示のところに現在の徴古館の写真を添えたら、昔と今で建物がどう変化したか比較しやすかったと思います。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		感動しました。ありがとうございました。
60代	男性	教員	一般	県外	山口県	大学の歴史に感動致しました。ありがとうございます。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		とても楽しかったです。 自分の大学について学べてとても勉強になりました。
60代	男性	その他	一般	県外	大阪府	皇學館の歴史が理解でき良かったです。 S47のビデオに存じあげている先生方の若き姿があり楽しくもありました。 敗戦で失ったことのひとつも知ることができました。 令和の時代に皇學館大学が建学の使命を時代に則して果たされることを願います。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館のこれまでの歴史について時代順に詳しく知ることができてよかったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		解説がとても分かりやすく展示されていたので、また来たいと思いました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館に深い歴史があり、愛されていることがわかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館の展示がわかりやすくてされていて、とても興味深かったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館の歴史に触れられて、とても面白かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		解説の文字を大きくしてほしい
60代	男性	公務員	一般	伊勢市以外の三重県内		ビデオがよかった
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		この展示を見て、伊勢と皇學館についてとても詳しく知ることができました。 今回は時間がなくて少ししか回れませんでした。また時間のあるときに来て、じっくり見たいと思いました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		何度か来ていますが、見るたびに皇學館の歴史の長さを感じることができます。
60代	男性	その他	一般	伊勢市内		懐かしい映像が良かった。
60代	女性	その他	一般	伊勢市内		桶町市民ですが、こんなに近くに博物館があるなんて今まで知りませんでした。 展示内容も興味深くまたゆっくり見に来たいと思いました。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		説明パネルと資料の位置が見やすいところにあり内容が頭に入りやすかった。とくに、映像資料は当時の様子が見ることができて面白いと思った。
70代	男性	その他	一般	伊勢市内		焼失した八角堂の内部で、雨の日にランニング練習をした倉田山中学時代でのクラブ活動の日々を思い出します。本館玄関（現記念館）の、当時のげた箱が目に見えてきました。楽しかったです。
70代	男性	その他	一般	伊勢市内		現在、お伊勢さん観光案内人をしています。大変勉強になりました。
30代	女性	会社員	一般	伊勢市内		近所にある大学なので歴史を知れて良かったです
70代	男性	その他	一般	県外	奈良県	神饌などの勉強になりました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館の歴史について深く知れた。
60代	男性	その他	一般	伊勢市内		これまでよく知らなかった皇學館の歴史が良くわかりました。
70代	男性	その他	一般	県外	大阪府	大学の歴史が具体的に分かってよかった。一般には見ることでできない絵ハガキ等の資料が展示してありよくわかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		昔の皇學館について知れて面白かった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		昔の皇學館大学の貴重な資料を見ることができて良かった
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		今回の企画展を見て、大学の細かい歴史を知ることができた。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		平成初期の大学案内パンフレットが、見ていてとても面白かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館の140年の歴史を、実物を見ることによりよく理解できた。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		資料がたくさんあり、見ていてとても楽しかったです。
30代	男性	会社員	一般	伊勢市内		皇學館の歴史がよく解りました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		映像があって面白かったです。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		落ちついた空間でした
80代以上	男性	その他	一般	伊勢市内		私は学童疎開でこの地にやってきて住みついたものです。中学高校のころ皇學館大学（そのころは倉田山中学になっていた）キャンパス内で学びました。元大学の先生方からも教えていただき、その後いろいろ役立った様々なこと教えていただきました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		展示を見学して、展示品の説明について短い文でとても具体的に書かれていたため、とても読みやすかったです。また来たいと思いました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		新たに追加展示されていた貞明皇后と裕仁親王・良子女王両殿下の貴重な映像をフルバージョンで見ることが出来、とても感動した
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		細かな部分ではあるが、新しい展示が追加されていたりして大変面白かった。
70代	女性	その他	一般	県外	大阪府	貴重な映像をみました。できれば音声での説明があれば、さらによく分かり、よかったと思いました。祖父が神社の神主をしていました。神詞をどのように考えて書いて読みあげていたのか今になって懐かしく思い出しました。聞いておけばよかったと・・・
70代	女性	自営業	一般	伊勢市内		77年伊勢に住んでますが、展示物が素晴らしく興味深く見せていただきました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		フィルムや制服など実物を見ることができて、面白かった。皇學館大学の知らない一面を見ることができてよかった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		とてもよかった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館大学の歴史・伝統を知ることができ、よかったです。
50代	男性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内		貴重な映像が発見されたとの報道を見て来館しました。期待どおりの展示でした。
60代	女性	その他	一般	伊勢市以外の三重県内		皇學館の戦後の歴史が良くわかりました。戦後貴学の貴重な資料も名大に移管されたと、等も
50代	男性	自営業	一般	伊勢市内		近隣の学文施設ながら知らない事が多かったので、一通り（簡単な）理解が出来て良かったです。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		見るたびに新しい発見があり、おもしろいです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		きれいに残っているのがすごいと思いました。ブンちゃんとフクちゃん♡
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		映像が増えていてすごく良かったです。でも、映像が見にくかったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		とっても歴史を知れて、その時代にいたのかと思いました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		歴史がいっぱいありました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		歴史を感じました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		とっても歴史を知れました。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		伝統や歴史の文化を重んじるという流行は、最早、昨今の現代人には見られないことは多いだろう。 単に「歴史や受け継がれてきた伝統があった」というだけでは、最終的に地元の人に口惜まれて終わりを迎えてしまうだろう。 現代を生きる若者に歴史を学ばせて伝えたいと思うものを、その痕跡を、今わかるようにわずかでも残すべきであると私は思う。 優しい展示であった。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館の歴史について深く学べることができて良かったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		歴史について詳しく知ることができた
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		説明が詳しく書かれており、再現も多くのものがされていた為わかりやすかった。
10代	その他・非回答	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館について深く知れて面白かった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		建物の変化や構造がわかりやすく書かれていてよかった。 男子の制服と女子の制服を隣同士に並べたらいいのでは？と思った。
50代	男性	その他	一般	県外	滋賀県	今後も充実され続けられることを念じます
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		神道について知れた
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		すごかったです
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		とても、参考になりました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		大変興味深いものがたくさんあった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		沢山昔のことが知れて、とても良かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	県外	和歌山県	自分が知らないことがたくさん知れてよかったです。 神社の歴史などを知れてよかったです。
40代	男性	自営業	一般	伊勢市内		吉田茂が総長をしていたのは知らなかった。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		非常に意味深い資料や展示ばかりで見ていて楽しかった。 レポート頑張ります。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		授業で習ったことが沢山あって、より興味が出た。
40代	女性	その他	一般	県外	愛知県	貴重なものが見れて良かったです。
70代	男性	その他	一般	県外	愛知県	学生のことや、神様について知りたかった。
60代	女性	その他	一般	県外	愛知県	展示されたものが丁寧に作られていて実際の様子が分かりやすかった。
60代	男性	-	一般	伊勢市以外の三重県内		祭祀について大変勉強になりました。 また、開学 90 周年の映像に高校柔道部の先輩が映っていて懐かしかったです。 ありがとうございました。
70代	男性	会社員	館友	県外	大阪府	すばらしい
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		神饌が本物のように見えて、再現度が高かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		展示が興味深かったです。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		展示物を皇学入門を通して見ることでよかったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		皇學館大学の歴史が学べた。 本で読むよりここで見たほうが臨場感があった。
80代以上	男性	その他	一般	伊勢市内		色々展示されていてゆっくり見させてもらいました。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		映像に出てきた盆踊りが郡上の徹夜踊りに似ていた。
20代	女性	大学生・院生	在学生	県外	ポーランド	英語があって、とても良いと思います。 神饌の展示が特に面白い。 綺麗なものがいっぱいあって、インスタが好きな方にとって面白くて、神道に興味がなくとも、来たら嬉しいと思う。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		歴史を知れてよかった。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		写真や映像を通じて、自分が知らない皇學館の歴史をより知ることができました。 とても良かったです。
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		昔の食について知れた。
60代	男性	その他	一般	県外	大阪府	大学の歴史がよくわかりました。
60代	女性	その他	一般	県外	大阪府	大変おもしろかった。この大学の歴史が特に興味深かった
20代	男性	会社員	館友	県外	大阪府	展示が暗くて見にくい部分があった。
40代	男性	その他	館友	伊勢市以外の三重県内		本学創設の歴史についてよくまとまられており理解しやすいものであった。 次回企画展を期待している。
60代	女性	会社員	館友	伊勢市以外の三重県内		展示物の充実に関心しました。ビデオが懐かしかったです。
70代	女性	その他	一般	伊勢市以外の三重県内		大変興味深かったので良かったです
40代	男性	会社員	一般	県外	静岡県	神宮以外の神社の品もあってよかった（常設？）
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内		火災によって建物は崩壊したが、瓦は無事であったことを知り頑丈にできていたことが分かった。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい	感想	
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内	皇學館の歴史について触れることができる必常に良い経験だと考えられた。地域のお子様からお年寄りまで文章だけでなく、展示品と合わせて拝見することで楽しみながら学べるため、居心地の良い空間であると感じた。	
50代	男性	会社員	一般	伊勢市内	大学周辺の移り変わりを見ることができて楽しかった。六角講堂の建物がとても印象的です。	
40代	男性	会社員	館友	伊勢市内	すばらしい展示でした。今後も期待しております。	
50代	男性	会社員	一般	県外	滋賀県	戦後の歴史的背景が知れ、日本人が大切にすべきことが伝わってきました
60代	女性	会社員	一般	県外	愛知県	資料が豊富に展示されていてよかったです。
20代	女性	大学生・院生	一般	伊勢市内	日本文化・精神をまもる役割があるところに関心を持ちました。	
20代	女性	その他	一般	伊勢市内	今後も本学で業務をするにあたり、大変勉強になりました。	
60代	女性	その他	一般	県外	山梨県	・時間を取ってもっとゆっくり見学したかった ・珍しい物が多くとても興味深かったです ・息子が神職についてますので見学に来ました。
20代	女性	会社員	館友	伊勢市内	皇學館の歴史の深さを学ぶことができた。	
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	歴史を知ることができて、とても興味深かった。	
50代	女性	教員	館友	県外	兵庫県	懐かしく、新しくなった校舎や道場など時代の流れを感じました。再興のこと、神宮皇學館のことなどもっと知りたいもっと学んでおけばよかったと感じることがたくさんありました。各地神社の絵馬も楽しかったです。次回の特別展があることを願いました訪れたいです。
50代	女性	教員	館友	県外	愛知県	懐かしい大学の様子や、神社の説明を拝見して嬉しかったです。大学の発展もわかり、増々のご発展を祈念します。
50代	男性	教員	館友	県外	北海道	23分のビデオが良かったです。制服姿の当時の学生と、田中教授が見れて嬉しかったです。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	皇學館の歴史を改めて深く知ることができた。	
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	新しく発見された映像が、ニュースよりも分かりやすく理解できた。	
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	以前来たときと比べて少し変わった部分もあり楽しめた。	
10代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	貞明皇后と昭和天皇の映像について、解説を増やしてもよいのではないかと感じました。	
70代	男性	会社員	一般	県外	兵庫県	皇學館大学様の歴史を垣間見ることができました。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	何度見ても大変よかったです。	
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	これまでに何度か展示を見てきたが、やはり長い歴史を持つ我が校はすばらしいと感じた。	
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内	今回は2回目だったが、何回来ても楽しく見れる展示だった。写真や映像が多く、その当時の様子を見ることができたので貴重な体験ができた。	
60代	女性	その他	館友	伊勢市以外の三重県内	校舎の写真、なつかしい恩師の姿をフィルムで見られて、改めて大学の歴史にふれる機会となりました。	
60代	女性	教員	館友	伊勢市以外の三重県内	映像(DVD?)や旧校舎の写真など学生当時を思い出させる資料がたくさんあり楽しく拝見しました。	
40代	女性	自営業	館友	伊勢市内	興味深く拝見しました。見易く展示されており、子供にも分かり易いと思いました。	
10代	女性	高校生	一般	県外	広島県	社家の分家に生まれて幼い頃から展示されているものを見たり触れたりしていた。でも、なぜそれがいいのか意味を知らなかったけど、知れたのでよかった。展示品を上から見るなどの工夫もされていてとても面白かった。
50代	女性	公務員	一般	県外	広島県	説明がとてもわかりやすい。また、展示の仕方が工夫されていて、知りたいと思うところがよく分かった。再度訪れたいと思った。ありがとうございました。
20代	女性	大学生・院生	一般	県外	千葉県	神事の道具が沢山見れて良かったです。
50代	女性	会社員	一般	県外	千葉県	日本人として神事を詳しく知ることができ、大変勉強になりました。
40代	男性	その他	一般	県外	熊本県	今回、一般の方を連れてきたが、神社の事が少し理解できたと話してました。
50代	女性	自営業	一般	県外	大阪府	貴重なお品を拝見できまして、とても学びになりました。ありがとうございました。
10代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	フクちゃんと言ちゃんのカラクターが可愛かったです。	
10代	女性	大学生・院生	一般	県外	東京都	とてもわかりやすく展示されていた。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市以外の三重県内	絵葉書や制服、ソノシートなど、当時の貴重な品を見ることができ良かった。	
40代	男性	公務員	一般	県外	島根県	長い歩みを多角的に取り上げてあり、視野の広い展示で面白かったです。倉田山の土地利用・施設配置の今昔図示がとてもわかりやすかったです。
20代	男性	公務員	館友	県外	京都府	皇學館の歴史の概要が良く分かる良い展示だと思う。特に、神宮皇學館の時に海外旅行に行っていたのは驚いた。
20代	女性	教員	館友	県外	愛知県	皇學館の歴史が感じられる展示でした。卒業してから今回の展示を見て、あらためて自分はすごい大学で学んでいたんだなと思いつりに思うと同時に、自分の自信の一つだなと思います。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい		感想
70代	男性	自営業	一般	伊勢市以外の三重県内		所功先生等の大学にゆかりの先生の顔が、懐かしい映像資料から拝見できてとても良かった。
50代	男性	公務員	一般	伊勢市内		S47年の展示を映画が大変よかったです。 伊勢は2年目ですが、本校については伊勢にきて初めて知りましたが伝統のある学校である事を再確認しました。 鳥観図もよかったです。
50代	男性	教員	一般	県外	奈良県	神社に関する展示が面白かったです。 「140年」を拝見するつもりが、そちらに多に興味を持ちました。 もちろん「140年」の展示も良かったです。今後の益々の発展を祈ります。
20代	男性	会社員	館友	伊勢市内		皇學館のあゆみが良くわかりました。 多種多様な資料は大変見応えがありました。
60代	男性	会社員	一般	県外	愛知県	・神学の知識が乏しいので展示の良し悪しは不明 ・今回供物にも各神社で異なっていることが判り勉強になりました
50代	男性	自営業	一般	伊勢市以外の三重県内		建学140周年、おめでとうございます。 これからも国民にひらかれた大学として、増々の御発展を祈念致します。 本日はどうも、ありがとうございました。
70代	女性	その他	一般	伊勢市内		旧倉田山中卒業生です。 焼失した講堂をチラシで見て、展示品にその関連のなにかがあれば見たいと思ってきました。
20代	女性	大学生・院生	一般	県外	愛知県	神さまのごはんの展示と、絵馬の展示がお気に入りです♪
20代	女性	大学生・院生	一般	伊勢市以外の三重県内		全国の絵馬が見られるのが、珍しくて良いと思いました。
20代	女性	大学生・院生	一般	県外	愛知県	ありがとう。
60代	男性	教員	一般	県外	愛媛県	東京の國學院大学の博物館より小規模ですが、立派で分かりやすい展示だと思いました。 ありがとうございました。
20代	女性	大学生・院生	在学生	伊勢市内		皇學館の歴史を資料で見ることができ貴重でした。
70代	女性	その他	一般	伊勢市内		昔の倉田山中学のおもかげを見る事ができ懐かしく思いました。
30代	女性	その他	館友	県外	岐阜県	新しく知ることと、懐かしくおもう事ができました。
50代	男性	自営業	一般	伊勢市以外の三重県内		百年の歴史の重みを痛感致しました。誠に有難う御座いました。
50代	男性	その他	館友	伊勢市内		皇學館大学の歴史がよく分かる展示がされていたと思います。 キャプションも分かり易い説明でした。
40代	男性	自営業	館友	伊勢市内		百四十年の企画展、素晴らしいものと感じました。
40代	男性	その他	館友	県外	京都府	大変勉強になりました。有り難うございました。
70代	男性	その他	一般	伊勢市以外の三重県内		廃校～再興の間の皆さんの思い。 再興に力強い支援者が沢山みえたのが皇學館の力かなと思いました。 乱文で申し訳ありません。
50代	女性	教員	一般	伊勢市以外の三重県内		普段見られない古写真や古地図を興味深く拝見しました。
70代	女性	-	一般	県外	京都府	参考になりました。 ありがとうございました。
60代	女性	その他	一般	伊勢市内		貞明皇后が伊勢にいられたときの映像があるとのこととで拝見したいと思ってきました。 貴重なもので当時の様子がわかりました。 皇學館大学のことはよく知らず、知人が卒業生なので当時の学生さん達の中に写っていないかと目を凝らして見ました。 展示もわかりやすいです。
60代	男性	会社員	一般	県外	東京都	充実した資料を拝見できて、とても良かったです。 また皇學館大学の歴史が興味深かったです。 ありがとうございました。
60代	女性	その他	一般	県外	東京都	とても興味をひかれる展示をされていて大変参考になりました。
50代	男性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内		見ごたえがあり、楽しめました。
60代	女性	その他	館友	伊勢市以外の三重県内		初めて博物館に来ました。 すばらしい博物館で感動しました。
50代	女性	公務員	一般	県外	福岡県	大変勉強になりました。
50代	男性	公務員	一般	県外	福岡県	創立から現在までの流れが分かり易く展示されてました。
40代	男性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内		全くわからない分野でしたが新しい発見がありました。
40代	女性	教員	一般	伊勢市以外の三重県内		ゆったり見てまわることができました。 展示も多方面からじっくり見れました。
40代	女性	公務員	一般	県外	岐阜県	貴重なものを拝見させていただきました。
50代	男性	公務員	館友	伊勢市内		企画展を多く開催して欲しい。
70代	男性	その他	館友	伊勢市以外の三重県内		本館をもっとマスコミ等でPRして下さい。
40代	男性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内		伊勢の歴史を資料とともに知れて良かった。 今後も伊勢の歴史をイベントで行ってほしい。
80代以上	男性	その他	-	伊勢市内		神宮に関する色んな物が豊富で、徴古館にない物を見る事が出来た。

年齢	性別	職業	皇學館との関係	住まい	感想
40代	男性	会社員	一般	伊勢市内	皇學館大学の歴史の映像（授業風景や文庫等）はとても分かりやすく、当時の様子（昭和47年）がよく窺えました。
70代	女性	その他	一般	伊勢市内	皇學館大学の歴史を感じました。
40代	女性	自営業	一般	伊勢市内	小さな頃から側にあった皇學館。 今は娘も高校に通わせていただいておりますが、展示を見て改めて色々知らなかったと実感し、興味深く拝見しました。
20代	男性	公務員	一般	伊勢市内	地元にて高校生までその存在を知り乍ら、よく知らない所も多かったので皇學館の成り立ちや意義、多くの方々の皇學館に対する熱意に触れる事が出来ました。 大変見ていて有意義な時間を得る事が出来ました。 六角講堂良いですね。素晴らしい展示を有難うございました。
50代	女性	その他	館友	伊勢市内	創立140周年おめでとうございます。 初めて博物館を訪れることができました。 企画展のおかげです。 もっと新たに資料が見れるとよいと思いました。
40代	女性	会社員	一般	伊勢市以外の三重県内	映像が良かったです。
20代	男性	会社員	館友	伊勢市以外の三重県内	自分の通った大学の歴史を知れて大変おもしろかったです。
20代	男性	会社員	館友	伊勢市以外の三重県内	在学した大学の歴史や貴重な史料を見てよかったです。 長谷川先生頑張れ～♪
70代	男性	その他	一般	伊勢市内	大学の歴史が少ない。 高・中の歴史も知りたかった。
50代	男性	会社員	一般	伊勢市内	ダイジェスト版のパンフ（P.4～P.6くらい）が100円程度で販売されていれば尚良い。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	皇學館大学の歴史を学べて良かったです。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	皇學館について、詳しく知ることができ良かったです。
60代	男性	教員	館友	伊勢市内	皇學館140年の歴史の重みを感じました。
70代	男性	その他	一般	伊勢市内	皇學館の歴史に触れ、感動しました。
70代	女性	その他	一般	伊勢市内	昔の歴史を知り感動しました。 初めて見る物もあり良かったです。心に残りました。 70才で色々見せてもらって感謝します。
60代	女性	その他	一般	伊勢市内	貴重な映像が拝見でき、勉強になりました。 たまたま新聞を見ての来館でしたが、とても良いチャンスでした。
20代	男性	大学生・院生	在学生	伊勢市内	授業では口頭での説明ばかりだったので、写真や詳細な資料を閲覧できて良かった。
60代	女性	その他	一般	伊勢市以外の三重県内	とても素晴らしかった。 また、このような展示を是非楽しみにしております。

# Ⅲ 令和5年度事業計画

### Ⅲ 令和5年度事業計画

共同研究)

#### 1 研究推進事業

#### 2 神道研究所

##### (1) 外部資金による研究

##### A 総合研究

##### A 概要

##### 一、総合研究

令和5年度も科研費に代表される競争的資金の申請数及び採択数の増加を目標とする。また、地域自治体との受託研究を実施していくと共に、企業との受託研究並びに共同研究も検討していく。

その他、プロジェクト研究として選定している研究計画(2)プロジェクト研究部門を参照)を実施・推進していく。

##### (2) プロジェクト研究部門

本学では大学全体として学部学科の垣根を越えて、積極的に外部資金等を獲得しながら取り組んでいく研究を「プロジェクト研究」として位置付け、様々な分野の研究を行っている。

令和5年度は、次のプロジェクト研究を進めていく。

- ① GISを活用した分野横断型研究プラットフォーム構築に向けた基礎的研究
- ② 玉城町明るい未来づくりに関する調査研究(玉城町との受託研究)
- ③ 地域活性化対策(住民向け活動計画策定)支援業務(宿田曾地域活性化協議会との受託研究)

- ④ 神道に関する学習内容の研究(國學院大學との共同研究)

- ⑤ 東アジアの宗教と伝統文化研究(中国社会科学学院日本研究所との共同研究)

- ⑥ 文学・歴史の比較研究(英国ケント大学との共同研究)

- ⑦ 外国人日本研究者育成および本学教員業績の海外発信(ワルシャワ大学との

- ・得られた知見を紀要等で発表する。

- ② 神宮祭祀の研究 担当者・佐野真人・塩川哲朗

##### 【古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究】

- ・「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会を開催する。

- ・「延暦儀式帳」古写本を調査・収集する。

- ・「延暦儀式帳」注釈書を調査・収集し、それらを集成する。

- ・「延暦儀式帳」関係研究文献を収集し、「延暦儀式帳関係研究文献目録」補遺を作成する。

- ・「古代伊勢神宮に関する未公刊史料を活用した基礎的研究(代表・佐野真人)」の一環として『伊勢神宮関係未公刊史料集(絵図篇)』の刊行を行う。

- ・「皇太神宮儀式帳」の注釈原稿を作成する。

〔発表予定等〕

- ・『伊勢神宮関係未公刊史料集』の刊行を行う。

## 【伊勢神宮の総合的研究】

- ・神宮式年遷宮の諸祭・行事を調査・研究する。
  - ・神宮・遷宮関係画像資料（写真・絵葉書・図面等）を収集する。
  - ・遷宮・祭祀を柱とした、各分野からの神宮研究を推進する。
  - ・研究員による関連研究を推進する。
- 〔発表予定等〕
- ・得られた知見を紀要等で発表する。

〔出張予定〕

- ・「延暦儀式帳」及び神宮関連古典籍の調査を年に数回実施する。
- ・皇室祭祀関連史料の調査を年に数回実施する。

## B 研究会活動

- ・総合研究において「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会を継続的に開催する。

## C 部門別研究（▲は部門代表者）

- ・神道思想、祭祀、神道史、宗教・民俗、文学・芸術の5つの部門主題に則し、研究を実施する。

### 【第一部門 神道思想】 ▲松本丘・松下道信・新田恵三

- ①神道・国学思想及びその周辺思想の調査研究 担当者：松本丘・松下道信
  - ・吉田神道、垂加神道、国学の思想、及びそれらの周辺を構成する儒教・仏教・道教などの外来思想、幕末・維新の政治思想などについて、専門領域ごとに分担しながら、総合的に調査研究を行う。
- 〔発表予定等〕

- ・望楠軒学派の地方的展開について（論文、松本）、『神祇道靈符印』について（論文、松下）神道史学会における吉田神道研究の回顧と展望（論文、新田）、その他得られた研究知見を紀要等に報告。

### ②神道家・国学者の事跡研究 担当者：松本丘・松下道信・新田恵三

- ・吉田神道、垂加神道、国学の思想家を中心に、専門領域ごとに分担しながら、基礎的な事跡研究を進める。

〔発表予定等〕

- ・鈴木潤齋・遺音父子の研究（論文、松本）、清原宣賢筆『行事秘』の形成過程と宗源妙行の返し伝授（論文、新田）、その他得られた研究知見を紀要等に報告。

### ③『神道資料叢刊』『神道書目叢刊』刊行のための調査研究 担当者：松本

- 丘・松下道信・新田恵三
  - ・次期の『神道資料叢刊』または『神道書目叢刊』の刊行準備を進める。
- 〔発表予定等〕

- ・吉田神道所伝『太上説北斗元靈経』校注（校注、松下）
- 〔出張予定〕

- ・宮崎県宮崎市：佐土原藩崎門学関係資料の収集（松本）
- ・天理大学附属図書館：吉田神道関係資料の調査（松下）

- ・愛媛県松山市：浮嶋神社社家相原家所蔵の橘家神道関係資料の調査（新田）

### 【第二部門 祭祀】 ▲加茂正典・佐野真人・塩川哲朗・吉川竜実・芝本行亮

- 西本俊一郎・堀川秀徳・山口武徳・音羽悟・窪寺恭秀・山田恭大・神田直久
- ①『延暦儀式帳』の研究 担当者：第2部門全員参加（実務担当：佐野真人・塩川哲朗）
- ・「延暦儀式帳」研究会に出席して、本文確定・訓読文・注解の草稿原稿の作成を進める。

- ・「延暦儀式帳」の諸本校訂作業を行う。
- 〔発表予定等〕

- ・得られた研究知見を紀要等に報告。

②大瀧家旧蔵鈴木重胤資料の調査・研究、鈴鹿家資料の調査・研究

担当者・加茂正典・佐野真人・塩川哲朗（実務担当・佐野真人・塩川哲朗）  
・鈴鹿家資料分類目録の作成と写真撮影。同日録を基に、『鈴鹿家資料』（仮）の編纂に着手する。

・「羽前大瀧家伝襲鈴木重胤先生関係資料」の調査研究。  
〔発表予定等〕

・得られた研究知見を紀要等に報告。

③神道資料叢刊『櫟陰記』の編集・刊行

担当者・加茂正典・第2部門学外共同研究員（編集担当は佐野真人・塩川哲朗）  
・神道資料叢刊『櫟陰記 下』の原稿作成を行う。

〔発表予定等〕

・神道資料叢刊『櫟陰記 下』を刊行する（令和6年度）。

〔出張予定〕

・東京（7月、儀式帳写本調査）

・東北（8月、儀式帳写本調査）

・九州（6月、儀式帳写本調査）

【第三部門 神道史】▲新田均・富永健・高野裕基

①近代政教関係の研究 担当者・新田均

・近代の神道や皇室の課題についての研究を継続する。

〔発表予定等〕

・得られた研究知見を紀要等に報告。

②近代政教関係の研究 担当者・富永健

・戦前の公法学者の政教関係に係わる著作（著書・論文・講演等）について、調査および資料収集をおこなう。

〔発表予定等〕

・得られた研究知見を紀要等に報告。

③近代政教関係の研究 担当者・高野裕基

・井上哲次郎が神道学に与えた影響を考察する。  
〔発表予定等〕

・得られた研究知見を紀要等に報告。

【第四部門 宗教・民俗】▲中山郁・橋本雅之・板井正斉

①神道と行法に関する基礎的研究 担当者・中山郁

・本プロジェクトは、宗教学の中で長らく重要なテーマとされながらも、ほとんど研究されてこなかった「宗教的修行」について、主に神道的な事例を中心にしながら修行や祈祷の方法である「行法」に着目して研究を行う。具体駅にはこれまでの修行研究が重視していた心身相関論的な立場からのアプローチを一旦保留し、むしろ行法によって示されたり構築されたりしてきた信仰や思想、組織のありかた等を中心に検討しようとするものである。令和5年度は、前年度から本格始動した「行法研究会」を中心に研究を行い、日本宗教学会等で行法研究に関するパネル発表を行うとともに、科学研究費助成事業による研究助成の獲得を目指したい。事業の評価指標としては、学会でのパネル発表実施（40%）行法研究会を4回実施（20%）科学研究費助成事業の獲得（40%）としたい。

②神道教育に関わる映像教材作成 担当者・中山郁・佐野真人

・本プロジェクトは、学部学科に対する神道教育教材の作成を通じて本学の教育改革に資するとともに、学部学生や若手研究職、院生がアクティブに大学授業について考える場を作ろうとするものである。具体的には令和4年度に行った「儀式」の映像教材化に引き続き、神道を学ぶ授業で用いることが可能な映像教材を製作する。これについては中山の研究部会「映像教材作成部会」を活用し、学部学生の積極的な参与を促してゆく。なお、作成した映像

教材は、令和6年度から神道学科等で開講される授業で教材として供用する。事業の評価指標としては、映像教材作成部会を年6回以上開催(30%) 映像教材の完成(50%) 映像教材の授業への供用開始(20%)とする。

〔発表予定等〕

・教材動画(作品名未定)の完成を以て替える。

#### 【第五部門 文学・藝術】 ▲田中康二・大島信生・齋藤平

①澤瀉文庫の研究 担当者・大島信生・齋藤平・田中康二・橋本雅之

・本学再興時の国文学科教授であり、昭和期における万葉集研究の第一人者、澤瀉久孝博士の蔵書は本学附属図書館に収められている。その蔵書には万葉集、日本書紀など神道古典の貴重な資料が含まれる。澤瀉文庫の調査、資料の研究を通じて、澤瀉万葉字の本質に迫る。本研究は「古典籍の蒐集と書写を通してみた澤瀉久孝「万葉学」形成過程の基礎的研究」(科研基盤研究(C) 令和4～6年度、橋本雅之研究代表)とも連動する。

〔発表予定等〕

・令和5年度研究開発推進センター神道研究所公開学術シンポジウム開催予定(令和5年12月16日)。

②五葉蔭文庫の研究 担当者・大島信生・齋藤平・田中康二・浦野綾子

・引き続き五葉蔭文庫の研究を行う。同文庫には簡素な受入台帳はあるが、五葉蔭文庫の価値を学界に知らしめるためにも、早急に典籍目録・文書目録を作成する必要がある。また、五葉蔭文庫にのみ存在が確認できる稀観本の研究と紹介も必須である。令和5年度も引き続き三〇〇〇点の蔵書について、天下の孤本・稀観本・普通本に仕分けする作業をする。

〔発表予定等〕

・典籍目録・文書目録作成を目標とする(時期は未定)。

③神道古典の研究 担当者・大島信生・齋藤平・田中康二

・神道古典及びそれに関連する作品を中心に、各自の視点で幅広く研究を行う。

〔発表予定等〕

・得られた研究知見を紀要等に報告。

〔出張予定〕

・三郷町立図書館・①の関連で石井庄司ゆかりの桐蔭文庫の調査。

### 3 史料編纂所

#### 【第一部門 六国史編年部門】

①日本後紀編年史料の作成

桓武天皇朝の延暦11年(七九二)から大同元年(八〇六)までの期間について、『日本後紀』の記事を機軸としつつ、関係史料を網羅する編年史料集の作成を継続。延暦20年(七九七)以降の稿本をまとめ、綱文・補注を作成する。今年度は「日本後紀史料(稿)番外編」として『新撰姓氏録』の校訂本の巻二十一から三十までの分(逸文を含む)を『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第10号に掲載する予定である。

②日本書紀史料作成の準備

『日本書紀』を中心とした七世紀以前の編年史料集作成の可能性を探る一環として、『日本書紀』諸本の調査を継続する。

#### 【第二部門 神宮史料】

福島御塩大夫関係文書の翻刻

神宮文庫が所蔵する福島大夫関係文書の翻刻を行う。窪寺・谷戸両氏を中心に作業を進め、令和5年度に『神宮御師資料』の続編として刊行する予定である。

#### 【第三部門 明治史料】

#### ①香川敬三関係文書に関する共同研究

平成30年度から学習院大学史料館と継続している共同研究である。新型コロナウイルス感染症の見通しは依然不透明であるが、コロナ禍で停滞した共同研究を本格的に動かしていく。文書はデジタル化されずに学習院大学へ移管されたため、学習院大学史料館と本部门との間で情報を共有しつつ、研究を進めていく。学習院大学史料館で進められてきた文書目録のデータ化を基に、学習院大学収蔵および本学所蔵の文書について、以下の3点を柱に研究を進める。

- ・岩倉具定・長崎省吾など宮中・華族関係者の書簡に関する翻刻と分析
- ・画像資料の研究活用に関する検討
- ・本学デジタルアーカイブ事業に提供する史料の検討と選定

#### ②原川魁輔関係文書の研究

画像データをもとに目録作成、史料翻刻をおこない、成果を研究開発推進センター紀要で公表する。

#### ③御師廃絶の地域社会史

内宮方旧御師岩井田家および外宮方旧御師橋村家の資料などをもとに、御師廃絶が地域社会にもたらした影響について考察する。具体的には御師廃絶後の両家の経営が、いかなる地域社会のネットワークにより支えられていたのかを解明していく。特に橋村家資料に関しては、本年度に展示や講演会の開催が予定されており、それらと連動した研究を進めていく。

#### 【第四部門 考古資料】

##### 鈴木敏雄氏遺稿旧蔵資料の整理編纂

昨年引き続き、鈴木資料の悉皆点検を継続し、資料のコンディションを調査する。今年度も昨年度に引き続き書画の保存状態を確認し、その結果を踏まえて、資料の補修・撮影を実施する。

## 4 佐川記念神道博物館

### (1) 活動計画

#### A 総務事業

- ①収蔵資料を中心に写真業者によるデジタル撮影及びフォトCDへの焼付。
- ②全収蔵庫のブンガン燻蒸の実施。
- ③虫害モニターの実施。
- ④博物館外周ならびに水周りにおける害虫駆除の実施。
- ⑤展示室・収蔵庫の温湿度管理。
- ⑥購入・寄贈の図書や雑誌等の整理。
- ⑦Web上のおうちミュージアム「おうちで神道博物館」内のコンテンツ充実を図る。

#### B 展示

##### (企画展)

- ①「ある伊勢御師の軌跡 ―新発見・橋村家伝来資料から―」の開催。  
〔会期〕令和5年10月2日～11月30日  
〔常設展示〕
- ②展覧会開催にともない、第2展示室の入れ替えを行うとともに、千束屋資料の展示替えを実施。

##### (2) 館史編纂

- ・収蔵資料の調査・整理（目録作成）。
- ・神宮皇學館・神宮皇學館大學関係資料を中心に、写真業者によるデジタル撮影及び皇學館大学デジタルアーカイブ上で公開する。
- ・全国大学史資料協議会への参加や関係図書の収集を通じて、国内の他大学に

おける大学アーカイブズの動向を調査する。

・皇學館高等学校創立60周年・皇學館中学校創立45周年事業のための調査と記念誌作成の補助をした。

(3) 博物館学芸員課程学生の博物館実習計画

本年度の博物館実習の内容と構成

令和5年度の博物館実習内容及び構成は次の通り予定している。

a 佐川記念神道博物館における実習

○基礎実習（3年次生 毎週）

当館 浦野綾子准教授指導

○展示案内実習（3年次・4年次生 各学年1日ずつ合計2日間）

当館展示室 浦野綾子准教授・小林郁助教指導

○梱包実習（3年次生〈初級〉・4年次生〈上級〉）

当館講義室 日本通運株式会社津支店美術品係員3名指導

○採拓実習（主に3年次生）

当館講義室 野村辰美氏指導

○実測実習（3年次生）

当館講義室 三重県埋蔵文化財センター所長 竹田憲治氏指導

○刀剣実習（4年次生）

当館講義室 三重県総合博物館学芸員 小林秀氏

尼崎市立歴史博物館学芸員 服部早希氏指導

○学外館務実習の事前指導・事後指導（3・4年次生）

b 佐川記念神道博物館以外における実習

○実務実習（主に3年次生 計1日間）

三重県総合博物館三重県総合博物館学芸員指導

○神宮徴古館実習（主に3年次生）

神宮徴古館農業館・神宮美術館学芸員並びに職員指導

○熱田神宮宝物館実習（主に3年次生）

熱田神宮宝物館学芸員・同文化研究員並びに職員指導

○学外館務実習（4年次生 原則夏季休業期間）

令和5年度の受け入れ館は次のとおりである。（実習生総計17名）

- |    |                       |       |
|----|-----------------------|-------|
| 1  | 熱田神宮宝物館（愛知県名古屋）       | 実習生4名 |
| 2  | 富士山かくや姫ミュージアム（静岡県富士市） | 実習生1名 |
| 3  | 飛騨高山まちの博物館（岐阜県高山市）    | 実習生1名 |
| 4  | 豊橋市自然史博物館（愛知県豊橋市）     | 実習生1名 |
| 5  | 松浦武四郎記念館（三重県松阪市）      | 実習生3名 |
| 6  | 斎宮歴史博物館（三重県明和町）       | 実習生1名 |
| 7  | 三重県総合博物館（三重県津市）       | 実習生3名 |
| 8  | 真珠博物館（三重県鳥羽市）         | 実習生1名 |
| 9  | 堺市博物館（大阪府堺市）          | 実習生1名 |
| 10 | 佐賀県立名護屋城博物館（佐賀県唐津市）   | 実習生1名 |



IV 刊行物

V 教育普及

VI 社会連携

VII 資料利用・広報活動・マスコミ取材

VIII 調査記録及び研修会等への参加

IX 収集資料・図書・雑誌・社報ほか

附則

#### IV 刊行物

##### 1 令和4年度刊行物

###### (1) 研究推進事業

###### ① 『皇學館大学紀要』の刊行

第61輯（令和5年3月15日）

- ・ 「国生み神話の敗戦 ― 「国学的なるもの」の表象をめぐって（その一）」  
文学部教授 田中康二
- ・ 「長野義言が見た即位礼 ― 義言『長月日並乃記』からみる即位礼拝観と文化人との交流について―」  
研究開発推進センター助教 浦野綾子
- ・ 「三輪田高房の鎮魂論と「日文」」  
文学部助手 新田恵三
- ・ 「アメリカにおけるベルリン・オリンピック（1936年）ボイコット論争と国際オリンピック委員会の対応（I）」  
教育開発センター特命教授 中村哲夫
- ・ 「母親と父親の養育態度と精神的健康、学校適応感との関連 ― 小学5年生から中学3年生を対象として―」  
教育学部教授 渡邊賢二

桑名市立大山田東小学校 原田 あいか  
鈴鹿市立平田野中学校 服部 直美

・ 「指導と評価の一体化を図る小学校外国語科授業実践 ― 「逆向き設計」論を活用して―」

文学部准教授 川村 一代

鈴鹿市立神戸小学校 岡井 崇

・ 「大学初年次生の文章表現科目の実践と課題」  
教育開発センター准教授 濱畑 静香

・ 「私的自己意識および自己没入を上位概念としたモデルにおけるフォーカシング的経験テキスト改訂版と構造拘束度との関連」  
文学部准教授 高沢 佳司

・ 「美容整形に対する態度尺度作成の試み」  
文学部准教授 中山 真

・ 「大都市圏住民がもつ地区類型のイメージとその空間的パターン ― 教師付き機械学習による都市内部構造分析に向けて―」  
文学部准教授 桐村 喬

###### ② 『皇學館大学研究開発推進センター年報』の刊行

第9号（令和5年3月1日）

###### ③ 『皇學館大学研究開発推進センター紀要』の刊行

第9号（令和5年3月1日）

###### 【論文】

伊勢神宮古神宝の扱い 芝本行亮

藪田守良の正遷宮研究について

― 文永三年内宮正遷宮を中心に ― 堀川秀徳

###### 【資料】

日本後紀史料（稿）番外編

― 『新訂・新撰姓氏録』第十一～二十卷

神宮皇學館本科四年「大正十一年第一回満鮮旅行記」（大正十一年）・「大

正十二年第二回満鮮旅行記」（大正十二年）

史料編纂所

——神宮皇學館修学旅行日記・満鮮旅行記(六)——研究開発推進センター  
「延暦儀式帳講案」覚書——戦前期の儀式帳研究の一断片—— 佐野真人  
原田敏明每文社文庫研究調査資料「度会郡南海村大字礫」  
(現、三重県南伊勢町礫浦)の祭礼行事調査報告 櫻井治男

緒方亜美  
吉田神道資料——清原宣賢筆草稿本『行事秘』—— 新田恵三  
神宮御師橋村家史料における新出の中世道者売券について 小林 郁  
皇學館大学研究開発推進センター所蔵「寛文七年白米彦太夫満親讓状」 谷戸佑紀

## (2) 神道研究所

神道資料叢刊17『櫛陰記 中』(令和5年3月、367頁)  
加茂正典監修、吉川竜実・音羽悟・窪寺恭秀・山田恭大・神田直久編

## (3) 史料編纂所

なし

## (4) 神道博物館

皇學館大学創立140周年・再興60周年記念『伊勢と皇學館の140年』(令和4年  
4月30日、学校法人皇學館発行)

## 2 令和5年度刊行物

### (1) 研究推進事業

『皇學館大学紀要』第62輯(予定)  
『皇學館大学研究開発推進センター年報』第10号(予定)

『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第10号(予定)

### (2) 神道研究所

神道資料叢刊19『吉田文庫未公刊史料集(一)』(予定)  
松下道信・新田恵三編

### (3) 神道博物館

企画展図録「ある伊勢御師の軌跡——新発見・橋村家伝来資料から——」(予定)

## V 教育普及

### 1 公開講座報告及び案内

#### (1) 令和4年度公開講座報告

##### A 神道研究所

##### ① 学術講演会

演 題 「幕末の水戸学…敬神と崇儒のあいだ」

講 師 桐原健真氏(金城学院大学教授)

日 時 令和4年7月7日(木) 17時00分～18時30分

場 所 本学 4号館3階 431教室

備 考 新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、学内者限定での開  
催となった。

##### ② 公開学術シンポジウム

企 画 第四部門担当

主 題 「神道と行法―神と人とを結ぶ「行」のありかたをめぐる」(中山郁教授担当)

登壇者 津城寛文氏(筑波大学名誉教授)

田井健治氏(結城神社権禰宜・本学非常勤講師)

新田恵三(本学文学部助手・本センター共同研究員)

並木英子氏(国際基督教大学非常勤講師・同大キリスト教と文化研究所研究員)

中山 郁(本学文学部教授・本センター共同研究員)

日 時 令和4年12月17日(土) 13時00分～17時00分

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

備 考 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い実施した。また、オンラインによる同時配信を実施した。

### ③夏休み子ども講座

内 容 「皇室・神宮のおはなし」(佐野真人)

「神社ってなあに？」(塩川哲朗)

講 師 佐野真人(本センター准教授)・塩川哲朗(本センター助教)

日 時 令和4年8月5日(金)

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

## B 史料編纂所

### ①公開講座

演 題 「東海の大盟主墳の被葬者について

―特に美濃・昼飯大塚古墳の被葬者をめぐって―

講 師 中司照世氏(元福井県埋蔵文化財調査センター所長)

日 時 令和4年9月10日(土) 14時～16時

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室  
定 員 各30名(事前申込制)

### ②古文書講座

「古代文書を読む」

講 師 荊木美行(本センター教授)

第1回 令和4年6月11日(土) 13時～14時30分

第2回 令和4年7月16日(土) 13時～14時30分

定 員 各20名(事前申込制)

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

「中近世文書を読む」

講 師 小林郁(本センター助教・学芸員)

第1回 令和4年12月3日(土) 13時～14時30分

第2回 令和4年12月10日(土) 13時～14時30分

定 員 各20名(事前申込制)

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

## C 佐川記念神道博物館

### ①教養講座

テーマ「資料からみる皇學館史 140年のあゆみ」※オンデマンド配信にて実施。

第1回 「近代神道史における皇學館の創立」

講 師 高野裕基(本学文学部助教)

日 時 令和4年11月1日(火)～11月20日(日)

第2回 「大陸を見た学生たち ―神宮皇學館の海外修学旅行―」

講 師 長谷川怜(本学文学部助教)

日 時 令和4年12月1日(木)～12月20日(火)

第3回 「近代教育制度と神宮皇學館」

講師 秦昌弘（本学神職養成部長）

日時 令和5年2月1日（水）～2月20日（月）

第4回 「「大神都聖地計画」と神宮皇學館の大学昇格」

講師 田村雅徳（本学アドミッション・オフィス教授）

日時 令和5年3月1日（水）～3月20日（月）

## ②夏休み親子教室

第1回 「はんこを作ろう！」

日時 令和4年7月31日（日）

第2回 「モールズ信号体験！」

日時 令和4年8月8日（月）

○講 師…皇學館大学学芸員課程履修生（監修…神道博物館学芸員）

○会 場…本学 佐川記念神道博物館 講義室

○参加料…無料

○対象 象…小学生（必ず保護者同伴のこと）

○参加人数…第1回 29組69名

第2回 26組65名

## (2) 令和5年度公開講座予定

### A 神道研究所

#### ①公開学術講演会

演 題 「神道史から見た明治維新」

講 師 武田秀章氏（國學院大學教授）

日時 令和5年7月6日（木）17時00分～18時30分

## ②公開学術シンポジウム

企 画 第五部門担当

主 題 「澤瀉久孝の万葉学とその周辺」（橋本雅之教授担当）

登壇予定者 橋本雅之（本学文学部教授・本センター共同研究員）

大島信生（本学文学部教授・本センター共同研究員）

田中康二（本学文学部教授・本センター共同研究員）

齋藤平（本学副学長・文学部教授・本センター共同研究員）

日時 令和5年12月16日（土）13時00分～17時00分

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

## ③夏休みこども講座

内 容 「ヤマトヒメのおはなし」（佐野真人）

「皇室（こうしつ）について」（塩川哲朗）

講 師 佐野真人（本センター准教授）・塩川哲朗（本センター准教授）

日時 令和5年8月2日（水）

場 所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

### B 史料編纂所

#### ①公開講座

演 題 「古代の志摩国

―神龜六年志摩国輸庸帳からわかること―」

講 師 荊木美行（本センター教授）

日時 令和5年9月9日（土）14時～16時

場 所 本学 5号館3階 536教室

定員 各50名(事前申込制)

## ②古文書講座

「近世文書を読む―内宮御師の古文書―」

講師 谷戸佑紀(本学文学部准教授)

第1回 令和5年6月10日(土) 13時～14時30分

第2回 令和5年7月15日(土) 13時～14時30分

定員 各30名(事前申込制)

場所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

「中近世文書を読む―中近世御師文書の世界―」

講師 小林郁(本センター助教・学芸員)

第1回 令和5年10月14日(土) 13時～14時30分

第2回 令和5年12月16日(土) 13時～14時30分

定員 各30名(事前申込制)

場所 本学 佐川記念神道博物館 講義室

※第2回のみ2号館1階 212教室

## C 佐川記念神道博物館

### ①教養講座

テーマ「伊勢御師の家伝資料を紐解く」

第1回 「足代弘訓と橋村正克」

日時 令和5年5月27日(土)

講師 浦野綾子(本センター准教授・学芸員)

第2回 「橋村家と檀家の近代―参宮人帳を手がかりに―」

日時 令和5年6月17日(土)

講師 谷口裕信(本学文学部教授)

第3回 「企画展「ある伊勢御師の軌跡―新発見・橋村家伝来資料から―」

(企画展ギャラリートーク)

日時 令和5年10月21日(土)

講師 小林郁(本センター助教・学芸員)

第4回 「伊勢の石仏・石塔」

日時 令和5年11月18日(土)

講師 竹田憲治(本学非常勤講師)

○会場 本学 4号館3階 431教室 ※第3回のみ神道博物館展示室

○料金 金…無料

○定員 各回90名(定員になり次第締め切り)

※第3回のみ全4回(各回20名)に分けて実施

○申込方法…グループフォームから申し込み

○備考…後日オンデマンド配信あり

### ②夏休み親子教室

第1回 「立版古を作ろう」

日時 令和5年7月30日(日)

第2回 「和本ノートを作ろう」

日時 令和5年8月4日(金)

○講師…皇學館大学学芸員課程履修生(監修…神道博物館学芸員)

○場所…本学 佐川記念神道博物館 講義室

○参加料…無料

○対象…小学生(必ず保護者同伴のこと)

○応募者多数の場合は抽選

## 2 佐川記念神道博物館の利用及び団体見学

### (1) 皇學館大学博物館学芸員課程履修学生の基礎実習の実施

本年度は3年次生17名、4年次生15名、合計32名の学生が博物館学芸員課程館務基礎実習に参加した。

実習内容は通常講義時間で行う基礎実習、当館および三重県総合博物館における各学年の館務実習、当館において入館者に展示品の解説をしながら館内を案内する展示案内実習等を実施した。

実習生は、学芸業務の補助的な仕事や、教育普及事業の補助的業務を現場の博物館において実習するなど、大学附属博物館の特性を生かした実習を実施することができた。

### (2) 団体見学

学内および学外からの依頼を受け、学芸員による展示解説や施設案内等を行った。

・ 萼の会	15名	令和4年5月14日
・ 館友2期生	16名	令和4年5月19日
・ 天理教幅下大教会	25名	令和4年5月30日
・ 志摩市立磯部中学校	84名	令和4年6月2日
・ 高田学苑高田高等学校	57名	令和4年8月2日
・ 萼の会	49名	令和4年8月27日
・ 皇學館中学	27名	令和4年10月4日
・ 志摩市立大王中学校	35名	令和4年10月4日
・ 愛知県立津島東高等学校PTA	27名	令和4年10月6日
・ 高野山大学	14名	令和5年1月21日

・ 和歌山県神社庁	19名	令和5年1月27日
・ 志摩市立文岡中学校	127名	令和5年2月7日
・ 「伊勢」と日本スタディプログラム受講者	13名	令和5年2月22日
・ 株式会社宮忠	7名	令和5年3月29日

3 統計資料

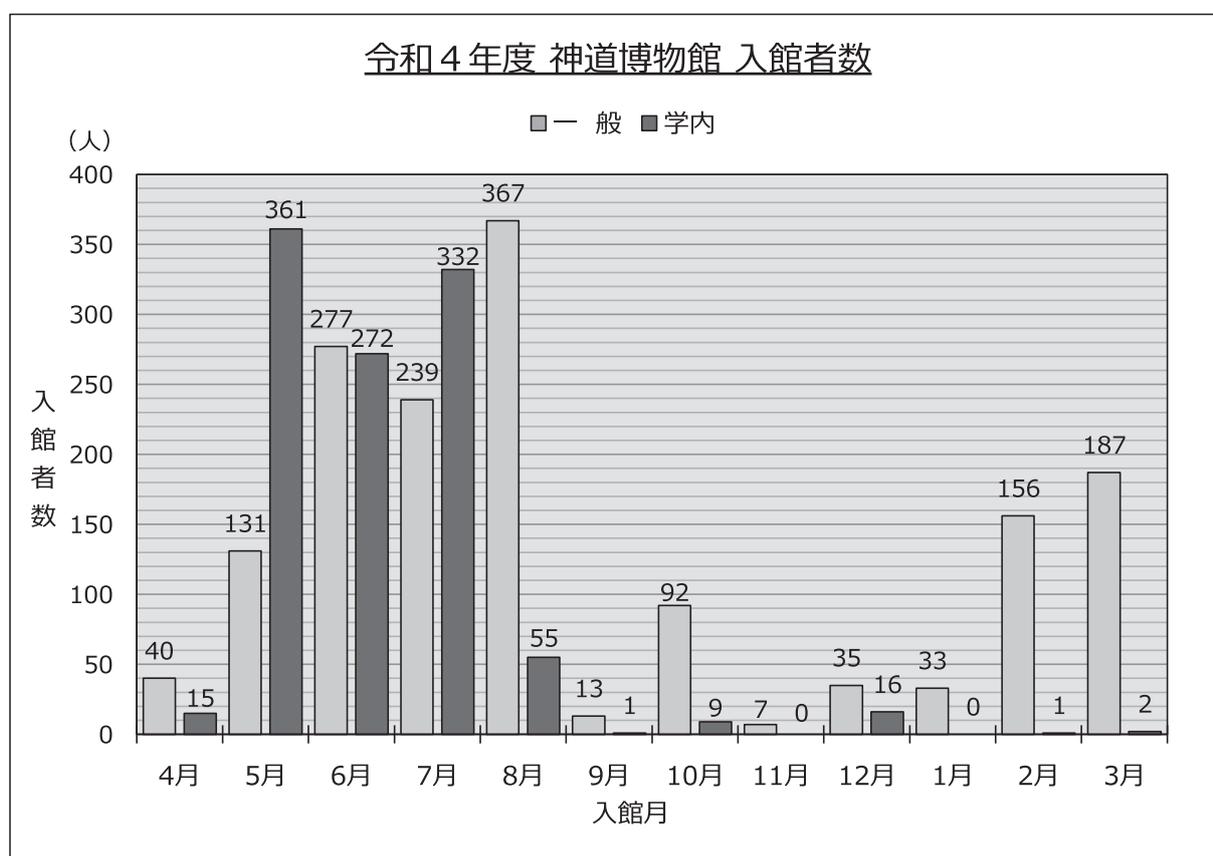
(1) 令和4年度佐川記念神道博物館入館者数

(神道博物館入館者数学生は本学学生を指す)

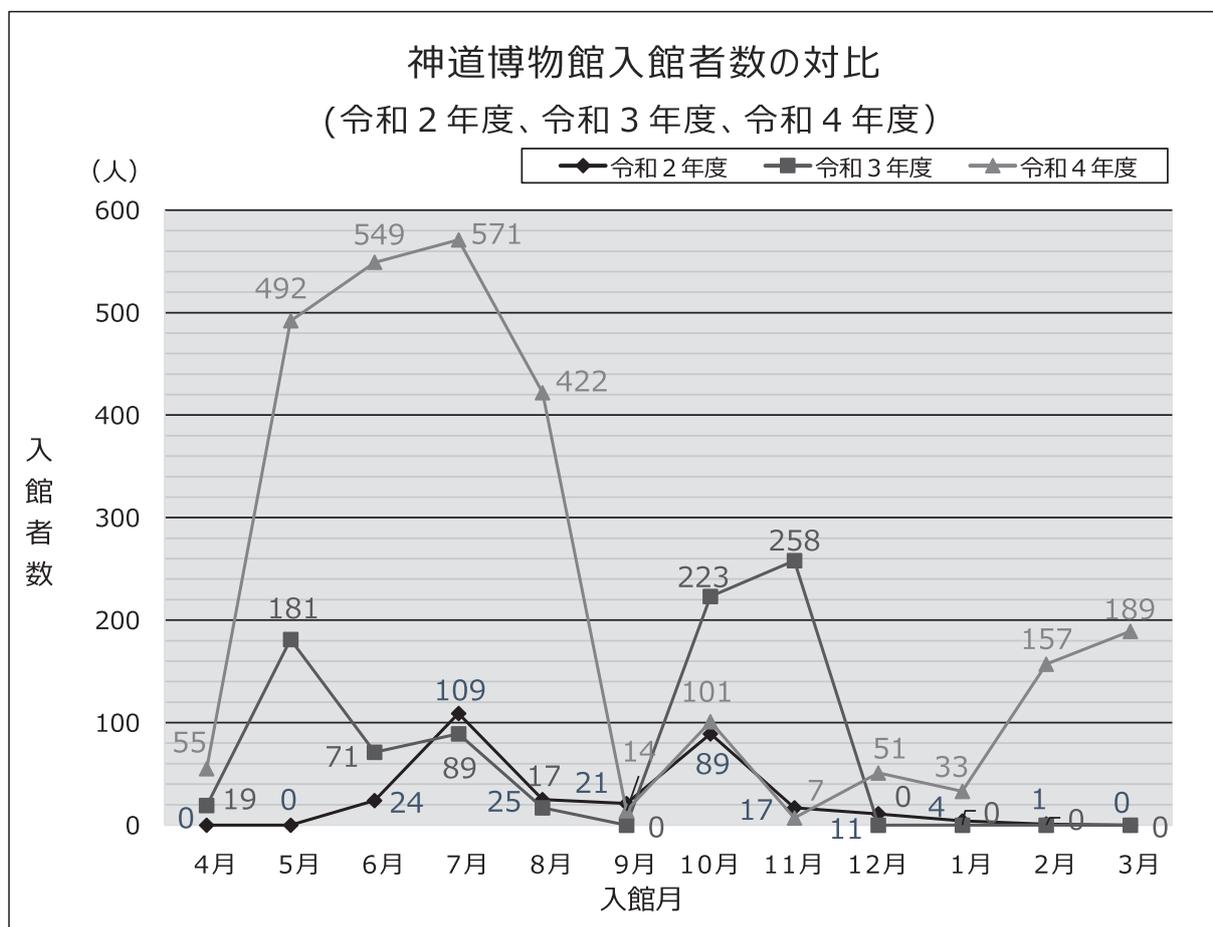
年	月	一般	学内	合計	累計
R4年	4月	40	15	55	55
	5月	131	361	492	547
	6月	277	272	549	1,096
	7月	239	332	571	1,667
	8月	367	55	422	2,089
	9月	13	1	14	2,103
	10月	92	9	101	2,204
	11月	7	0	7	2,211
R5年	12月	35	16	51	2,262
	1月	33	0	33	2,295
	2月	156	1	157	2,452
合計		1,577	1,064	2,641	

\*9月5日から令和5年2月12日まで館内工事のため休館

(団体見学およびオープンキャンパスのみ受入れ)  
\*令和5年2月13日より開館



神道博物館入館者数の対比			
(令和2年度、令和3年度、令和4年度)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	0	19	55
5月	0	181	492
6月	24	71	549
7月	109	89	571
8月	25	17	422
9月	21	0	14
10月	89	223	101
11月	17	258	7
12月	11	0	51
1月	4	0	33
2月	1	0	157
3月	0	0	189
合計	301	858	2,641



(2) 令和4年度神道博物館教養講座受講者数

対面形式受講者数（学内限定開催）

	人 数	累 計
第1回	11	11
第2回	30	41
第3回	9	50
第4回	7	57
合 計	57	

オンデマンド配信受講者数

	人 数	累 計
第1回	28	28
第2回	18	46
第3回	16	62
第4回	16	78
合 計	78	

## VI 社会連携

### 1 三重県総合博物館と皇學館大学との連携

○三重県総合博物館と皇學館大学の連携推進会議を行った。

- ・ 第1回 令和4年6月29日（水）〔三重県総合博物館にて〕
- ・ 第2回 令和4年11月30日（水）〔三重県総合博物館にて〕

○総合分野の連携

令和5年2月5日、三重県総合博物館実習室において、駒田聡子教授とゼミ生によるワークショップ・体験講座「お茶を入れてあられを煎ろう」を開催した。

○自然分野の連携

令和4年度の昆虫ワークショップは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となった。

### 2 伊勢まるごと博物館への協力

伊勢市教育委員会より依頼を受けた伊勢市の博物館関連施設の学芸担当者が集まり、その活性化及び博物館構想の担い手となりうる市民の開拓について「伊勢まるごと博物館ネットワーク会議」で協議している。令和4年度もマップ及び伊勢市内の博物館施設パンフレットを本学神道博物館内に設置している。

## VII 資料利用・広報活動・マスコミ取材

### 1 資料利用

(1) 資料熟覧

#### A 神道研究所

- ①令和4年7月25日 櫻井治男（皇學館大学名誉教授）  
「度会 南」（原田敏明每文社文庫研究調査資料 A黄33―5）のうち、  
「三重県度会郡 南海村礫 八幡神社」

#### B 史料編纂所

- ①令和4年10月3日 三重大学名誉教授 廣岡義隆氏  
史料編纂所所蔵の風土記関係蔵書を閲覧・複写

#### C 佐川記念神道博物館

資料の熟覧は無かった。

#### (2) 資料貸出

資料の貸出は無かった。

#### (3) 資料写真掲載ほか

#### A 神道研究所

- ①令和4年7月25日 「掲載」  
申請者…櫻井治男（皇學館大学名誉教授）  
資料名…「度会 南」（原田敏明每文社文庫研究調査資料 A黄33―5）の

うち、「三重県度会郡 南海村礫 八幡神社」

目的…資料翻刻準備のための写真撮影

掲載先…「原田敏明每文社文庫研究調査資料「度会郡南海村大字礫」(現、三重県南伊勢町礫浦)の祭礼行事調査報告」(『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第9号、令和5年3月)

②令和4年7月29日〔掲載〕

申請者…伊東裕介氏(株式会社神社新報社)

資料名…原田敏明先生每文社文庫写真資料H1・0188

目的…「神宮大麻150周年に寄せて 伊勢の関連地めぐり」のうち、高向地区の説明に併載

掲載先…新聞「神社新報」(第354号、令和4年8月1日)

## B 史料編纂所

①令和4年6月1日

申請者…小原茉莉子氏(北上市企画部総務課市史編さん室)

資料名…「野津本北条系図・大友系図」(部分)

目的…『新編北上市史』資料編古代・中世に掲載するため

掲載先…『新編北上市史』資料編古代・中世(北上市、令和4年11月刊行)

## C 佐川記念神道博物館

①令和4年4月27日 公益財団法人伊勢文化会議所 松尾正生氏より依頼

五十鈴塾ホームページ「暮らっしっく日本」への掲載(講座「伊勢歌舞伎と千束屋」(講師…小林郁)開催の紹介)に使用

令和4年4月30日掲載予定

・『伊勢歌舞伎浄瑠璃年代記』

・「紅地梅樹霞文様繡切付打掛」

・「頭髮用具(鬘)」

②令和4年7月25日 一般社団法人なら文化交流機構 加藤なほ氏より依頼  
和菓子ガイドブック『年がら年中饅頭祭 奈良・大和の和菓子食べ尽くし』菓子史の記事に掲載

令和4年9月15日発行予定

・「御戸開八種神饌」

③令和4年10月26日 元離宮二条城事務所 川島一毅氏より依頼

京都市市政広報紙(市民しんぶん)二条城記事に掲載

令和4年11月22日配付予定

・「二条城内豊楽殿大饗宴之御盛儀」

④令和5年3月10日 株式会社京都新聞ホールディングス 清水智弥氏より依頼

令和5年4月1日公開予定

「Living History in 京都二条城」プロジェクトのホームページ掲載

・「五節舞」写真

1点

## 2 広報活動・マスコミ取材

### (1) 新聞掲載

①令和4年4月18日 神社新報

佐川記念神道博物館「伊勢と皇學館の140年」展の案内

②令和4年4月25日 神社新報

「皇學館大学デジタルアーカイブ」新資料の追加公開の案内

③令和4年5月2日 神社新報

1点

研究開発推進センター小林郁助教 執筆

こもれば「母校のあゆみ 思ひ馳せ」

④ 令和4年5月12日 朝日新聞

佐川記念神道博物館皇學館大学140周年・再興60周年記念展示の案内

⑤ 令和4年5月23日 神社新報

佐川記念神道博物館皇學館大学140周年・再興60周年記念展示の案内

⑥ 令和4年6月3日 毎日新聞

貞明皇后 神宮皇學館行啓映像の取材記事

「100年前の貴重映像が皇學館大学で発見」

⑦ 令和4年7月18日 神社新報

新刊「皇學館大学140周年・再興60周年記念伊勢と皇學館の140年」紹介

⑧ 令和4年7月25日 神社新報

研究開発推進センター副センター長・准教授佐野真人より紹介

新刊にて「籠神社の総合的研究」

⑨ 令和4年8月1日 神社新報

研究開発推進センター小林郁助教 執筆

こもれば「史料が語る伊勢信仰」

⑩ 令和4年8月1日 神社新報 暑中特別号

研究開発推進センター小林郁助教 取材協力

「神宮大麻全国頒布百五十周年に寄せて伊勢の関連地をめぐる」

⑪ 令和4年8月5日 中外日報

佐川記念神道博物館記念展「伊勢と皇學館の140年」紹介

⑫ 令和4年11月7日 神社新報

研究開発推進センター小林郁助教 執筆

こもれば「明治の神宮改革と御師」

⑬ 令和4年12月12日 神社新報

研究開発推進センター神道研究所令和4年度公開学術シンポジウム案内

⑭ 令和5年2月13日 神社新報

研究開発推進センター小林郁助教 執筆

こもれば「倭姫宮 御鎮座百周年にあたり」

⑮ 令和5年2月27日 神社新報

研究開発推進センター神道研究所令和4年度公開学術シンポジウム記事

「神道と行法」を主題に遠隔形式併用でシンポ

⑯ 令和5年3月13日 神社新報

読書「日本書紀の成立と史料性」荊木美行教授著紹介

## VIII 調査記録及び研修会他への参加

### 1 調査記録

#### (1) 神道研究所

- ①令和4年8月28日～30日 塩川哲朗助教  
出張先 宮内庁書陵部、国立公文書館  
用件 神宮未公刊史料（神宮神宝図）の調査（科研費、総合研究）
- ②令和4年9月30日 佐野真人准教授  
出張先 名古屋市蓬左文庫  
用件 伊勢神宮関係未公刊古籍の調査（科研費、総合研究）
- ③令和4年10月10日～12日 塩川哲朗助教  
出張先 宮内庁書陵部、国立公文書館  
用件 神宮未公刊史料（神宮神宝図）の調査（科研費、総合研究）
- ④令和4年11月17日～18日 佐野真人准教授  
出張先 東京古書会館  
用件 東京古典会出品の皇室祭祀関係史料の内見（総合研究）
- ⑤令和4年11月20日～22日 塩川哲朗助教  
出張先 宮内庁書陵部、国立公文書館  
用件 神宮未公刊史料（神宮神宝図）の調査（科研費、総合研究）
- ⑥令和4年12月6日・7日 塩川哲朗助教  
出張先 宮内庁書陵部、国立公文書館  
用件 神宮未公刊史料（神宮神宝図）の調査（科研費、総合研究）
- ⑦令和5年1月24日～25日 塩川哲朗助教  
出張先 神奈川県立金沢文庫、国立歴史民俗博物館

用件 祭祀・儀礼の調査研究のため、金沢文庫特別展「法会への招待」及び歴史博特集展示「来訪神、姿とかたち」の拝観（第二部門）

⑧令和5年2月15日～17日 佐野真人准教授  
出張先 岡山大学附属図書館

用件 大嘗祭関係史料の調査（総合研究）

⑨令和5年2月18日 塩川哲朗助教

出張先 史跡齋宮跡（西部）  
用件 齋宮跡203次調査成果報告への参加（総合研究）

#### (2) 史料編纂所

①令和4年6月5・6日 荊木美行教授  
出張先 取手市教育委員会・福島信吾氏邸

用件 福島信吾氏所蔵「福嶋御塩焼大夫文書」の調査他

②令和4年11月14・15日 荊木美行教授  
出張先 都立中央図書館・国立公文書館

用件 史料編纂所第一部門の資料調査

③令和5年12月14・15日 谷口裕信共同研究員  
出張先 学習院大学史料館

用件 香川敬三関係文書に関する共同研究の打ち合わせほか

④令和5年3月6・7日 荊木美行教授  
出張先 浄水寺跡（熊本県宇城市豊野町）

用件 「浄水寺碑」の調査

⑤令和5年3月24・25日 荊木美行教授  
出張先 富山市立図書館（山田孝雄文庫）

用件 「日本後紀史料」作成にかかる資料調査

(3) 佐川記念神道博物館

①令和4年4月20日 浦野綾子助教、小林郁助教

出張先 三重県伊勢市

用件 資料寄託に関する打ち合わせ

②令和4年5月18日 浦野綾子助教・小林郁助教

出張先 三重県伊勢市

用件 寄託資料運搬搬入

③令和5年3月28日 浦野綾子助教

出張先 三重県総合博物館

用件 三重県博物館協会運営委員会に出席

2 研修会他参加

(1) 佐川記念神道博物館

①令和4年6月29日 大島信生教授、浦野綾子助教、小林郁助教、浅井誠司事

務長

出張先 三重県総合博物館

用件 博物館連携協定に基づく三重県総合博物館との会議に出席

②令和4年11月30日 大島信生教授、浦野綾子助教、小林郁助教、浅井誠司事

務長

場所 三重県総合博物館

用件 博学連携協定に基づく三重県総合博物館との会議に出席

IX 収集資料・図書・雑誌・社報ほか

1 新収蔵資料

(1) 神道研究所収集資料

A 購入資料

No. 名称

1 『紫宸殿図』（臨川書店より）

2 『御通行道筋図・外宮宮中図会』（臨川書店より）

員数

1幅

1舗

B 寄贈資料

原田敏行様

No. 名称

1 故原田敏明氏撮影マイクロフィルム資料一括

員数

228箱

(2) 史料編纂所収集資料

A 購入資料

No. 名称

1 廣湊秋麻呂水田立券文（藤沢書店より）

2 内藤湖南書「古鈔本五行大義残巻跋」（古本屋ぼらんより）

3 伊坂出土銅鐸拓本（表装のため新規図書登録）

4 安濃郡神戸村字木ノ根出土銅鐸拓本（表装のため新規図書登録）

5 野田銅鐸拓本（表装のため新規図書登録）

6 彦岐守宛古文書（表装のため新規図書登録）

B 寄贈資料

なし

(3) 佐川記念神道博物館収集資料(含寄託)

A 購入資料

No.	名称	員数
1	『永正記』(誠心堂書店より)	1点

B 寄贈資料

蘭田守訓様

No.	名称	員数
1	「日本ニュース第47号」16mmフィルム	1点

恵良宏様

No.	名称	員数
1	本居大平和歌懐紙(軸装)	1点
2	足代弘訓和歌(軸装)	1点
3	諸家短冊帳	1点
4	音羽義静歌(短冊軸装)	1点
5	中井喜衛門書状	1点

## 2 受贈図書・図録等

(令和4・4・1～令和5・3・31)

- 大阪歴史博物館より
  - 図録「特別企画展「近代のいんばん手―その意匠と時代背景― 橋本忠之著」
- 大阪府立近つ飛鳥博物館より
  - 図録「大阪府立近つ飛鳥博物館 令和4年度 夏季企画展 献ずる器―横穴式石室を彩るものたち―」
  - 図録「大阪府立近つ飛鳥博物館 令和4年度 秋季企画展 川と道の織りなす河内の交通―大和川と舟橋・国府遺跡―」
- 大谷大学博物館より
  - 図録「大谷大学博物館二〇二二年度特別展「仏法東帰―大仏開眼へのみち―」
- 大鳥大社より
  - 図録「令和の御造替」
- 柏原市立歴史資料館より
  - 『柏原の歴史1 旧石器・弥生時代』
  - 図録「令和3年度春季企画展「聖徳太子の伝説と真実 柏原・王寺・三郷の道と寺」
- 金沢大学資料館より
  - 図録「令和4年度金沢大学資料館特別展「サイエンスイラス トレーションで魅せる古生物学―竜骨群集と鯨骨群集― 首長竜、ウミガメ、クジラの遺骸に群がる生物―」
- 茅野市八ヶ岳総合博物館より
  - 図録「神長官守矢史料館・八ヶ岳総合博物館企画展「御柱祭」
- 関西学院大学博物館より
  - 図録「美術と文芸シリーズ 新収蔵品 洋画家 大森啓助
- 学校法人関西大学より
  - 『学の美化 大学昇格・千里山学会開設100年記念誌』
- 関西大学博物館より
  - パンフレット『2022年度関西大学博物館夏季企画展 関西大学 昇格100年記念事業「関大と刀匠國平」
- 企業史料協議会より
  - リーフレット『東京大学経済図書館創立120年記念「知の継承」
- 京都大学より
  - 『京都大学百二十五年史 通史編』
- 株式会社熊平製作所より
  - 『抜萃のつゞり』その八十二
- 桑名市役所ブランド推進課より
  - 桑名叢書Ⅵ『桑名城下切絵図―文政8年城下絵図による桑名藩士居宅― 藩士居宅』
- 桑名市博物館より
  - 図録「特別企画展「華ひらく近代工芸の美―板谷波山と香取秀真―」
- 京阪奈情報教育出版株式会社より
  - パンフレット『こうなる徳川将軍家 家康と千姫』
- 京阪奈情報教育出版株式会社より
  - 『年がら年中饅頭祭り 奈良と大和の和菓子巡り旅』
- 皇學館大学 佐野真人研究室より
  - 『伊勢神宮宋公刊資料集(文獻篇)』
- 皇學館大学百四十周年記念刊行物編纂委員会より
  - 『皇學館大学百四十周年記念誌「飛躍と発展の十年」』
- 國學院大學研究開発推進機構より
  - 図録「特別展「都の神 やしろとまつり 世界遺産加茂別雷神社の至宝」
- 熱田神宮宝物館より
  - 図録「新春特別展「美術品で初詣―熱田で諸社へも初詣―」
- 安城市歴史博物館より
  - パンフレット「安城市制施行70周年記念企画展「安城太郎 満70歳―安城市のあゆみ―」
  - パンフレット「企画展「勉強っておもしろい?」
- 安城市制施行記念70周年記念特別展「養生から健康へ」
  - 図録「安城市制施行記念70周年記念特別展「養生から健康へ」
- 石川県立歴史博物館より
  - 図録「令和4年度秋季特別展「アトウイ―海と奏でるアイヌ文化」
  - 図録「令和4年度夏期特別展「工芸教育の精華―納富介次郎とデザイン思想―」
- 伊勢市情報戦略局文化政策課より
  - 図録「令和4年度春季特別展「大加州刀展」
  - 図録「大湊の造船と旧市川造船所資料」
- 宇治市歴史資料館より
  - 図録「山地、平野、川とともに池―宇治のくらしと空間―」
- 桜美林学園より
  - 『桜美林学園100年史』図録編
- 大阪公立大学大学史資料室より
  - 大阪市立大学 140周年記念展示室 展示図録「わたしたちの大阪市立大学 大阪の歴史と共に」
- 恒藤記念室叢書9 恒藤恭「市大学長時代日記／講演等レジュメ」(1950・1951年)

- 「資料で見る神道史」神道展示室ガイドブック
- 「神道の祭り」と歴史」
- 「國學院大學研究開発推進機構 校史・学術資産研究センターより」
- 「國學院大學百四十周年記念誌」
- 「大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館より」
- 「国際企画展示「加耶—古代東アジアを生きた、ある王の歴史—」
- 「企画展示「中世武士団—地域に生きた武家の領主—」
- 「古代歴史文化協議会より」
- 「刀剣—武器から読み解く古代社会—」
- 「事任八幡宮古文書調査研究会より」
- 「事任八幡宮資料集」
- 「駒澤大学禅文化歴史博物館より」
- 「駒澤大学禅文化歴史博物館企画展「書でたどる良寛の足跡」
- 「齋宮歴史博物館より」
- 「令和4年度特別展「NARHARA—こにしへの雅び男のものがたり—」
- 「滋賀県立安土城考古博物館より」
- 「令和4年度春季特別展 開館30周年記念「戦国時代の近江・京都—六角氏だってすごかった!!—」
- 「令和4年度秋季特別展 開館30周年記念「里帰り！日本最大の銅鐸—太古の響きを安土の地で—」
- 「第65回企画展「伝教大師最澄と天台宗のあゆみ」
- 「第66回企画展「発掘された近江II—遺跡アラカルト—」
- 「島根県古代文化センターより」
- 「出雲風土記—地図・写本編—」
- 「島根古代文化センター研究報告書57 荒神谷遺跡青銅器群の研究」
- 「島根県古代文化センター研究論集 第27集 山陰における古代交通の研究」
- 「島根古代文化センター研究論集 第28集 中世岩見における在地領主の動向」
- 「島根県立古代出雲歴史博物館より」
- 「出雲と吉備」
- 「開館15周年記念特別展「ハニワの世界へようこそ」
- 「白玉垂枝氏より」
- 「共立女子大学大学院 博士論文「江戸時代歌舞伎衣装の研究—その成立と展開—」
- 「一般財団法人 神道文化会より」
- 「神道文化蔵書47「八紘一字」の社会思想的的研究」
- 「吹田市立博物館より」
- 「開館30周年記念 令和4年度（2022年度）春季特別展「出座と阪本一房—現代人形劇の継承と発展」
- 「令和2年度（2020年度）春季特別展「神崎川展—川湊・吹田のものがたり—」
- 「鈴鹿市教育委員会より」
- 「伊勢国分寺跡史跡指定100周年記念秋季特別展「国分寺」
- 「大東文化歴史資料館より」
- 「大東文化学院のめぐりと」
- 「公益財団法人千葉市教育振興財団より」
- 「パンフレット「令和4年度特別展「遺物から見える地域文化の発達—縄文時代前期後葉—末葉」
- 「中央大学人文科学研究所より」
- 「中央大学人文科学研究所 研究叢書78「キャンパスにおける発達障害学生支援の新たな展開」
- 「中央大学人文科学研究所 研究叢書79「リアリティの哲学」
- 「人文研ブックレット39「歴史の周辺をさまよって—人種、ジェンダー、そして人の移動」
- 「人文研ブックレット40「イエズス会士を仲介とする儒教情報」の啓蒙期欧米への流入と受容」
- 「人文研ブックレット41「移民を背景とする青少年の自己形成—当事者の視点、支援者の視点、研究者の視点—」
- 「知立市歴史民俗資料館より」
- 「令和3年度企画展「レトロな菓の看板—知立にあった菓屋さんから—」
- 「帝京大学総合博物館より」
- 「ザ・公衆衛生！—社会と個人の健康を守る黒衣たち—」
- 「帝京商業学校の物語—帝京のこころはじめ—SINCE1931 帝京商業学校の物語」
- 「天理大学附属天理図書館より」
- 「天理ギャラリー第176回展 中国古典名品展」
- 「学校法人東海大学望星学塾学園史資料センターより」
- 「東海大学資料叢書11「学部・学科の設置目的・趣旨（2）」
- 「東京家政学院 生活文化博物館より」
- 「令和4年度第34回特別展「祈りの形—巳と端午の節句飾り—」
- 「東京経済大学 史料室より」
- 「東京経済大学百二十年史」資料編 第二巻
- 「徳島県立近代美術館より」
- 「令和4年度ユニバーサルミュージアム展開事業報告冊子」解説冊子「特別展「カミのかたち」

●東北大学東北アジア研究センターより

『東北大学東北アジア研究センター叢書 第72号「仙台藩宿老後藤家文書―由緒・職務・武芸―」

●公益財団法人徳川黎明会・徳川林政史研究所より

『金鏡叢書 第四十九輯 ―史学美術史論文集―』

『林正史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化5 森林利用の秩序と御山守・村』

『内木家文書 宝暦一三年「御山方御用并諸事日記」

●内藤記念くすり博物館より

図録『2022年度企画展 ウイルスの世界へ発見から2021年新型コロナウイルス』

●名古屋大学 大学文書資料室より

『名古屋大学の歴史 1871～2019』上下巻

●独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所より

『奈文研論叢』第3号

『奈良文化財研究所七十年の軌跡 創立七十周年記念誌』

●独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館より

図録『令和4年度秋季特別展「飛鳥美人 高松塚古墳の魅力」

カタログ『飛鳥の考古学二〇二二』

●南山アーカイブズより

『南山学園史料集16 回想の南山大学瀬戸キャンパス』

●独立行政法人 日本芸術文化復興会 日本博事務局より

『令和3年度「日本博」開催に係る効果検証報告書』

●日本大学企画広報部広報課（大学史編集部）より

『大学史展示記録 2015～2021』

●三重県総合博物館 MieMuより

図録『第31回企画展「集まれ！三重のクジラとイルカたち」

図録『第32回企画展「三重の円空」

●宮崎県立西都原考古博物館より

図録『令和4年度特別展 飛び道具の技術文化史～旧石器時代から西南戦争まで～』

●明治神宮社務所より

『明治神宮100年の森で未来を語る Mの森連続フォーラム全記録』

●公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館より

『令和版 本居宣長の不思議』

パンフレット『国史跡指定100年・宣長再発見「宣長さがし」』

●森田成男氏より

『定本 ホツマツタエー日本書紀・古事記との対比』

●八坂神社より

『八坂神社日記 万寛日記I（明治六年～安永六年）』

●吉村昭記念文学館より

図録『吉村昭「高熱隧道」―黒部の難工事を描く―』

解説パンフレット『翻訳されたYOSHIMURA文学』

●四日市市立博物館より

図録『画で見る四日市港の歩み』

●立教学院展示館より

図録『大学認可100周年記念展 立教学院展示館・第8回企画展「立教大学の誕生」』

●立正大学史料編集部より

『写真で見る立正大学の150年』

## B 購入図書

### a 神道研究所

『神社新報縮刷版 令和3年』（神社新報社）、伊藤聡編『寺院文献資料学の新展開』第10巻（臨川書店）、西宮秀紀『伊勢神宮と斎宮』（岩波書店）、『日本書紀（尊經閣善本影印集成）』（八木書店）、『皇室制度史料へ儀制大嘗祭1』（財団法人菊葉文化協会）、穂積裕昌『大嘗祭の考古学』（雄山閣）、海野聡『日本建築史講義～木造建築がひもとく技術と社会』（学芸出版社）、『国宝岩崎本日本書紀～京都国立博物館所蔵～』（勉誠出版）

### b 史料編纂所（受入順）

廣岡義隆『風土記考説』、門田誠一著『出土文字資料と宗教文化（佛教大学研究叢書43）』、鉄野昌弘、奥村和美編『萬葉集研究第41集』、関口裕子著『日本古代社会の研究』、松本政春著『律令国家軍制の構想と展開』、井上直樹著『高句麗の史的展開過程と東アジア』、吉村武彦著『日本古代の政事と社会』、井上正望著『日本古代天皇の変質 中世的天皇の形成過程』、東京大学東洋文化研究所編『アジアの文化と社会1（東洋文化研究所紀要 第116冊、第117冊、第118冊）』、東京大学東洋文化研究所編『アジアの文化と社会2（東洋文化研究所紀要 第116冊、第117冊、第118冊）』、東京大学東洋文化研究所編『アジアの文化と社会3（東洋文化研究所紀要 第116冊、第117冊、第118冊）』、追手門学院大学東洋文化學會編『アジアの歴史と文化 阿頼耶順宏・伊原澤周兩先生退休記念論集』、森浩一著『海を渡った人びと（図説日本の古代 第1巻）』、森浩一著『木と土と石の文化 旧石器時代～縄文時代後期（図説日本の古代 第2巻）』、森浩

- 一著『コメと金属の時代 縄文時代晩期～弥生時代』(図説日本の古代 第3巻)、森浩一著『諸王権の造型 古墳時代』(図説日本の古代 第4巻)、森浩一著『古墳から伽藍へ 古墳時代～飛鳥時代』(図説日本の古代 第5巻)、森浩一著『文字と都と駅 奈良時代～平安時代初期』(図説日本の古代 第6巻)、東京大学国語研究室編／宮沢俊雄解題・峰岸明解題『東京大学国語研究室資料叢書13倭名類聚抄』(東京大学国語研究室資料叢書)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.1』(1973・74)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.2』(1973・74)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.3』(1974・76)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.4』(1974・77)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.5』(1975・78)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.6』(1976・79)、東洋陶磁学会編『東洋陶磁Vol.7』(1977・81)、周到・呂品・汤文興編『河南漢代画像磚』、張方夫編『漢畫選』、郭福祥著『明清帝后璽印』、鳥根県古代文化センター編『出雲国風土記地図・写本編』、吉村武彦編『律令制国家の理念と実像』、関根淳著『日本古代史書研究』、落合淳思著『漢字字形史字典』、教育漢字対応版、張丹阳著『唐代教坊考論』、山崎誠編『印刷自筆本重要文化財塵袋とその研究上』、山崎誠編『印刷自筆本重要文化財塵袋とその研究下』、山下龍二教授退官記念論集刊行会編『中國學論集 山下龍二教授退官記念』、多田一臣著『古代文学の世界像』、刘玉刚主编『中华字海』、劉雨珍、孫雪梅編『日本政法考察記(晚清東遊日記彙編)』、蔡毅著『中国陶器真偽識別』、丁孟著『中国青銅器真偽識別』、日本書紀研究会編『日本書紀研究第34冊』、馬淵和夫著『和名類聚抄古写本・声点本本文および索引』、長野一雄著『古代説話の文学的研究』、王夢鷗撰『漢簡文字類編』、張守中選集／蔡敏責任編輯『包山楚簡文字編』、范忠信主編『法治中国化研究第一輯』、范忠信主編『法治中国化争鳴』、范忠信ほか著『楓橋經驗 予法治型新農村建設』、中國國家畫院書法篆刻院主編『好太王碑(傳世經典書法碑帖)』、梅原末治著『漢以前の古鏡の研究』、梅原末治著『漢三國六朝紀年鏡図説』、梅原末治著『紹興古鏡聚英』、梅原末治著『支那漢代紀年銘漆器図説』、梅原末治著『秦鏡と漢六朝鏡(古鏡聚英上篇)』、梅原末治著『隋唐鏡より和鏡(古鏡聚英下篇)』、浦間茶臼山古墳発掘調査団編『岡山市浦間茶臼山古墳』、皇室事典編『集委員会編』著『皇室事典』、今村武雄著『小泉信三伝』、ヒレア・ペロック著／中山理訳『ユダヤ人なぜ、摩擦が生まれるのか』、小野和子編著『京大・矢野事件 キャンパス・セクハラ裁判の問うたもの』、徳富猪一郎著／平福百穂畫『山水随縁記』、宗福邦、陳世鏡、于亭主编『古音匯纂』、上田万年他編『大字典普及版』、風土記研究会編『播磨風土記研究』、三間重敏著『まむしの愚痴第1巻』、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本1・2』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本3・4』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本5・6』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本7・8』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本9・10』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本11・12』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本13・14』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本15・16』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本17・18』(古辞書叢刊)、源順撰／古辞書叢刊行会編『和名類聚抄二十卷本19・20』(古辞書叢刊)、草川昇編『五本対照類聚名義抄和訓集成1ア・カ』、草川昇編『五本対照類聚名義抄和訓集成2キ・ク』、草川昇編『五本対照類聚名義抄和訓集成3(チ・ヒ)』、草川昇編『五本対照類聚名義抄和訓集成4(フ・ブ)』、李乃琦著『一切経音義古写本の研究』、天理大学附属天理図書館編『和名類聚抄 高山寺本(新天理図書館善本叢書 第7巻)』、舎人親王編／日本文獻學會編『日本書紀上(日本文獻學會叢刊之1)』、人親王編／日本文獻學會編『日本書紀下(日本文獻學會叢刊之1)』、栄原永遠男著『難波古代史研究(日本史研究叢刊43)』、姫路市文化財保護協会『本町遺跡本文』、姫路市文化財保護協会『本町遺跡図版』、末木文美士著『平安初期仏教思想の研究 安然の思想形成を中心として』、藤堂明保・加納喜光編『学研新漢和字典普及版』、反町茂雄著『修業時代(一古書肆の思い出1)』、反町茂雄著『買(かいひと)』、を待つ者(一古書肆の思い出2)』、反町茂雄著『古典籍の奔流横溢(一古書肆の思い出3)』、反町茂雄著『激流に棹さして(一古書肆の思い出4)』、反町茂雄著『賑わいは夢の如く(一古書肆の思い出5)』、大槻文彦著／山田俊雄他編『稿本日本辞書言海第1巻あ』、大槻文彦著／山田俊雄他編『稿本日本辞書言海第2巻さ』、大槻文彦著／山田俊雄他編『稿本日本辞書言海第3巻に』、大槻文彦著／山田俊雄責任編集『私版日本辞書言海第1冊』、大槻文彦著／山田俊雄責任編集『私版日本辞書言海第2冊』、大槻文彦著／山田俊雄責任編集『私版日本辞書言海第3冊』、大槻文彦著／山田俊雄責任編集『私版日本辞書言海第4冊』、大槻清彦校閲／山田俊雄編『圖録日本辞書言海(稿本日本辞書言海 特別資料)』、大野透著『萬葉假名の研究 古代日本語の表記の研究新訂版』(正)、大野透著『萬葉假名の研究 古代日本語の表記の研究新訂版続』、揖保川町史編纂専門委員会編纂『揖保川町史第1巻本文編1』、揖保川町史編纂専門委員会編纂『揖保川町史第2巻本文編2』、揖保川町史編纂専門委員会編纂『揖保川町史第2巻本文編2付図』、

揖保川町史編纂専門委員会編纂『揖保川町史第2巻別冊』、揖保川町史編纂専門委員会編纂『揖保川町史第3巻史料編』、揖保川町史編纂専門委員会編纂『揖保川町史第3巻付図』、御津町史編纂専門委員会編纂『御津町史第3巻』、御津町史編纂専門委員会編纂『御津町史第3巻付図』、出石町史編纂委員会編『出石町史第1巻通史編上』、養父町史編纂委員会編『養父町史第1巻』、顔俊彦著『盟水齋存牘（中国政法法大学学朮叢書）』、孫殿起輯『琉璃廠小志（北京古籍叢書）』、徐炳主编『黄帝思想与道、理、法研究（轩辕黄帝研究 第1巻）』、及川真学著／山田仁史編『高砂族の咒法及び其他 及川真学の台湾原住民研究』、井ノ口哲也著『入門中国思想史』、新野直吉著『律令古代の東北』、曾我部静雄著『紙幣発達史』、三浦周行者『明治維新と現代支那』、小早川欣吾著『近世民事訴訟制度の研究増補』、布施彌平治著『律令と儒教第1分冊』、神戸新聞出版センター編『兵庫県大百科事典上』、神戸新聞出版センター編『兵庫県大百科事典下』

### 3 受贈雑誌類（令和4・4・1〜令和5・3・31）

●愛知学院大学宗教法制研究所より  
 「宗教法制研究所紀要第63号」『法と宗教をめぐる現代的諸問題（十四）』  
 ●愛知学院大学大学院文学研究科文研会より  
 「愛知学院大学 大学院 文学研究科 文研会紀要」第33号  
 「歴史研究」第68号  
 ●愛知教育大学歴史学会より  
 「愛知大学東亜同文書院大学記念センターより  
 「同文書院記念報」VOL.30

●愛知大学文学部歴史地理学科より  
 「愛大史学 ―日本史学・世界史学・地理学―」第31号  
 ●青山学院大学史学会より  
 「史友」第54号  
 ●青山学院大学文学部史学科研究室より  
 「青山史学」第40号  
 ●秋田大学史学会より  
 「秋大史学」68  
 ●石川県立歴史博物館より  
 「石川県立歴史博物館紀要」第31号  
 ●伊勢神宮崇敬会より  
 「伊勢神宮崇敬会叢書26」  
 ●猪名川町教育委員会より  
 「猪名川町文化財調査報告書12」  
 ●岩手史学会より  
 「岩手史学研究」第102号  
 ●宇治市歴史資料館より  
 「収蔵資料調査報告書24 吉田初三郎関係資料 上」  
 ●浦幌町立博物館より  
 「浦幌町立博物館紀要」第22号  
 「浦幌町立博物館年報」第22号  
 ●叡山学院図書館より  
 「叡山学院研究紀要」第44号  
 「天台學報」第63號  
 ●桜美林学園学園史編纂委員会より  
 「学園史研究」第2号  
 ●公益財団法人大倉精神文化研究所より  
 「大倉山論集」第68輯

●大阪大谷大学博物館より  
 「大阪大谷大学博物館報告書 第69冊」  
 ●大阪大谷大学博物館学芸員課程より  
 「大阪大谷大学博物館学芸員課程年報」VOL.22  
 ●一般財団法人大阪市文化財協会より  
 「大阪市北区 中之島蔵屋敷跡発掘調査報告書IV」  
 「大阪市北区 大深町遺跡発掘調査報告II」  
 「大阪市住吉区 山之内遺跡発掘調査報告書IX」  
 「大阪城跡XX」  
 「大阪市文化財協会研究紀要」第23号  
 ●大阪女学院教育研究センターより  
 「大阪女学院のキリスト教教育」1884―2022  
 ●大阪公立大学研究推進機構・独創研究センター大学史編纂研究所より  
 「大阪府立大学史資料叢書III」  
 「大阪府立大学史資料叢書IV」  
 「大阪府立大学史資料叢書V」  
 「大阪府立大学史資料叢書VI」  
 ●大阪公立大学史資料室より  
 「大阪公立大学史紀要」第1号  
 ●大阪大学大学院文学研究科より  
 「待兼山論叢」第56号  
 ●大阪府立大学人間社会システム科学研究科人間社会学専攻言語文化科学分野より  
 「言語文化科学研究」第17号  
 ●大阪府立近つ飛鳥博物館より  
 「大阪府立近つ飛鳥博物館 館報」25  
 ●大阪歴史博物館より

- 「大阪歴史博物館年報」令和3年度
- 大谷大学真宗総合研究所より
- 「真宗総合研究所研究紀要」第39号
- 「研究所報」第79・80号
- 大手前大学史学研究所より
- 「大手前大学史学研究所紀要」第16号
- お茶の水女子大学文教育学部人文科学科比較歴史学コース内  
読史会より
- 「お茶の水史学」第65号
- 帯広大谷短期大学地域連携推進センター紀要編集委員会より
- 「帯広大谷短期大学地域連携推進センター紀要」第9号
- 帯広大谷短期大学附属図書館より
- 「帯広大谷短期大学紀要」第59号
- 公益社団法人温故学会より
- 「温故叢誌」第76号
- 学習院大学史料館より
- 「学習院大学史料館紀要」第28号
- 神奈川大学資料編纂室より
- 「神奈川大学史紀要」第7・8号
- 「神奈川大学史資料集」第39集
- 神奈川大学法学会より
- 「神奈川法学」第54巻第3号・第55巻第1・2号
- 神奈川大学法学研究所より
- 「研究年報」第36号
- 金沢工業大学日本学研究所より
- 「日本学研究」第24・25号
- 金沢大学資料館より
- 「金沢大学資料館紀要」第17号
- 金沢大学歴史言語文化学系より
- 「金沢大学歴史言語文化学系論集」史学・考古学篇 第14号
- 公益財団法人元興寺文化財研究所より
- 「元興寺文化財研究所 研究報告」2021
- 関西学院大学院史編纂室より
- 「関西学院史紀要」第29号
- 関西学院大学史学会より
- 「関西学院史学」第50号
- 関西学院大学人文学会より
- 「人文論究」第72巻 第1〜4号
- 関西大学史学・地理学会より
- 「史泉」第136・137号
- 神田外語大学日本研究所より
- 「神田外語大学 日本研究所紀要」第14号
- 九州大学大学文書館より
- 「九州大学 大学史料叢書 第28輯」
- 九州龍谷短期大学九州龍谷学会より
- 「九州龍谷短期大学紀要」第69号
- 京都産業大学研究機構（研究支援担当）より
- 「京都産業大学日本文化研究所紀要」第27号
- 「京都産業大学日本文化研究所所報 あふひ・AOI」第28号
- 京都大学大学文書館より
- 「京都大学大学文書館研究紀要」第20号
- 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターより
- 「京都府埋蔵文化財情報」第142・143号
- 京都府京都文化博物館より
- 「京都文化博物館研究紀要 朱雀」第34集
- 近畿大学民俗学研究所より
- 「民俗文化」第34号
- 金光教教学研究所より
- 「金光教教学」第62号
- 太地町立くじらの博物館
- 「令和2年度 年報」
- 宮内庁正倉院事務所より
- 「正倉院紀要」第44号
- 皇學館館友会より
- 「館友」第317〜320号
- 佼成図書館より
- 「中央学術研究所紀要」第51号
- 高知海南史学会より
- 「海南史學」第60号
- 神戸女学院史料室より
- 「学院史料」Vol.35
- 高野山大学密教文化研究所より
- 「高野山大学密教文化研究所紀要」第35号
- 高野山大学密教文化研究所紀要 別冊「弁顯密二教論」の研究
- 國學院大學研究開発推進機構より
- 「國學院大學研究開発推進機構紀要」第15号
- 國學院大學研究開発推進機構校史・学術資産研究センターより
- 「國學院大學 校史・学術資産研究」第15号
- 國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所より
- 「國學院大學研究開発推進機構 日本文化研究所年報」第15号
- 「2021年度国際研究フォーラム」日本の宗教文化を撮る」報告書
- 國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センターより
- 「研究紀要」第17号

- 國學院大學大学院神道学・宗教学専攻学生会より  
「神道研究集録」第37輯
- 國學院大學博物館より  
「國學院大學博物館研究報告」第39輯
- 國學院大學博物館學研究室より  
「國學院大學博物館學紀要」第46・47輯
- 「Musette—國學院大學博物館學研究」第1・2号
- 國學院大學文学部上野誠研究室より  
抜刷「國學院雜誌」第122卷第9号（通卷1373号）  
抜刷「日本文學論究」第81冊  
抜刷「ひらく⑥」
- 国際二宮尊徳思想学会より  
「報徳学」No.16
- 国史学会より  
「國史學」第235～238号
- 学校法人国士館国士館史資料室より  
「国士館史研究年報 楓原」第14号
- 古代學研究会より  
「古代學研究」第233～236号
- 駒澤大學文化歴史博物館より  
「駒澤大學禪文化歴史博物館紀要」第5号（令和2年度）  
「駒澤大學禪文化歴史博物館紀要」第6号（令和3年度）
- 駒澤大學大学院 史学会より  
「史学論集」第52号
- 齋宮歴史博物館より  
「史跡齋宮跡 令和2年度発掘調査概報」  
「齋宮跡発掘調査報告Ⅳ」西加座南区画の調査遺構写真図版編  
「齋宮歴史博物館研究紀要」32
- 滋賀県立安土城考古博物館より  
「年報」令和3年度  
「紀要」第29号
- 滋賀県立琵琶湖文化館より  
「研究紀要」第39号
- 公益財団法人斯文会より  
「斯文」第137号
- 島根県古代文化センターより  
「古代文化研究」第30号
- 島根県立古代出雲歴史博物館より  
「島根県立古代出雲歴史博物館 令和3（2021）年度 年報」  
「Be-Archaeo—科学と伝統のはやま—」
- 種智院大学密教学会より  
「密教學」第58号
- 浄土宗教学部・浄土宗教学院より  
「佛教論叢」第66号  
「佛教文化研究」第66號
- 女子美術大学より  
「女子美術大学研究紀要」第52号
- 神宮司庁より  
「瑞垣」第252～254号
- 神社本庁総合研究所より  
「神社本庁総合研究所紀要」第27号
- 真宗大谷派宗務所教育部より  
「真宗教学研究」第43号
- 神道史學會より  
「神道史研究」第70巻第1號・第2號
- 神道宗教学会より
- 「神道宗教」第266号
- 一般財団法人神道文化会より  
「神道文化」第34号
- 吹田市立博物館より  
「吹田市立博物館館報」22号
- 鈴鹿市教育委員会より  
「鈴鹿市考古博物館年報」第23号
- 鈴屋学会より  
「鈴屋学会報」第39号
- 成城大学常民文化研究会より  
「常民文化」第45・46号
- 成城大学民俗学研究所より  
「民俗学研究所紀要」第46集・第46集別冊
- 西南学院史資料センターより  
「西南学院アーカイヴズ」第1号
- 全国大学史資料協議会東日本部会より  
「研究叢書」第22号
- 専修大学大学史資料室より  
「専修大学史紀要」第14号
- 曹洞宗総合研究センターより  
「曹洞宗総合研究センター紀要」第23回
- 園田学園女子大学近松研究所より  
「近松研究所紀要」第30号
- 大正大学歴史学科博物館学芸員課程より  
「けやき 大正大学学芸員課程年報」第26号（令和3年度）
- 大正大学史學會より  
「鴨台史学」第16・17号
- 大東文化大学東洋研究所より

- 「東洋研究」第224～227号
- 大東文化大学日本文学会より
- 「日本文学研究」第62号
- 大東文化大学百年史編纂委員会より
- 「大東文化大学史研究紀要」第7号
- 大東文化大学歴史文化学会より
- 「大東史學」第4号
- 玉川大学教育博物館より
- 「玉川大学教育博物館 紀要」第19号
- 「玉川大学教育博物館 館報」第20号 2021年度
- 筑紫女学園大学人間文化研究所より
- 「人間文化研究所年報」第33号
- 筑紫女学園大学博物館課程より
- 「博物館実習体験記『学芸員の星たち』」2021年度
- 公益財団法人千葉県教育振興財団より
- 「千葉県教育振興財団文化財センター年報」No.47 令和3年度
- 中央大学人文科学研究所より
- 「中央大学人文科学研究所年報」第43号 2021年
- 「人文研紀要」第101～103号
- 中京大学学芸員課程より
- 「博物館実習報告集」第4号
- 知立市歴史民俗資料館より
- 「知立市歴史民俗資料館年報」令和3年度
- 筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究所
- 「筑波大学大学院人文社会プログラム歴史・人類学サブプログラムより
- 「歴史人類」第51号
- 津市スポーツ文化振興部文化振興課より
- 「津市民文化」第16号
- 津市教育委員会より
- 「津市文化財年報」16
- 「津市埋蔵文化財調査報告書」55
- 鶴岡八幡宮より
- 「季刊悠久」第164・165号
- 帝京大学総合博物館より
- 「帝京大学総合博物館 館報」第4号 2019・2020（令和元・二）年度
- 天理大学年史編纂室より
- 「天理大学史研究紀要」第3号
- 天理大学附属天理参考館より
- 「天理参考館報」第35号
- 天理大学附属天理図書館より
- 「ビブリア」第157・158号
- 東京家政学院生活文化博物館より
- 「東京家政学院生活文化博物館年報」第31号
- 東京大学大学院人文社会科学系研究科・文学部日本史学研究室より
- 「東京大学日本史学研究室紀要」第26号
- 同志社大学同志社社史資料センターより
- 「同志社大学同志社社史資料センター報」第18号
- 「新島研究」第114号
- 「同志社談叢」第43号
- 同志社大学歴史資料館より
- 「同志社大学歴史資料館館報」第25号
- 同朋大学佛教文化研究所より
- 「同朋大学佛教文化研究所紀要」第41号
- 東北史学会より
- 「歴史」第138・139輯
- 東北大学日本学国際共同大学院プログラムより
- 「Precarity in an Inter-connected Northeast Asia」
- 東北大学大学院文学研究科より
- 「東北大学文学研究科研究年報」第71号
- 東北大学大学院文化研究科日本思想史研究室より
- 「日本思想史研究」第54号
- 徳島県立近代美術館より
- 「徳島県立近代美術館年報」令和3年度
- 徳島県立近代美術館研究紀要」第22号
- 公益財団法人鳥取市文化財団鳥取市歴史博物館より
- 「鳥取市歴史博物館 やまびこ館 年報」令和3年度
- 鳥羽水族館より
- 「鳥羽水族館年報」No.18
- 「TOBA SUPER AQUARIUM」No.81・82
- 豊橋市教育委員会より
- 「豊橋市埋蔵文化財調査報告書」第150・154・156・157集
- 虎屋文庫より
- 「和菓子」第29号
- 公益財団法人中富健康科学振興財団より
- CD-ROM「第33回研究助成業績集 令和4年度」
- 名古屋芸能文化会より
- 「名古屋芸能文化」第32号
- 名古屋博物館より
- 「名古屋博物館研究紀要」第45巻
- 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所より
- 「奈良文化財研究所研究報告」第32冊
- 「奈良文化財研究所紀要」2022
- 「独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所概要」

- 南山アークイブズより
- 「アルケイア ―記録・情報・歴史―」第16号
- 南山宗教文化研究所より
- 「南山宗教文化研究所 研究所報」第32号
- 「BULLETIN」No. 46
- 日蓮宗現代所より
- 「現代宗教研究」第56号
- 「教化学研究」第13号へ現代宗教研究 第56号別冊▽
- 新島村教育委員会新島村博物館より
- 「2020年度 新島村博物館年報」
- 一般財団法人日本学協会より
- 「日本」第72巻第4～12号、第73巻第1～3号
- 日本女子大学史学研究会より
- 「史艸」第63号
- 日本女子大学成瀬記念館より
- 「日本女子大学成瀬記念館」2022 No. 37
- 一般社団法人日本私立大学連盟より
- 「大学時報」通巻417～419・421号
- 日本大学企画広報部広報課より
- 「大学史論輯 叢誌」第18号
- 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国際日本文化研究センターより
- 「日本研究」第64・65集
- 「JAPAN REVIEW」36
- 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館より
- 「国立歴史民俗博物館研究報告」第233～237集
- 「国立歴史民俗博物館 要覧」令和4（2022）年度
- 乃木神社中央乃木會より
- 「洗心」第196・197號
- 花園大学博物館学芸員課程より
- 「花園大学博物館学芸員課程報告」第3号
- 兵庫県神社庁より
- 「兵庫神祇」第613～615五号
- 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門より
- 「広島大学埋蔵文化財 調査研究紀要」第13号
- 広島大学文書館より
- 「広島大学文書館蔵 秀敬関係文書目録」
- 「広島大学文書館蔵 内海紀雄関係文書目録」
- 「新井俊一郎オーラル・ヒストリー」
- 「広島大学文書館オーラル・ヒストリー叢書第1集『卒業生証言記録集（一）』」
- 福井県立歴史博物館より
- 「福井県立歴史博物館紀要」第15号
- 伏見稲荷大社より
- 「朱」第66号
- 文化財修理技術保存連盟より
- 「文化財建造物保存技術資料集 積算資料篇」
- 「文化財建造物保存技術資料集 技術資料篇」
- 文化史学会より
- 「文化史学」第78号
- 防衛大学校より
- 「防衛大学校紀要 社会科学分冊」第125輯
- 「防衛大学校紀要 人文科学分冊」第125輯
- 法政大学資格課程より
- 「法政大学資格課程年報」Vol. 11
- 法政大学史学会より
- 「法政史学」第97・98号
- 法政大学大学院 史学会より
- 「法政史論」第49・50号
- 法政大学 HOSEI ミュージアム事務室より
- 「HOSEI ミュージアム紀要」第3号
- 北大史学会より
- 「北大史學」第62号
- 三重県教育委員会社会教育・文化財保護課より
- 「三重県の文化財保護―令和3年度―」
- 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班より
- 「三重県史研究」第38号
- 三重県総合博物館 MieMieより
- 「三重県総合博物館 年報」通巻8号
- 三田史学会より
- 「史學」第90巻第2～4号
- 武蔵学園記念室より
- 「武蔵学園史年報」第24号
- 武蔵大学学芸員課程より
- 「武蔵大学学芸員課程報告書」2022年度 第34号
- 明治学院歴史資料館より
- 「明治学院歴史資料館資料集」第18集
- 明治神宮国際神道文化研究所より
- 「神園」第27・28号
- 明治聖徳記念学会より
- 「明治聖徳記念學會紀要」復刊第59号
- 明治大学学芸員養成課程より
- 「MUSEOLOGIST 2021年度 明治大学学芸員養成課程年報」37

「MUSEUM STUDY 2021年度明治大学学芸員養成課程紀要」33  
●明治大学博物館より

「明治大学博物館+南山大学人類学博物館 合同シンポジウム報告書」2019-2020

●桃山学院史料室より

「桃山学院年史紀要」第41号

「桃山学院の歴史」2022

●公益財団法人モラロジー道德教育財団道德科学研究所より

「モラロジー研究」第89号

●山口県神道史研究会より

「山口県神道史研究」第31号

●郵政考古学会より

「郵政考古紀要」第73-76号

●立教大学史学会より

「史苑」第83巻 第1号

●立正大学史学会より

「立正史学」第131-132号

●立正大学史料編纂室より

「立正大学史紀要」第6号

●立正大学博物館より

「立正大学博物館年報」20

●立正大学博物館学芸員課程より

「立正大学博物館学芸員課程年報」第24号

●学校法人立命館立命館史資料センターより

「立命館史資料センター紀要」第5号

●龍谷史学会より

「龍谷史壇」第154-155号

●龍谷大学文学部博物館実習室より

「2020(令和4)年度 龍谷大学文学部博物館実習報告書」第40号

●和歌山県立文書館より

「和歌山県立文書館紀要」第24号

●早稲田大学史学会より

「史観」第187冊

●早稲田大学社会科学学会より

「早稲田大学社会科学総合研究」第19巻第1号・社会科学部創設50周年記念号合併号

●早稲田大学社会科学総合研究「別冊」2021年度学生論文集

「早稲田大学先端社会科学研究科より」

「ソシオサイエンス」第28号 2022年

●早稲田大学東洋哲學會より

「東洋の思想と宗教」第39號

## B 購入雑誌

### a 神道研究所

一般社団法人儀礼文化学会編「儀礼文化学会紀要」第9・10号

(通巻第50号)、公益財団法人史學會編「史學雜誌」第131編第3号-第12号・第132編 第1-2号、NPO法人社叢学会「社叢

学研究」第21号、日本宗教学会編「宗教研究」403-405号、東洋

哲学研究所編「東洋学術研究」通巻188-189号

### b 史料編纂所

續日本紀研究会編「續日本紀研究」428-431号、条里制・古代都

市研究会編「条里制・古代都市研究」第38号

### C 佐川記念神道博物館

歌舞伎学会編「歌舞伎研究と批評」67、日本展示学会編「展

示学」第64号、公益財団法人日本博物館協会編「博物館研究」

通巻64-65号、「全国博物館園職員録(令和4年)」、「令和4年

度 会員名簿」、文化財保存修復学会編「文化財保存修復学会

誌「古文化財之科学」第65号、文化庁監修「月刊文化財」第

703-715号、企業史料協議会編「企業と史料」第17集、大和文華

館編「大和文華」第141-142号、東京国立博物館編「MUSEUM」

第697-702号

### d 館史編纂

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編「記録と史料」第32号、

日本アーカイブズ学会編「アーカイブズ研究」第36-37号

## 4 受贈社報類(令和4・4・1-令和5・3・31)

●愛知大学東亜同文書院大学記念センターより

「東亜同文書院記念基金会ニュース」第21-22合併号

●青山学院資料センターより

「Aoyama Gakuin Archives Letter 青山学院資料センターだより」26-27号

●秋田大学大学院国際資源学研究所附属鉱業博物館より

「鉱業博物館だより」第21号

●熱田神宮宮庁より

「あつた」274-277号

●熱田神宮宝物館より

「熱田神宮宝物館だより」No.247-252

- 阿倍王子神社より
- 「阿倍王子神社社報」第52号
- 安城市歴史博物館より
- 「れきしみち」No.125～127
- 石川県立歴史博物館より
- 「石川れきはく」No.138～141
- 出雲大社より
- 「幽顕」第1314～1326号
- 伊勢神宮崇敬会より
- 「みもすそ」第102～105号
- 石上神宮より
- 「石上」第64・65号
- 鳥羽市立海の博物館より
- 「海とにげん&SOS」Vol.37～39
- 浦幌町立博物館より
- 「浦幌町立博物館だより」2022（令和4）年4月号
- 追手門学院大学学院志研究室より
- 「学院志研究室ニユーズ・レター」第15号
- 株式会社思文閣出版より
- 「鴨東通信」No.105
- 大阪大谷大学博物館より
- 「博物館だより」No.132・133
- 地方独立行政法人大阪市博物館機構より
- 「OSAKA MUSEUMS」vol.21～24
- 一般財団法人 大阪市文化財協会より
- 「大阪市文化財情報 葦火」204～207号
- 大阪女学院教育研究センターより
- 「News Letter」第22・23号
- 大阪女学院大学国際共生研究所より
- 「大阪女学院大学国際共生研究所通信」第16号
- 大阪公立大学史資料室より
- 「大学史資料室ニュース」第26・27号
- 大阪府神社庁より
- 「あしかひ」第121号
- 大阪府立近つ飛鳥博物館より
- 「アスカディア・古墳の森 大阪府立近つ飛鳥博物館だより」
- Vol.56・57
- 大津市歴史博物館より
- 「大津歴博だより」No.126～129
- 大宮八幡宮より
- 「大宮」第123～125号
- 大山祇神社より
- 「大三島宮」第205～208号
- 岡山県古代吉備文化財センターより
- 「岡山県古代吉備文化財センター 所報吉備」72・73
- 学習院アーカイブズより
- 「学習院アーカイブズ・ニューズレター」第20・21号
- 学習院大学学芸員課程事務室より
- 「学芸員 BULLETIN FOR CURATOR'S COURSE」
- No.26
- 学習院大学史料館より
- 「学習院大学史料館 ミュージアム・レター」No.48・49
- 笠間稲荷神社より
- 社報「胡桃」No.48
- 公益財団法人華山会より
- 「華山会報」第47・48号
- 柏原市立歴史資料館より
- 「柏原市立歴史資料館だより ゴンドラ」No.18・19
- 鹿島神宮より
- 「鹿島神宮社報 要石」第110～112号
- 金沢大学資料館より
- 「金沢大学資料館だより」Vol.66・67
- 関西大学アジア・オープン・リサーチセンターより
- 「KU-ORCAS NEWS LETTER」No.5
- 関西大学文化交渉学研究拠点より
- 「関西大学文化交渉学ニューズレター」No.8
- 関東学院学院史資料室より
- 「関東学院 学院史資料室ニューズ・レター」No.26
- 畿央大学健康科学研究所より
- 「畿央大学健康科学研究所ニューズレター」Vol.12
- 北野天満宮より
- 「天満宮」第31～34号
- 九州大学大学文書館より
- 「九州大学 大学文書館ニューズ」第45号
- 京都国立博物館より
- 「京都国立博物館だより」Vol.214・215・217
- 京都大学 大学文書館より
- 「京都大学 大学文書館だより」第42・43号
- 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターより
- 「もっと知りたい 京都の遺跡」第10・12号
- 熊本県神社庁より
- 「熊本縣神社廳報」第169号
- 熊野本宮大社より
- 「熊野本宮大社々報 みくまの」第52号

- 学校法人皇學館企画部より
- 「皇學館学園報」第92・93号
- 皇學館大学教育開発センター
- 「News Letter」Vol.02・03
- 皇學館大学国文学会より
- 「皇學館大学国文学会会報」第51号
- 高知県立高知城歴史博物館より
- 「城博ニュース」Vol.17・18
- 國學院大學より
- 「國學院大學学報」No.711～721
- 國學院大學研究開発推進機構より
- 「國學院大學研究開発推進機構 機構ニュース」(通号) No.31・32
- 國學院大學研究開発推進機構 校史・学術資産研究センターより
- 「校史」Vol.33
- 斎宮歴史博物館より
- 「斎宮歴史博物館だより」No.89・90
- 寒川神社より
- 「相模」第528～531号
- 猿田彦神社より
- 「みちひらき」第116・117号
- 滋賀県立安土城考古博物館より
- 「おおてみち」第119～123号
- 公益財団法人斯文会より
- 「斯文會、報」Vol.87
- 士別神社より
- 「つくも山」第203号
- 高根県立古代出雲歴史博物館より
- 「島根県立古代出雲歴史博物館れきはくNEWS」Vol.55
- 女子美術大学歴史資料室より
- 「女子美術大学歴史資料室 ニュースレター TEXNH MAKPA (テクネ・マクラ)」第15・16号
- 白山比咩神社より
- 「白山さん」第428号
- 神社本庁より
- 「月刊 若木」第876号
- 「月刊 若木」第876号附録
- 神道政治連盟北海道本部より
- 「神道政治連盟北海道本部だより」第40号
- 吹田市立博物館より
- 「博物館だより」No.88・93
- 成城大学民俗学研究所より
- 「民俗学研究所ニュース」No.136～139
- 西南学院史資料センターより
- 「西南学院史資料センター通信 一粒の麦」No.6
- 公益財団法人 石水博物館より
- 「石水博物館だより」第21号
- 摂播歴史研究会より
- 「摂播歴史研究」第88～90号
- 曹洞宗総合研究センターより
- 「曹洞宗総合研究センター報」2021～2022
- 公益財団法人 大学基準協会より
- 「じゅあ」第68・69号
- 大東文化大学東洋研究所より
- 「大東文化大学 東洋研究所所報」No.77・78
- 大東文化歴史資料館より
- 「大東文化歴史資料館 ニュースレター Ex Oriente」第32・33号
- 太平山三吉神社総本宮より
- 「三吉」174～177号
- 多気町郷土資料館より
- 「多気町郷土資料館だより 悠」103～105号
- 竹駒神社より
- 「すいとく(穂徳)」第813・816～824号
- 玉川大学教育博物館より
- 「博物館ニュース SHU」No.58・59
- 公益財団法人千葉県教育振興財団より
- 「房総の文化財」VOL.61
- 伊勢国一の宮椿大神社より
- 「つばき」第526～537号
- 鶴岡八幡宮より
- 「鶴岳」No.135
- 帝国データバンク史料館より
- 「帝国データバンク史料館だより Muse」第41・42号
- 東海大学学術史資料センターより
- 「東海大学学術史ニュース」No.17
- 東京国立博物館より
- 「東京国立博物館 ニュース」第770号
- 公益財団法人東京都歴史文化財団東京都江戸東京博物館より
- 「江戸東京博物館 NEWS」Vol.116・117
- 東京都神社庁より
- 「東神」No.1016～1027
- 東京大学 文書館より

- 「東京大学文書館ニュース」第68～70号
- 同朋大学佛教文化研究所より
- 同朋大学佛教文化研究所報」第35号
- 東北大学史料館より
- 東北大学史料館だより」第37号
- 東北大学東北アジア研究センターより
- 東北大学東北アジア研究センター「ニューズレター」第92～95号
- 東洋英和女学院史料室委員会より
- 「史料室だより」No.98・99
- 公益財団法人遠山記念館より
- 「遠山記念館だより」第62～64号
- 常磐神社より
- 「景仰」第69・70号
- 徳川美術館より
- 徳川美術館だより 葵」第123～125号
- 富山大学アーカイブズ事務局より
- 「富山大学アーカイブズ・ニューズレター」第9号
- 「富山大学歴史マップ」第6版
- 長田神社より
- 「長田神社社報 おついたち」第114・115号
- 名古屋博物館より
- 「名古屋博物館だより」Vol.233～235
- 奈良国立博物館より
- 奈良国立博物館だより」第121～124号
- 奈良県立民俗博物館より
- 「奈良県立民俗博物館だより」通巻第113号
- 南山アーカイブズより
- 「南山アーカイブズニュース」第14号
- 西宮神社より
- 「西宮えびす」通巻第57・58号
- 日本大学企画広報部広報課（大学史編纂）より
- 「日本大学史ニュース」第23・24号
- 日本伝統建築技術保存会より
- 「日本伝統建築技術保存会」第41号
- 箱根神社より
- 「箱根」通巻286～289号
- 公益財団法人芭蕉翁顕彰会より
- 「顕彰芭蕉翁」第91～93号
- 花園神社より
- 「花園神社社報 花その」第325・327・329号
- 兵庫県神社庁神戸市支部より
- 「神戸神祇」第77号
- 兵庫県立考古博物館より
- 「兵庫県立考古博物館NEWS」vol.30・31
- 広島護國神社より
- 「ひろしま護國」第72号
- 広島大学文書館より
- 「広島大学文書館だより」第1号
- 福岡女学院資料室より
- 「福岡女学院資料室ジャーナル」Vol.3
- 法華コモンズ仏教学林より
- 「法華コモンズ通信」第9・10号
- 北海道神社庁より
- 「教化ニュース」第154・156～160号
- 「北海道神社庁報」第1266～1277号
- 北海道大学150年史編集準備室より
- 「北海道大学150年史編集集ニュース」第8・9号
- 松尾大社より
- 「社報 まつのを」第45～47号
- NPO法人松阪歴史文化舎より
- 「まつさか歴史文化かわら版」No.14～16
- 三重県総合博物館 MeMuより
- 「みえんしす」37～40号
- 三重県立美術館より
- 「三重県立美術館ニュース HILL WIND」50
- 三嶋大社より
- 「お明神さま」第246～249号
- 三峯神社より
- 「みつみ祢山」第256～259号
- 湊川神社より
- 「湊川神社社報 あ、楠公さん」第15号
- 宗像大社より
- 「むなかた」第735～746号
- 明治学院歴史資料館より
- 「明治学院歴史資料館News Letter」No.13
- 公益財団法人鈴屋遺蹟保存会本居官長記念館より
- 「ふみの森探検隊 通信」第42～46号
- 元離宮二条城事務所より
- 「きょうと市民しんぶん」第968号
- 森と水の源流館より
- 「ひとめぐり かわかみ」創刊号
- 靖國神社より
- 「靖國」第801～812号

●彌彦神社より

「いやひ」第308～310号

●山形県神社庁より

「山形県神社廳廳報」第146・147号

●山梨大学地域人材育成センター／男女共同参画推進室より

「News Letter」Vol.7・9・10

●吉村昭記念文学館より

「吉村昭記念文学館ニュース 万年筆の旅」Vol.18・19

●立正大学史料編纂室より

「立正大学史料編纂室の葉」第8号

●立命館大学国際平和ミュージアムより

「立命館大学国際平和ミュージアムだより」通巻87・88号

●立命館大学文学部より

「学芸員NEWS LETTER」第35号

●和歌山県立文書館より

「和歌山県立文書館だより」第61・62号

●早稲田システム開発株式会社より

「MAPPS Press」No.18・19

「MUSEUM INTERVIEW」case 174～194

「デジタルアーカイブ CASE STUDY」21・22

## b 史料編纂所

c 佐川記念神道博物館

企業史料協議会発行「企業史料協議会ニュースレター」No.178～181

## d 館史編纂

全国大学史資料協議会西日本部会発行「全国大学史資料協議会西日本部会会報」No.38、全国大学史資料協議会東日本部会発行「全国大学史資料協議会東日本部会会報」大学アーカイヴズ」No.66～68

## B 購入社報類

### a 神道研究所

一般社団法人儀礼文化学会発行「儀礼文化ニュース」226～229号、NPO法人社叢学会発行「鎮守の森だより NPO法人社叢学会ニュース」第117～122号、株式会社中外日報社発行「中外日報」第二八七六一～二八八五五号、神社新報第三五八二～三六二八号

## X 活動記録(令和4・4・1～令和5・3・31)

- 令和4年4月1日 第1回研究開発推進センター打合せ
- 佐川記念神道博物館 本学学生・教職員(学内者) 対象に開館
- 4日 皇學館大学入学式(式典中止・新入生には祝辞を書面配布)
- 5日 中部電気保安協会 点検
- 日本オーチス・エレベータ(株) 点検
- 6日 博物館特別清掃
- 7日 セコム(株) 玄関モニター点検
- 11日 受託研究打合せ
- 13日 第2回研究開発推進センター打合せ
- 14日 セコム(株) トマホーク点検
- 15日 佐野副センター長・准教授出張
- 18日 展示替えの為、博物館休館(～29日)
- 20日 浦野学芸員・助教、小林学芸員・助教出張
- 21日 中部資料(株) 1回目害虫調査トラップ設置
- 27日 外部研究資金使用ハンドブック説明会
- 第57回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会
- 中部資料(株) 1回目博物館収蔵庫内殺虫作業館内衛生害虫  
駆除及び館外周害虫駆除作業
- 30日 皇學館大学創立百四十周年・再興六十周年記念式典
- 佐川記念神道博物館 一般見学者(学外者)の入館緩和
- 5月2日 皇學館大学創立140周年・再興60周年記念展示開催
- 「伊勢と皇學館の百四十年」(～8月31日)
- 4日 佐川記念神道博物館見学
- 6日 〔長谷川怜先生と学生10名〕  
佐川記念神道博物館見学
- 〔長谷川怜先生と学生8名〕  
中部資料(株) 収蔵庫調査
- 10日 ダイワ空調設備(株) 空調保守点検
- 11日 佐川記念神道博物館見学
- 〔長谷川怜先生と学生10名〕  
佐川記念神道博物館見学
- 12日 〔川村一代先生、玉田貴裕先生と学生16名〕  
中部資料(株) 1回目害虫調査トラップ回収と打合せ
- 14日 佐川記念神道博物館見学
- 〔夢の会より15名〕  
橋村文書調査
- 15日 日本オーチス・エレベータ(株) 点検
- 16日 第3回研究開発推進センター打合せ
- 18日 佐川記念神道博物館見学
- 〔大島信生先生と学生9名〕  
浦野学芸員・助教、小林学芸員・助教出張
- 19日 佐川記念神道博物館見学
- 〔豊住誠先生、クリストファー・メイヨー先生と学生15名〕  
〔館友2期生16名〕
- 20日 第一法規(株) 追録替え作業
- 21日 徴古館実習(～5月22日)
- 23日 佐川記念神道博物館見学

〔荘内神社より石原権禰宣〕

25日 第1回研究開発推進センター部門調整会議

第58回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会

佐川記念神道博物館見学

〔多田實道先生、堀内淳一先生と学生20名〕

26日 佐川記念神道博物館見学

〔長谷川怜先生と学生8名〕

30日 佐川記念神道博物館見学

〔天理教幅下大教会より25名〕

6月1日 佐川記念神道博物館見学

〔松浦光修先生、岡野友彦先生と学生19名〕

〔鶴沼憲晴先生、大井智香子先生、瓜田理子先生と学生24名〕

〔高橋摩衣子先生と学生7名〕

2日 佐川記念神道博物館見学

〔志摩市立磯部中学校より84名〕

3日 中部電気保安協会 点検

4日 中部資材(株) 収蔵庫調査

5日 荊木教授 出張(6日)

7日 日本オーチス・エレベータ(株) 点検

8日 佐川記念神道博物館見学

〔遠藤慶太先生、谷口裕信先生と学生21名〕

〔関根薫先生、村上政俊先生と学生17名〕

〔中野一茂先生と学生9名〕

10日 (株)朝日新聞社 貞明皇后フィルム取材

11日 史料編纂所 古文書講座

〔古代文書を読む①〕

講師 当センター・教授 荊木美行

12日 オープンキャンパス(神道博物館臨時開館)

展示案内実習①

15日 第4回研究開発推進センター打合せ

16日 中部資材(株) 害虫調査確認作業

19日 梱包実習(初級)

20日 研究教育業績システム改修打合せ

22日 第1回大学紀要編集部会

佐川記念神道博物館見学

〔谷戸佑紀先生と学生11名〕

26日 拓本実習

29日 大島センター長・教授、浦野学芸員・助教、小林学芸員・

助教、浅井事務長出張

三重県総合博物館との連絡推進会議

第59回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会

7月1日 (株)中日新聞社取材

3日 橋村文書調査

5日 日本オーチス・エレベータ(株) 点検

6日 セコム(株) トマホーク点検

7日 神道研究所 公開学術講演会

演題 「幕末の水戸学…敬神と崇儒のあいだ」

講師 金城学院大学教授 桐原健真 氏

佐川記念神道博物館見学

〔芳賀康朗先生、栗野理恵子先生と学生16名〕

- 8日 佐川記念神道博物館見学  
〔教育学科1年生の学生217名〕
- 10日 オープンキャンパス（神道博物館臨時開館）  
展示案内実習②
- 13日 第5回研究開発推進センター打合せ  
科研費「研究計画調査」書き方説明会
- 14日 中部資材(株) 館内衛生害虫駆除及び館外害虫駆除作業
- 16日 史料編纂所 古文書講座  
「古代文書を読む②」  
講師 当センター教授 荊木美行
- 17日 梱包実習（上級）
- 24日 橋村文書調査
- 27日 第2回「人を対象とする研究」倫理審査委員会  
第60回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会  
ナカシヤタリエイテブ(株) 鈴木重胤資料引渡し  
デジタルアーカイブ打合せ
- 30日 橋村墓石調査打合せ
- 31日 神道博物館 夏休み親子教室①  
「はんこを作ろう！」
- 8月2日 佐川記念神道博物館見学  
〔高田学苑高田高等学校より57名〕  
ダイワ空調設備(株) 点検
- 3日 佐川記念神道博物館見学  
〔渡邊毅先生と学生10名〕  
中部資材(株) 博物館収蔵庫内殺虫作業及び2回目害虫調査
- 4日 皇學館大学学生テレビ局博物館撮影  
トラップ設置
- 5日 中部電気保安協会 点検  
神道研究所 夏休み子ども講座  
「皇室・神宮のおはなし」  
講師 当センター副センター長・准教授 佐野真人  
「神社ってなあに？」
- 6日 講師 当センター助教 塩川哲朗  
オープンキャンパス（神道博物館臨時開館）  
展示案内実習③
- 7日 オープンキャンパス（神道博物館臨時開館）
- 8日 神道博物館 夏休み親子教室②  
「モールズ信号体験！」  
塩川助教出張
- 9日 佐野副センター長・准教授出張
- 17日 日本オーチス・エレベータ(株) 点検
- 19日 中部資材(株) 2回目害虫調査トラップ回収
- 27日 佐川記念神道博物館見学  
〔夢の会より49名〕
- 28日 佐野副センター長・准教授出張（～29日）  
塩川助教出張（～30日）
- 31日 皇學館大学創立140周年・再興60周年記念展示  
〔伊勢と皇學館の百四十年〕（最終日）  
皇學館大学学生テレビ局展示撮影
- 9月1日 皇學館大学学生テレビ局展示撮影
- 2日 第6回研究開発推進センター打合せ

5日	神道博物館施設内点検の為、臨時休館（～令和5年2月2日）	5日	ケント大学ワークショップ打合せ
	消防法令設備点検	6日	佐川記念神道博物館見学
6日	日本オーチス・エレベータ(株) 点検		〔愛知県立津島高等学校PTA27名〕
7日	デジタルアーカイブ打合せ	9日	橋村文書調査
	研究教育業績システム打合せ	10日	塩川助教出張（～12日）
9日	第1展示室改修工事	11日	神道博物館玄関屋根改修工事
10日	史料編纂所 公開講座演題	13日	ケント大学ワークショップ打合せ
	演題 「東海の大形盟主墳の被葬者について		中部資料(株) 打合せ
	―特に美濃・昼飯大塚古墳の被葬者をめぐって―	14日	中部電気保安協会 点検
	講師 元福井県埋蔵文化財センター所長 中司照世 氏	19日	第8回研究開発推進センター打合せ
11日	橋村文書調査	20日	ケント大学ワークショップ
12日	小林学芸員・助教出張		セコム(株) トマホーク点検
13日	研究教育業績システム打合せ	26日	第62回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会
21日	第7回研究開発推進センター打合せ	29日	倉陵祭(学内限定開催)（～30日）
22日	中部資料(株) 燻蒸打合せ		オープンキャンパス(神道博物館臨時開館)（～30日）
25日	橋村文書調査	11月1日	神道博物館教養講座第1回オンデマンド配信開始（～20日）
	中部資料(株) 第1収蔵庫ブンガノン燻蒸作業		第一法規(株) 追録替え作業
28日	第2回研究開発推進センター部門調整会議	6日	日本オーチス・エレベータ(株) 点検
	第61回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会	9日	刀剣実習
30日	佐野副センター長・准教授出張		第9回研究開発推進センター打合せ
	塩川助教出張（～10月2日）		中部資料(株) 打合せ
10月4日	佐川記念神道博物館見学		ダイワ空調設備(株) 空調保守点検
	〔皇學館中学校より27名〕	13日	実測実習
	〔志摩市立大王中学校より35名〕	14日	荊木教授出張（～15日）
	日本オーチス・エレベータ(株) 点検	16日	第3回研究開発推進センター部門調整会議

- 17日 佐野副センター長・准教授出張（～18日）  
 20日 塩川助教出張（～22日）  
 23日 佐野副センター長・准教授出張  
 27日 佐野副センター長・准教授出張  
 30日 大島センター長・教授、浦野学芸員・助教、小林学芸員・助教出張  
 三重県総合博物館との連絡推進会議  
 第63回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会  
 12月1日 神道博物館教養講座第2回オンデマンド配信開始（～20日）  
 3日 史料編纂所 古文書講座  
 「中近世文書を読む①」  
 講師 当センター学芸員・助教 小林郁  
 5日 浦野学芸員・助教出張、小林学芸員・助教出張  
 6日 塩川助教出張（～7日）  
 日本オーチス・エレベータ(株) 点検  
 7日 第2回大学紀要編集部会  
 中部電気保安協会 点検  
 10日 史料編纂所古文書講座  
 「中近世文書を読む②」  
 講師 当センター教授 荊木美行（代講）  
 14日 第10回研究開発推進センター打合せ  
 16日 小林学芸員・助教出張  
 17日 神道研究所 公開学術シンポジウム  
 主題 「神道と行法―神と人とを結ぶ「行」のありかたをめぐって」  
 講師 津城寛文氏（筑波大学名誉教授）  
 田井健治氏（結城神社権禰宜・本学非常勤講師）  
 新田恵三（本学文学部助手・本センター共同研究員）  
 並木秀子氏（国際基督教大学非常勤講師・同大キリスト教と文化研究所研究員）  
 21日 第64回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会  
 ダイワ空調設備(株) 空調保守点検  
 22日 ナカシヤクリエイテブ(株) 打合せ  
 25日 橋村文書調査  
 27日 ジャパンエレベーターサービズ東海(株) 点検  
 1月11日 第11回研究開発推進センター打合せ  
 12日 中部資材(株) 打合せ  
 16日 セコム(株) トマホーク点検  
 18日 第65回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会  
 佐川記念神道博物館見学  
 21日 「高野山大学より14名」  
 塩川助教出張（～25日）  
 小林学芸員・助教出張  
 27日 佐川記念神道博物館見学  
 「和歌山県神社庁より19名」  
 中部資材(株) 打合せ  
 2月1日 神道博物館教養講座第3回オンデマンド配信開始（～20日）  
 2日 佐野副センター長・准教授出張（～3日）  
 3日 神道博物館 被覆燻蒸（～5日）

- 燻蒸及び展示復旧の為、神道博物館臨時休館（～2月12日）
- 7日 佐川記念神道博物館見学  
〔志摩市立文岡中学校より127名〕
- 8日 第12回研究開発推進センター打合せ  
第4回研究開発推進センター部門調整会議
- 10日 西井写真事務所 資料撮影
- 12日 橋村文書調査
- 15日 佐野副センター長・准教授出張（～17日）  
中部電気保安協会 点検
- 20日 塩川助教出張（～21日）
- 21日 臨時研究開発推進センター打合せ
- 22日 佐川記念神道博物館見学  
〔伊勢〕と日本スタディプログラム受講者13名〕
- 24日 ジャパンエレベーターサービス東海㈱ 点検  
消防設備法令点検
- 27日 橋村資料調査
- 3月1日 神道博物館教養講座第4回オンデマンド配信開始（～20日）  
西井写真事務所 資料撮影
- 3日 第13回研究開発推進センター打合せ
- 4日 佐野副センター長・准教授出張（～6日）  
西井写真事務所 資料撮影  
橋村文書調査
- 6日 荊木教授出張（～7日）  
第一法規㈱ 追録替え作業
- 8日 第3回「人を対象とする研究」倫理審査委員会
- 9日 ジャパンエレベーターサービス東海㈱ 点検
- 10日 佐川記念神道博物館見学  
〔豊国神社 吉田宮司 他3名〕
- 11日 ナカシヤクリエイテブ㈱ 鈴木重胤資料返却・データ納品  
塩川助教出張（～13日）  
佐川記念神道博物館見学  
〔階位検定講習会受講者22名〕
- 15日 第14回研究開発推進センター打合せ
- 21日 皇學館大学卒業式
- 22日 第66回「古代伊勢神宮に関する基本文献の総合的研究」研究会  
中部資材㈱ 打合せ
- 23日 ㈱ぎょうせい 追録替え作業
- 24日 荊木教授出張（～25日）
- 25日 オープンキャンパス
- 28日 浦野学芸員・助教出張
- 29日 佐川記念神道博物館見学  
〔株式会社宮忠より7名〕

神道研究所：学術講演会



講演会の風景



講演中の桐原健真氏  
(金城学院大学 教授)



神道研究所：夏休みこども講座



「皇室・神宮のおはなし」  
講師 佐野真人



「神社ってなあに？」  
講師 塩川哲朗

神道研究所：シンポジウム



司会の 中山郁  
(本学文学部教授・本センター共同研究員)



基調講演 津城寛文氏  
(筑波大学名誉教授)



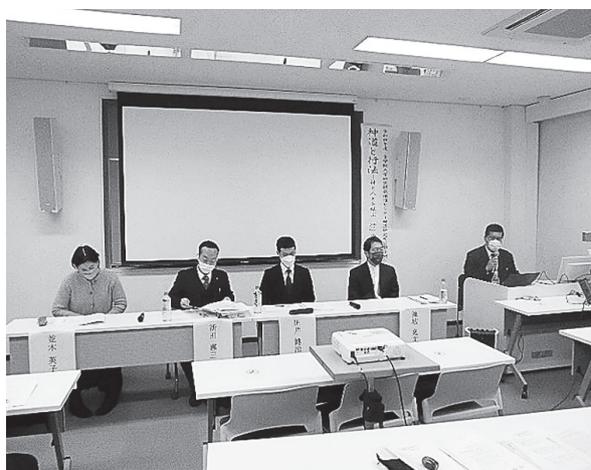
研究報告 田井健治氏  
(結城神社権禰宜・本学非常勤講師)



研究報告 新田恵三  
(本学文学部助手・本センター共同研究員)



研究報告 並木英子氏  
(国際基督教大学非常勤講師・  
同大キリスト教と文化研究所研究員)



シンポジウム風景 (討論中)

史料編纂所：公開講座

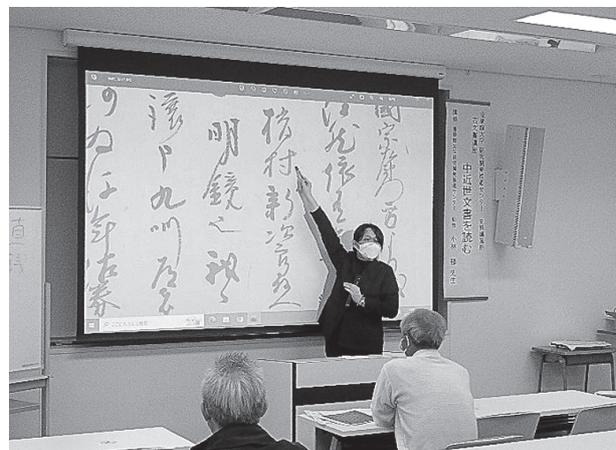


講演中の 中司照世 氏  
(元福井県埋蔵文化財センター所長)



「古代文書を読む」  
講師 荊木美行

史料編纂所：古文書講座



「中近世文書を読む」  
講師 小林郁

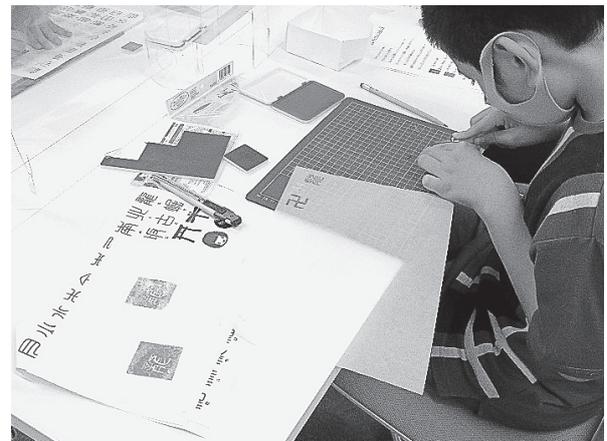
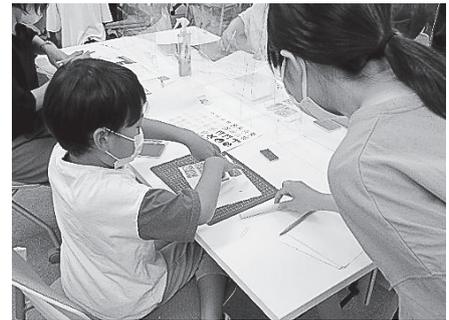
神道博物館：夏休み親子教室①  
「オリジナルはんこを作ろう！」



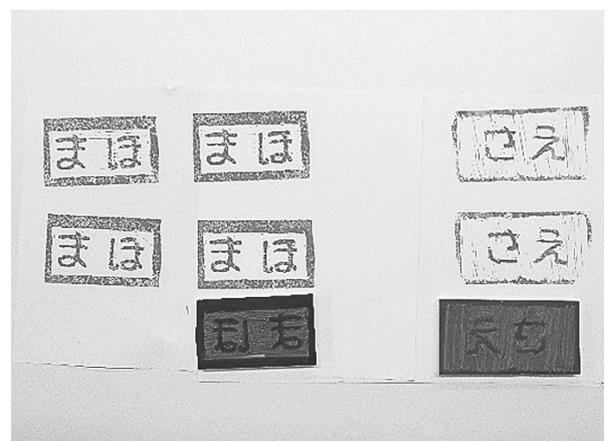
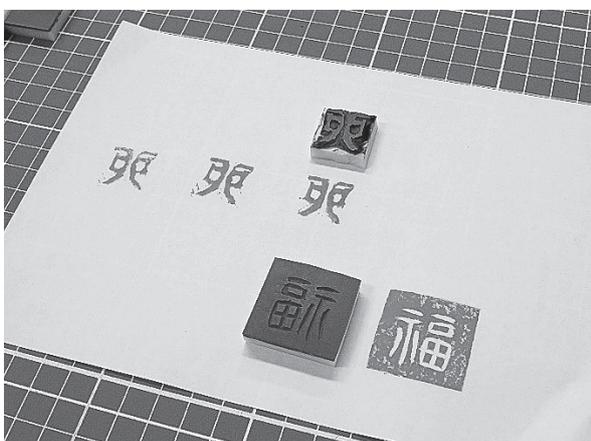
はんこの歴史を解説する学生



学生が教えながら作業を進めます



彫刻刀に気をつけて作成中

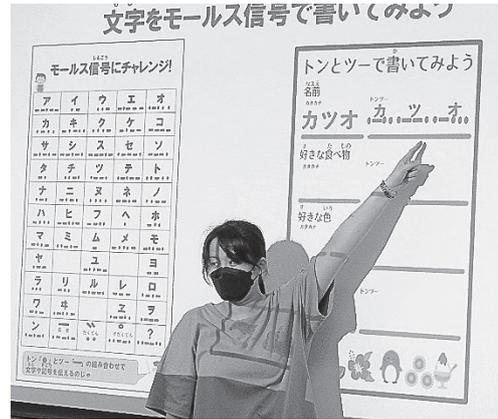


完成したはんこ

神道博物館 夏休み親子教室②  
「モールス信号体験！」



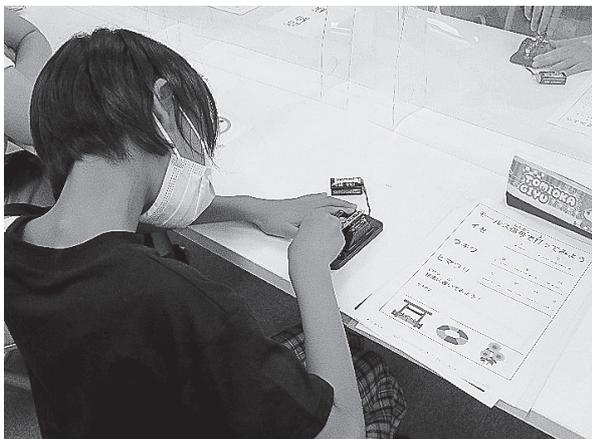
モールス信号について説明する学生



トンツーツの説明をする小林先生



トンとツーツで書いてみよう



モールス信号で打ってみよう

◇利用案内

神道研究所

《資料の閲覧》図書・史・資料の閲覧については、事前に定められた所定の手続きが必要ですので、事務室に申し出て下さい。

《閲覧時間》平日 9時30分～12時30分、13時30分～16時50分

土曜 9時30分～12時30分

※大学休業日は除く

《閲覧場所》佐川記念神道博物館内 研究開発推進センター事務室

史料編纂所

《資料の閲覧》図書・史・資料の閲覧については、事前に定められた所定の手続きが必要ですので、事務室に申し出て下さい。

《閲覧時間》平日 9時30分～12時30分、13時30分～16時30分

土曜 9時30分～12時30分

※大学休業日は除く

《閲覧場所》3号館内 研究開発推進センター史料編纂所事務室

佐川記念神道博物館

《開館時間》平日 9時30分～16時30分（但し入館は16時00分迄）

土曜 9時30分～12時30分（但し入館は12時00分迄）

《休館日》 日曜日、国民の祝日、年末年始、本学創立記念日（4月30日）、

本学休業日、当館が特に必要と認めた日（臨時休館日）

《入館料》 無料

《資料の特別観覧》

展示品以外の資料を特別に観覧（熟覧）する希望や、資料の写真撮影及び印刷物等に利用しようと希望する場合は、事前に定められた所定の手続きが必要ですので、事務室に申し出て下さい。

令和4年度

皇學館大学研究開発推進センター年報 第10号

令和六年三月一日 発行

編集者  
発行者

皇學館大学研究開発推進センター  
〒五一六―八五五五

三重県伊勢市神田久志本町一七〇四  
TEL ○五九六―二二―六四六六

印刷所

磯野印刷

